

TOWASOUSHI
from TOWAKO

永遠草紙

面映ゆく

成年
コミック

幼妖色づく

YOYO
IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY

吸斬

スーザン

YOYO IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY

SUZAN

YOYO IROZUKU OMOHAYUKU

幼妖色づく

面映ゆく

吸斬

presented by SUZAN



003

- ヤブですがお加減いかが

043

- おどろおどろかし

085

- 死にたくないから神頼み!!

125

- 僕だけの神さま

167

- 今風天狗咄

209

- お世話になりますっ!

● 幼 妖 色 づ く 面 映 ゆ く

CONTENTS





こんにちは
症状はいかが――



やぶすけ
屋部助殿の
診療所はこちらか？

うちは貧乏ですが
銭を借りた覚えは
ございませんよ

借金取りではない



診てもらいたい
御仁がおる

外に駕籠を
待たせてあるゆえ
急ぎ支度を整えよ



…まだあと少し



前金だ



……



お代は
治さからで

時間ぎりぎり
この凄腕医者
屋部助の所に
訪ねて来る方も
いらっしゃるのでね



暮れ六つの鐘が
まだでした
これが鳴るまでは
診療時間です



バドバ

では準備
いたします

はい荷物
持ってください



舐めるなよ若造



変な奴だな本当に
腕は立つのか？
——まあよい



医者をしております
屋部助でございます



お越しいただき

わかざえもん
若座衛門と申す

誠にありがたく

ヤブですが
お加減いかが



妖怪なんて
診たことないぞ…

ぐっ

そもそも人の
医術が効くかも
わからない

治せなければ

!!

お前！先に儂を診た
医者たちを殺したのか！

若座衛門様！

化け狸が変化が
出来ぬなど
人はおろか他の狸一味
にも喰われましよう
帰しては噂が漏れます

まだお若い親分に
代わり我々が
手を汚して――

若座衛門さんの
治療
引き受けましょう

命惜しさの
自分への
言い訳も
いいところだが――

ここで断われれば
私の医者としての腕を
私自身が否定
するようなものだ

たとえ人
ならざる者でも
救えるはずだ

『やぶ』助ですが
腕はその限りでは
ありません

先に診てもらった
医者はなんと
仰ってましたか？

実は儼ら化け狸に
怯えてしまい
断わられてしまっ
ておつてのう…

あ



手下共に舐められぬよう
気を張ってはいるが
年が若いのもあってのう



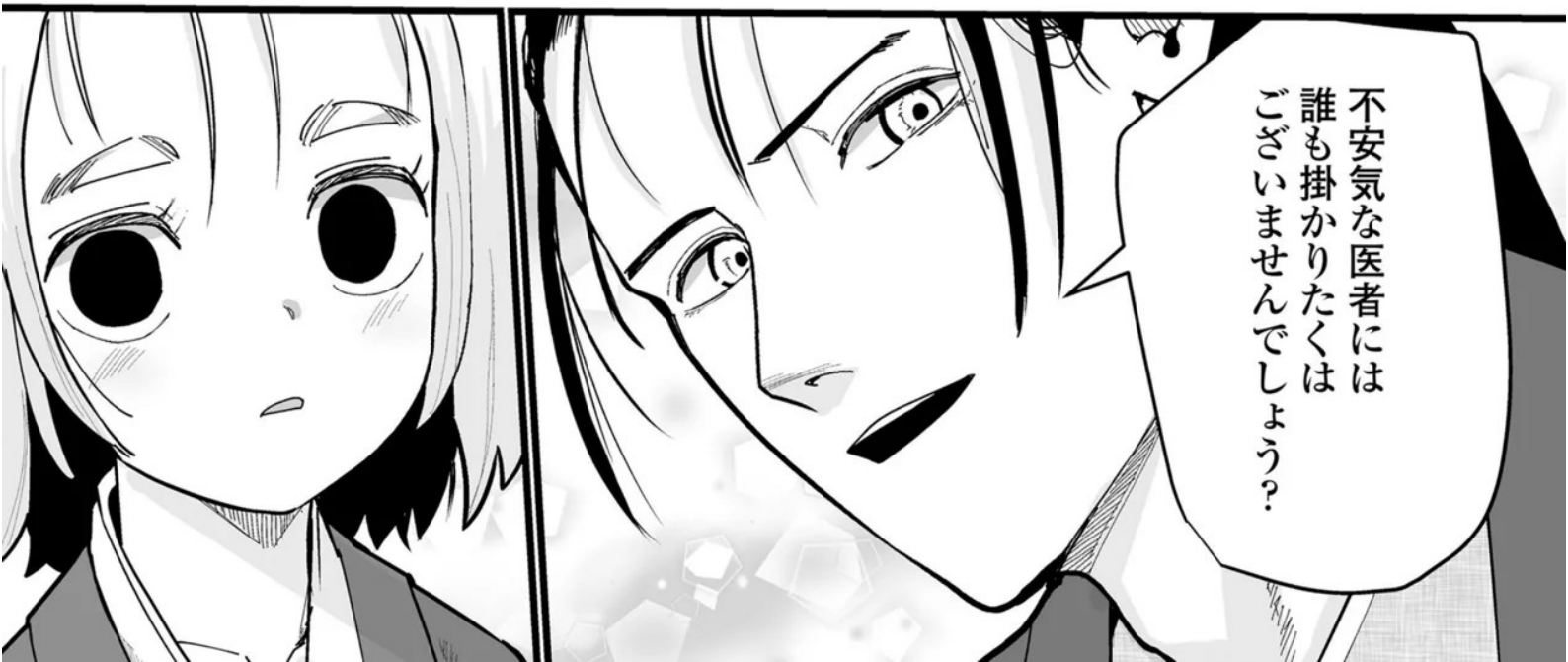
：屋部助殿
先ほどは
すまなかったのう

儂は奴らの
上の立場に
なつて日も浅く
そのうえこのザマじゃ



私も若く才気溢れる
うえに面も良いため
周りからは
疎まれております

ハハハ
凄い自信じやのう



不安気な医者には
誰も掛かりたくは
ございませんでしよう？



二十ですか私と
変わらないですね

スッ

ちなみに
おいくつで？
年に合う薬も
ございますので

…に…二百じゃ

…いず

うわ

こんな綺麗な肌

二百!?

艶やかな髪で!?



これは！

あつ！ちよつと！

すみません…
医者としての
興味が抑えられず

隅々まで
見られたのじゃ…

なるほどなるほど

まあ僕は婆じゃし
殿御に裸を
見られたからといって
なんともないんじやがの



薬を出して
おきます

明日また来ますので
今日はここらで

……

はっ



僕から言っておいて
なんじゃが
婆じゃよ？
本当によいのか？

嫌であれば
こんな
いきり立って
は
いませんよ

…では
遠慮なく…

雄の匂い…
久々な分より
強く感じるのう

いじゅ
いじゅ
いじゅ

いじゅ
いじゅ
いじゅ

いじゅ
いじゅ
いじゅ

ぐわ
ぐわ
ぐわ

あの…
苦しくないですか？

すまんすまん…
夢中になっておった

可愛い…

はっ

ぐわ
ぐわ
ぐわ



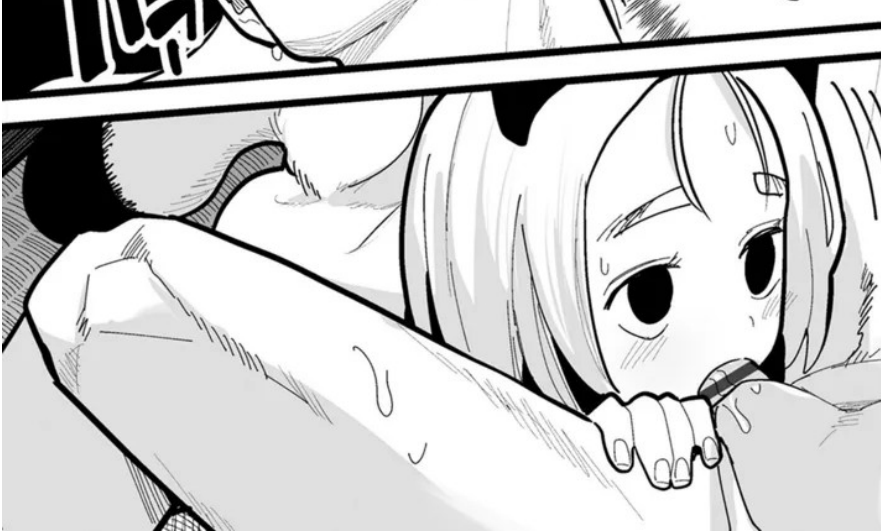
見た目にそぐわない
技術が…



若座衛門さんが
二百歳ということ
実感させる



ぬらぬらとして
心地良い



若座衛門さん…
そろそろ
出ますので



口が小さいからか
私のモノに
強烈にまとわりつく





ズン
ズン
ズン

こ腰を下ろすぞ

いっせえっ

はらわたが
押し潰される
くらい大きいのう

屋部助殿の脈動が僕の
女陰から伝わるのじゃ

窮屈ではないか？

ぬ
ちゅ

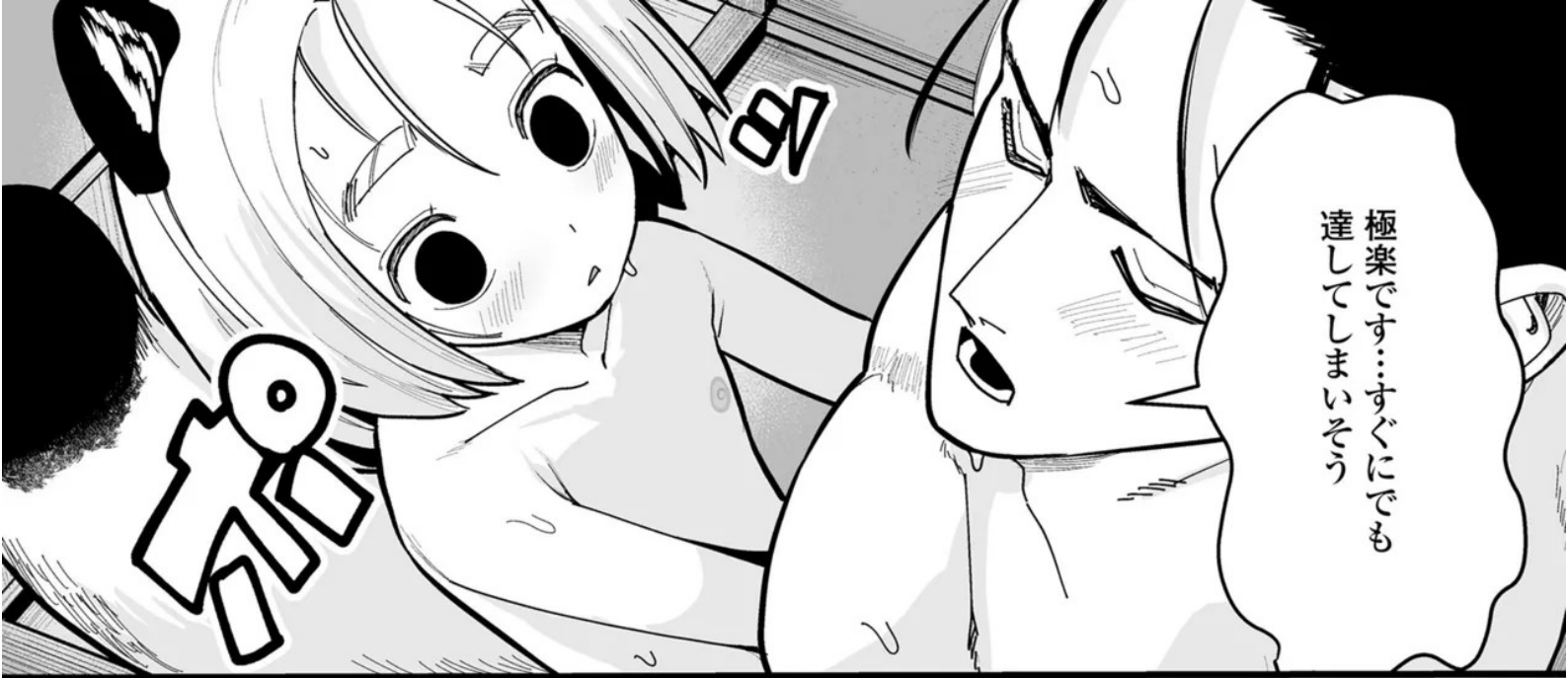
ぬ
ちゅ

だダメです…

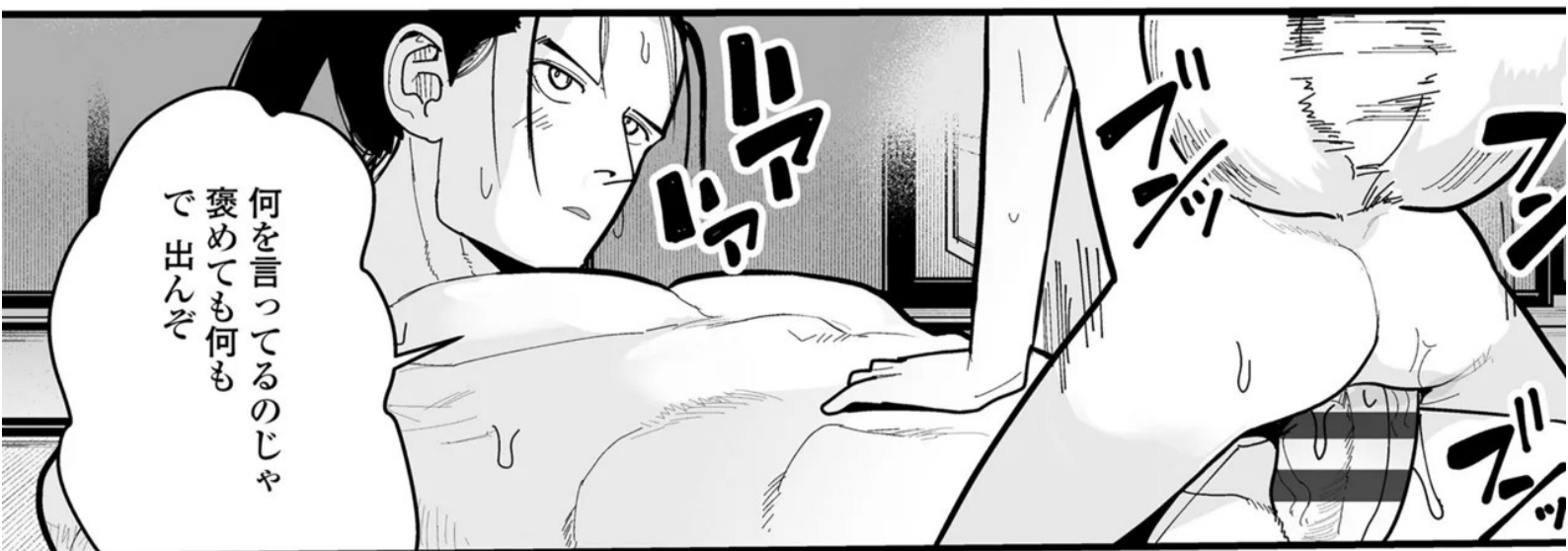
ヒッ

ヒッ

ミッ
ミッ



極楽です…すぐにでも
達してしまいそう



何を言ってるのじゃ
褒めても何も
で出んぞ



僕のこの身体を
好く物好きも
おるのじゃな



若座衛門さんの
体温が直に
伝わってくる

白い肌が
ほんのりと桜色に
なって綺麗だ

さっきみたいに
直ぐに出してしまう

...まずい
このままだと

!!

カッ





グザッ

グザッ

ヒッ

ヒッ

自分の調子で
動けんから
心地よさがー

プッ

プッ

プッ

不規則に
来るのじゃ

パッ

パッ

パッ

屋部助殿の
瑞々しい身体に
中^あてられ

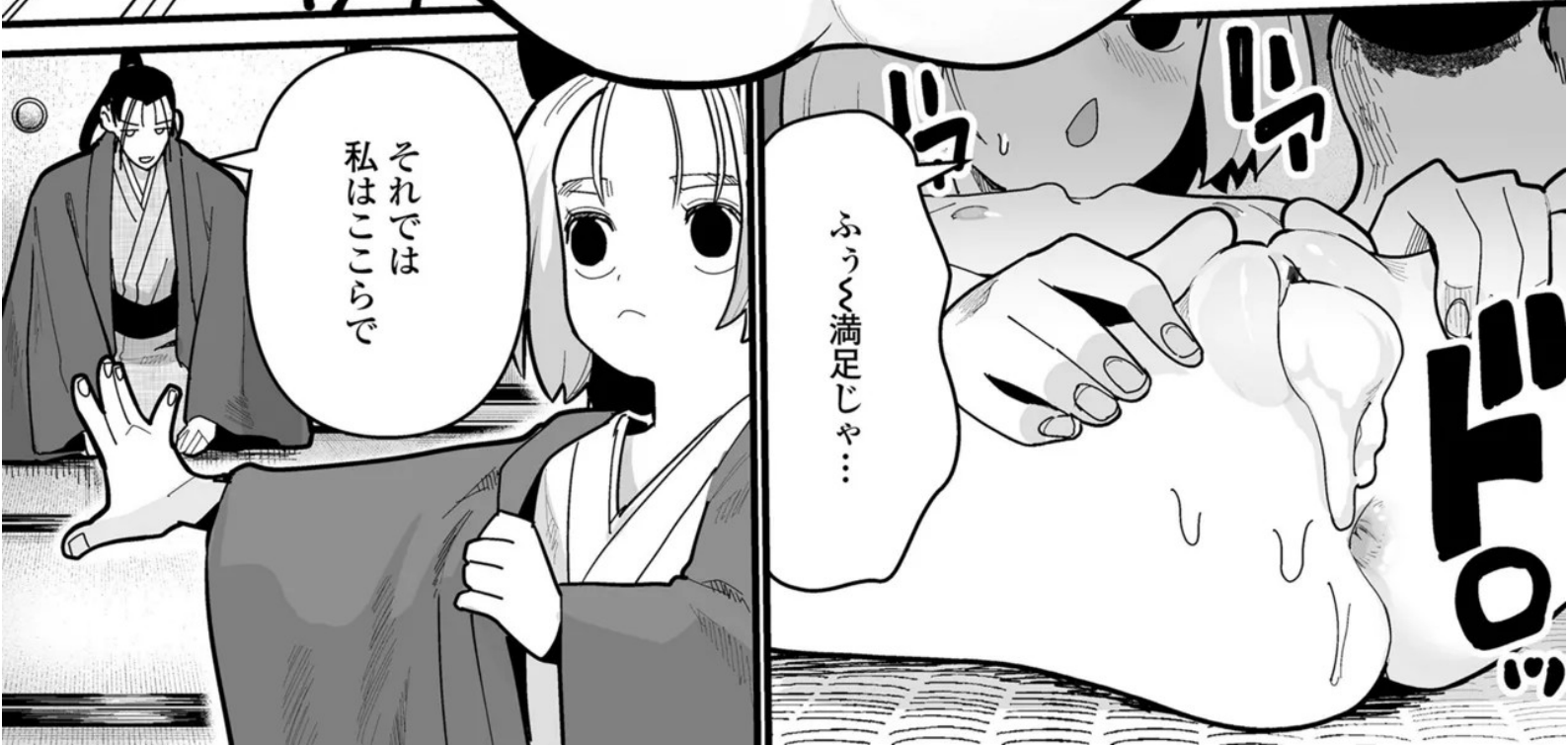
年甲斐もなく
肉欲に
身悶えてしまっておる





限界が近いです

俺も達するのじゃ





スハスハ



屋部助殿
今日はありがたく
存じるのじゃ

こちらこそ
ではくれぐれも
お気を付けてください
——明日は長命丸を
持ってきます



それではあの者を
見送ってまいります



若座衛門様
食事をお持ち
しました

くあ

今日は疲れたゆえ
もう寝る
悪いが下げてくれ



チッ



カ
ラ
ラ



現状有効な治療が
解らないため
とにかく『精』を
摂って養生しましょう



翌日

お邪魔します
若座衛門さん



ご安心ください
この丸薬を飲めば
尻がほぐれやすく
なります



西洋の医術書に尻から
栄養を摂る術が
あるようです

女陰より
精を取る効率が
よいはずです

えっ？ 尻？



—そうじゃったな



そんな薬も
あるのじゃな



では失礼します



十分ほぐれ
ましたね

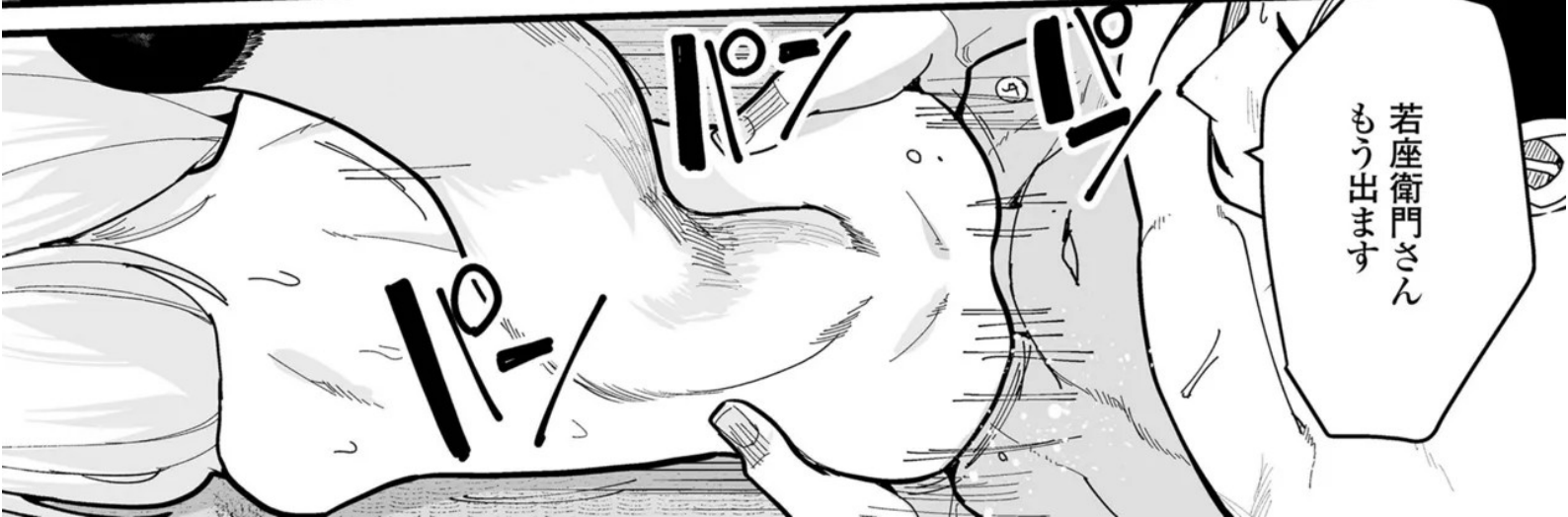
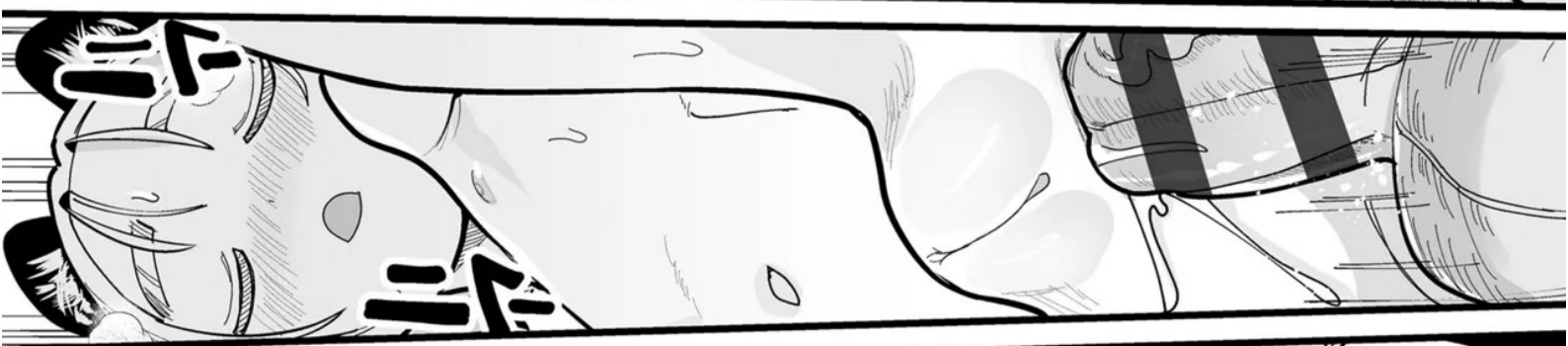


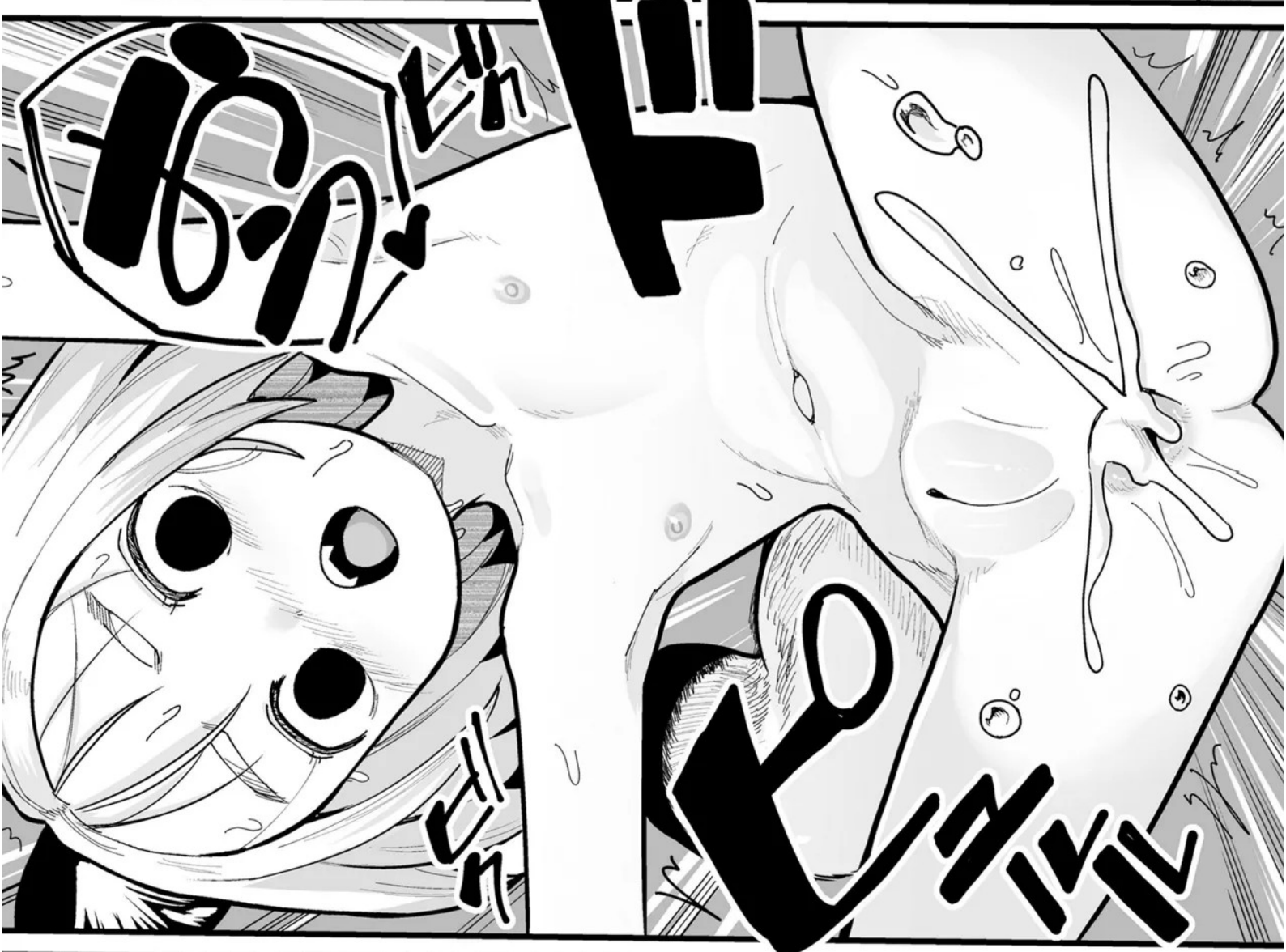
んんんっなんか
変な感じじゃのう

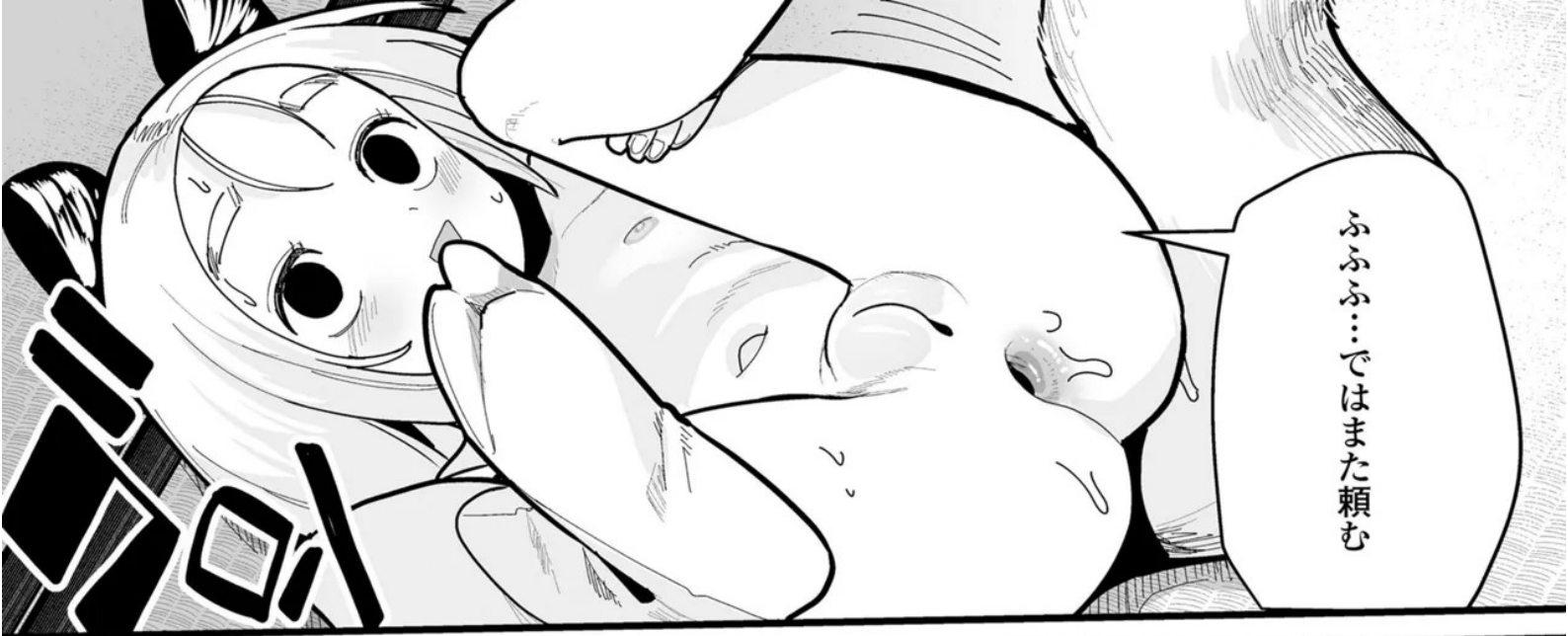
じゃが
案外悪くは
ないのう

では動かします









ふふふ…ではまた頼む



殿御を化かして
ため込んだ精を
使って化けるのじゃ



若座衛門さん
気になることが
あるのですが
女性の狸はどのように
化けるのですか



雄は陰囊の大きさ
雌は美人かで
狸は底がわかるのう



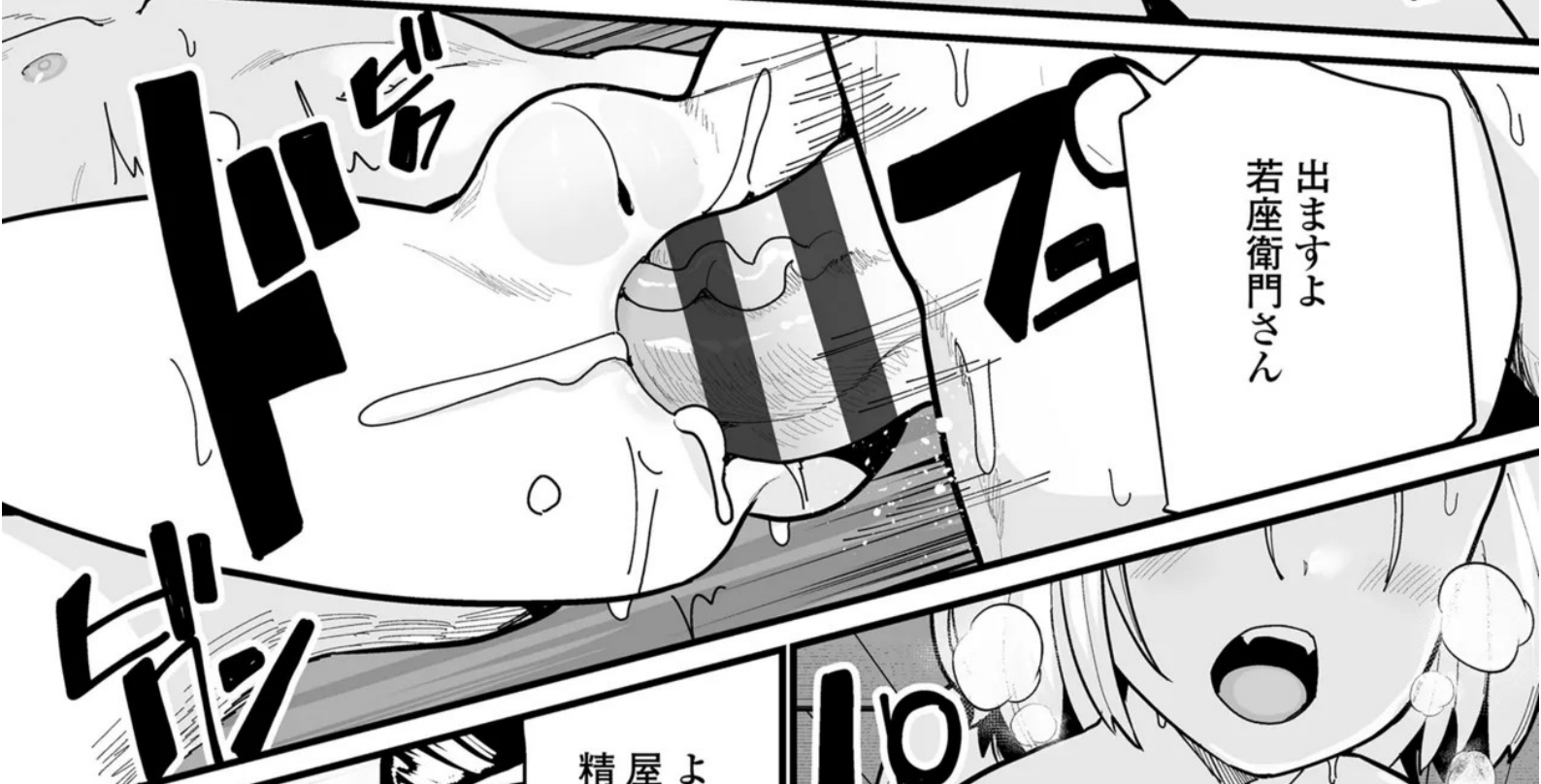
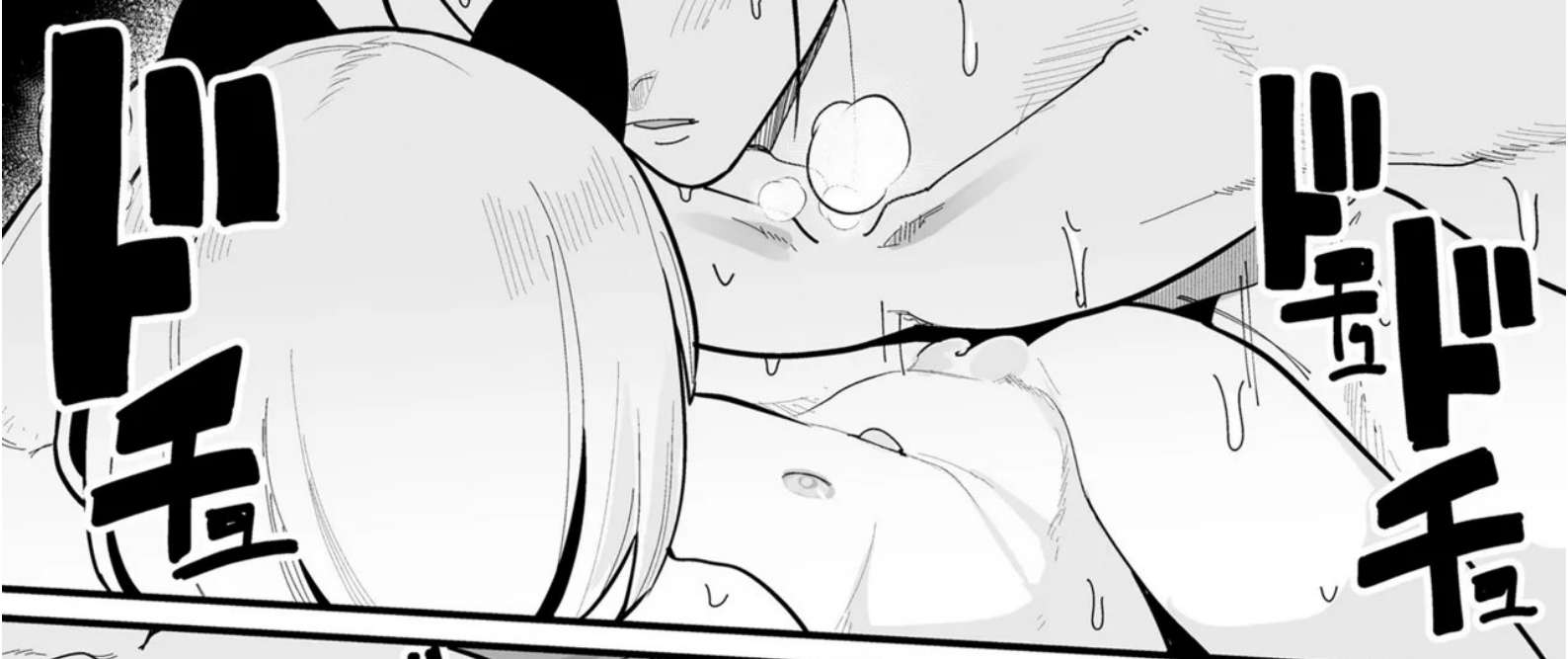
栄養摂取以上の
意味合いが
あるんですね

私も頑張らないと
なりませんね



男性は陰囊をと
聞きますが





出ますよ
若座衛門さん

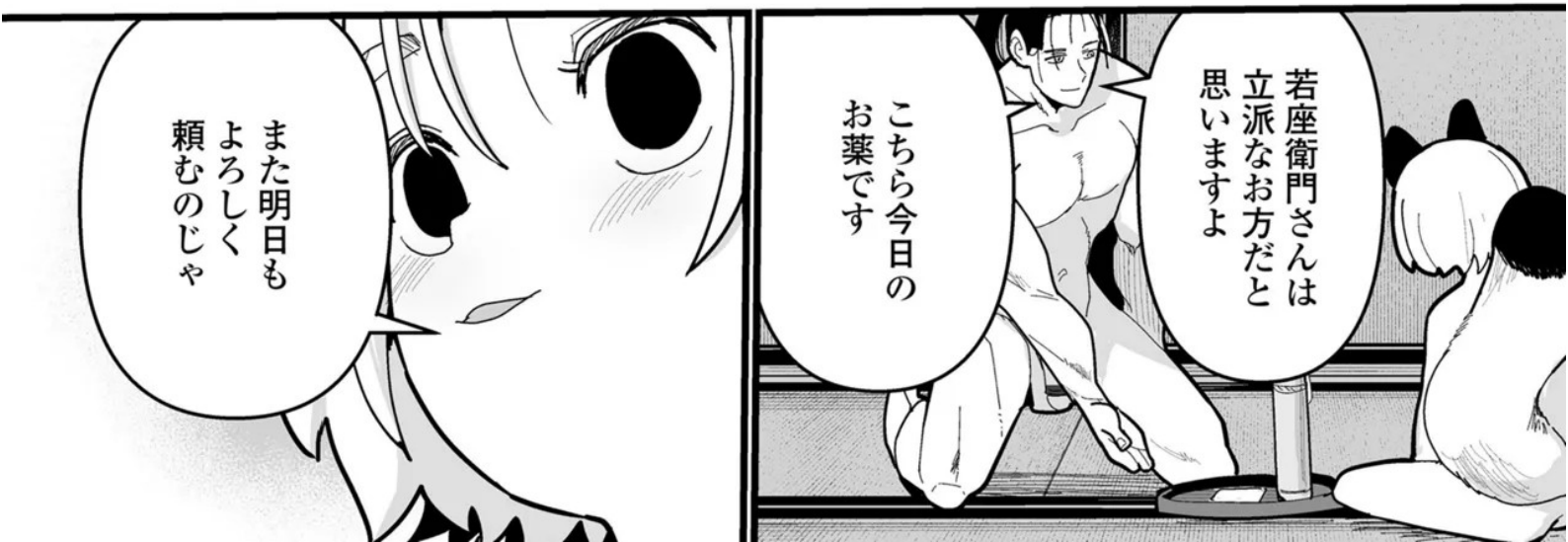
よいぞよいぞ
屋部助殿の
精を農にくれ！



ふう…
腹が精で
ぱんぱんじゃ

ポッ

狸として様
になるかのう



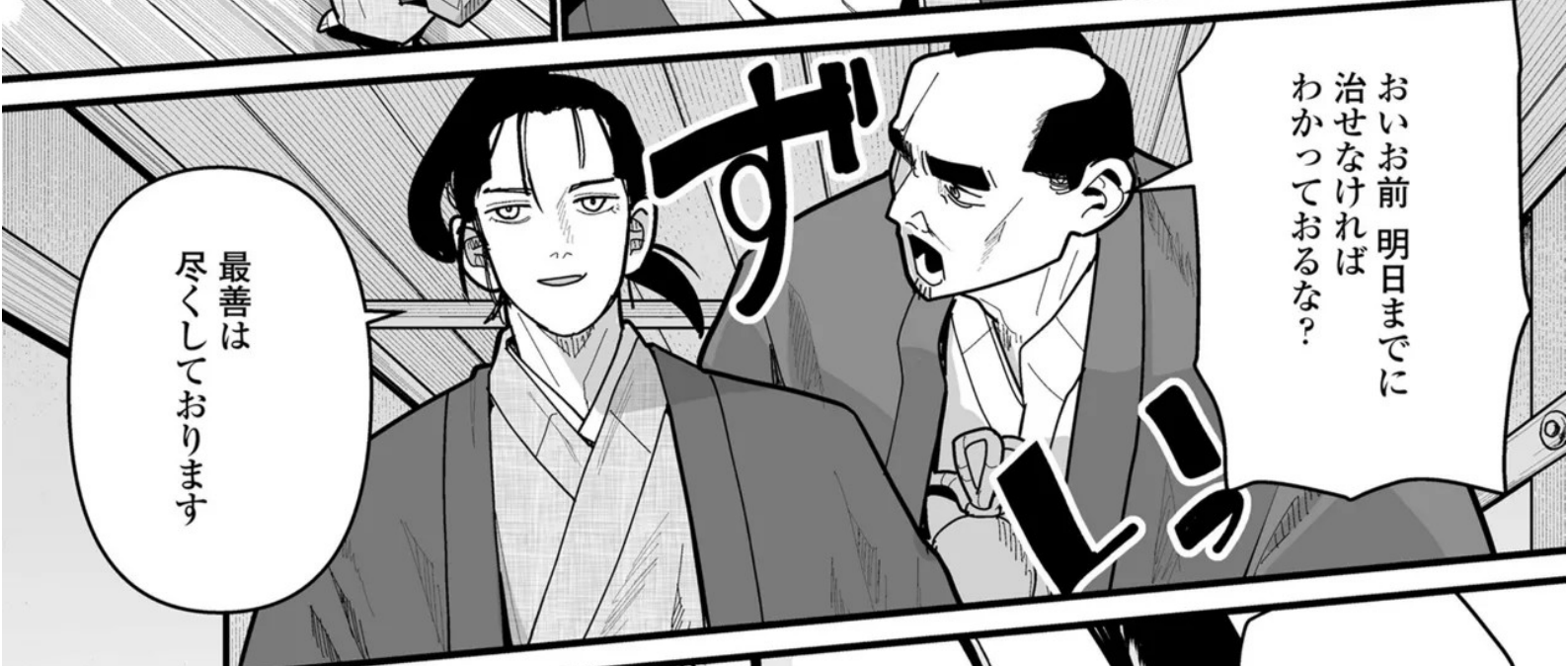
若座衛門さんは
立派なお方だ
と思いますよ

こちら今日
のお薬です

また明日も
よろしく
頼むのじゃ



もちろんです
ではお大事に



おいお前 明日までに
治せなければ
わかっておるな？

ず

ッ！

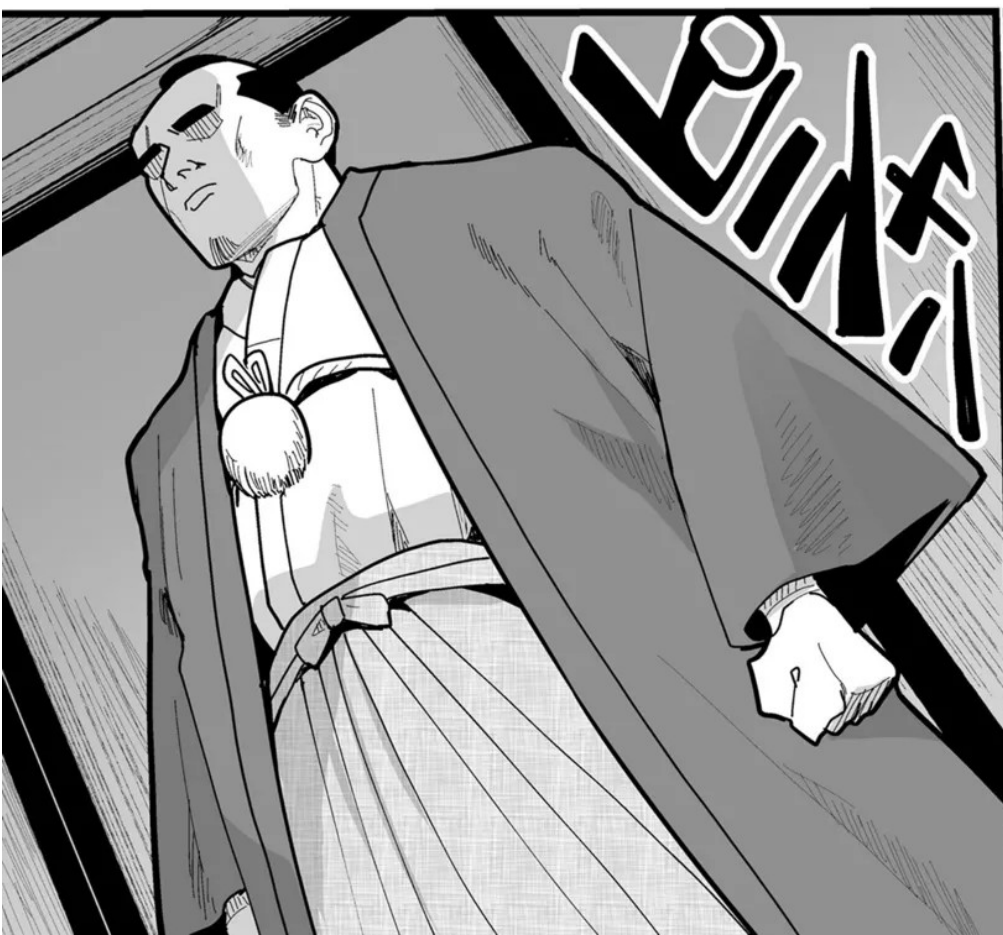
最善は
尽くしております



しかし

若座衛門さんの変化が
治らねば私を
煮るなり焼くなり
お好きにしてください

翌日



上手く
いつている

あんな若造が率いる
狸一味の泥船なんざに
お供する義理はない

若座衛門を葬り
俺が
親分になり替わる

あのやぶ医者に
言われていたのか

食事に手をつけて
いなかったから
毒を盛る機会が
なかったが

それも今日で
終わりだ

食事をお持ちしました

ピチッ





なっ手下たちを
家具に化かして
いたのか!?

毒で変化は
出来ないはずっ



解毒薬がしつかりと
効いたようです

ホ

先ほど連れて行ったのは
私に化けた子分の
お一人です

煙管^{キセル}の吸口の黒ずみ
身体^{キミ}の症状から
毒には気づいて
おりました

食事など調べるようにと
お伝えしたのですが
若座衛門さんが

犯人に目星は付いていたが
言い逃れが出来ぬように
その場でひっ捕らえねば
ならんからのう

騙されたふりをして
屋部助殿の薬で
変化の術の回復を待って
おったのじゃ

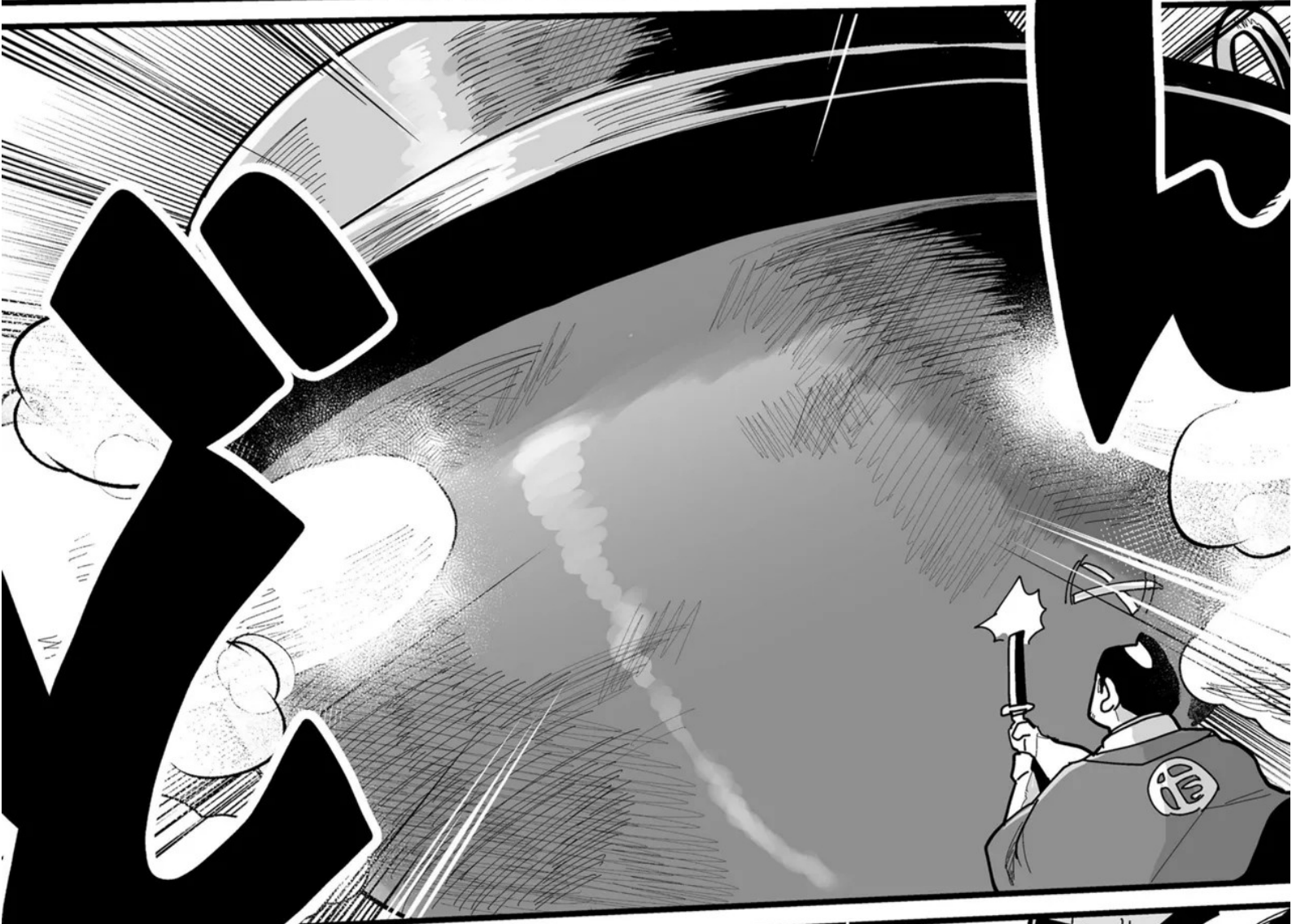
動かぬ証拠^{シロモノ}じゃ

変化も未熟な
若造が親分なんざ
あり得ぬ！
俺の方が適任だ

他の連中も
同じ考えのはずだ



儂を舐めるな！
変化！





End



あーあーがー

よし！ 今宵の獲物は
あやつに決めた

ザッ...

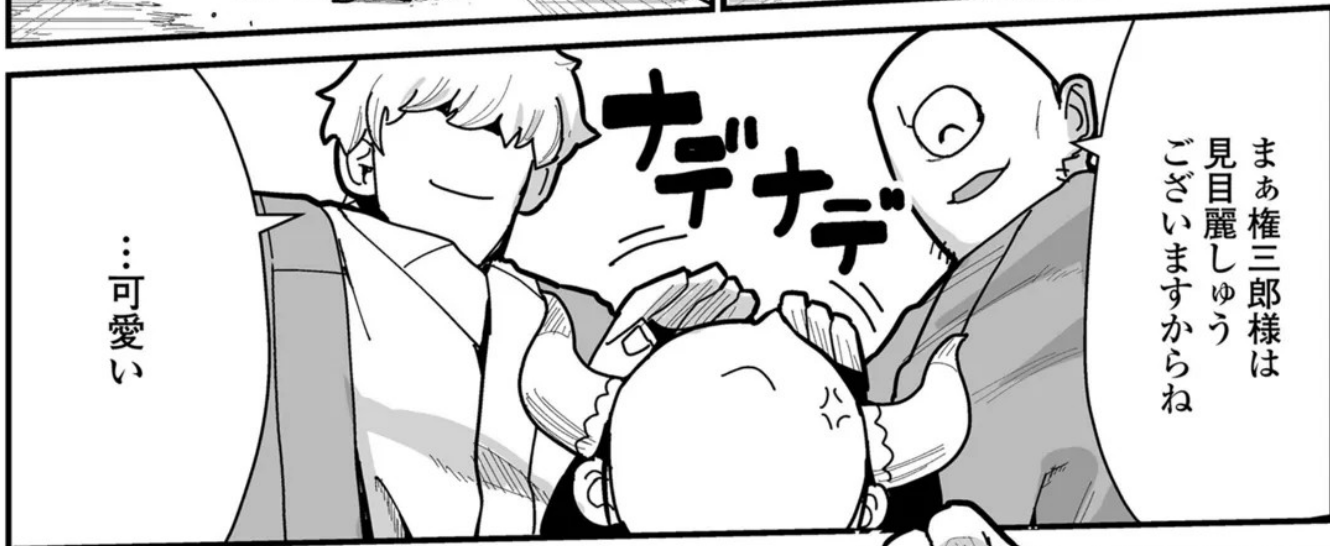
お前を喰って
やるのじゃ！



夜は家で寝る
もんだぜ
帰った帰った



うわっ！...って
ガキンちよか







わ
!!

わ
!!



わーっ!

ス

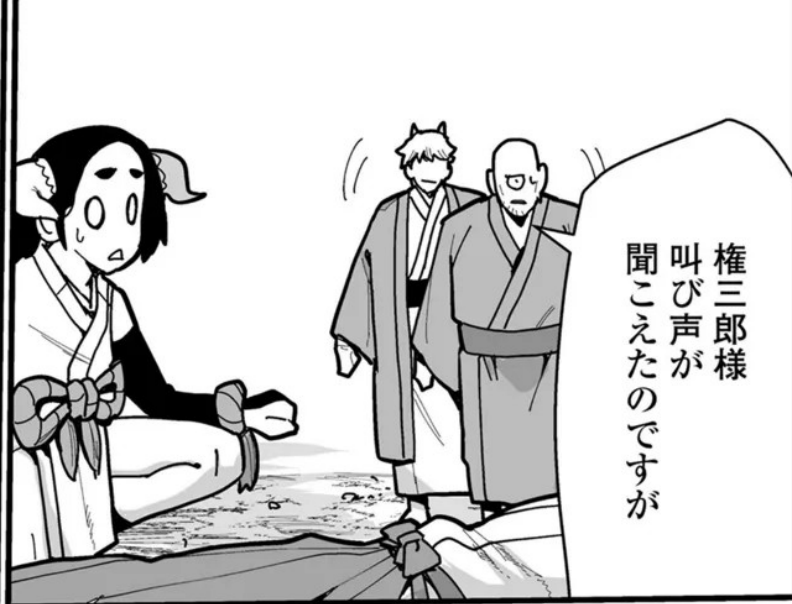
驚いた
顔が怖くて

つい殴ってしもうた





どうじゃ儂に
恐れおののいて
ぶっ倒れたのじゃ



権三郎様
叫び声が
聞こえたのですが



…というか
死んでる



殺しはいかんですよ
権三郎様！

我々退治の対象に
なってしまうですよ！

そんなの…
返り討ちすればよい



かくい味
でーす

ズ
ズ
ズ

人間は恐ろしいですよ！
平気で酒に毒盛るわ
寝首を掻くわ
神仙味方につけるわ



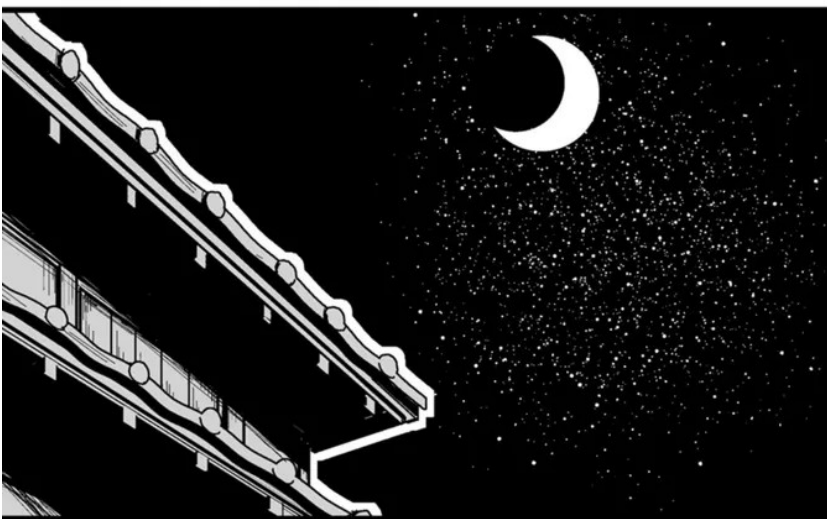
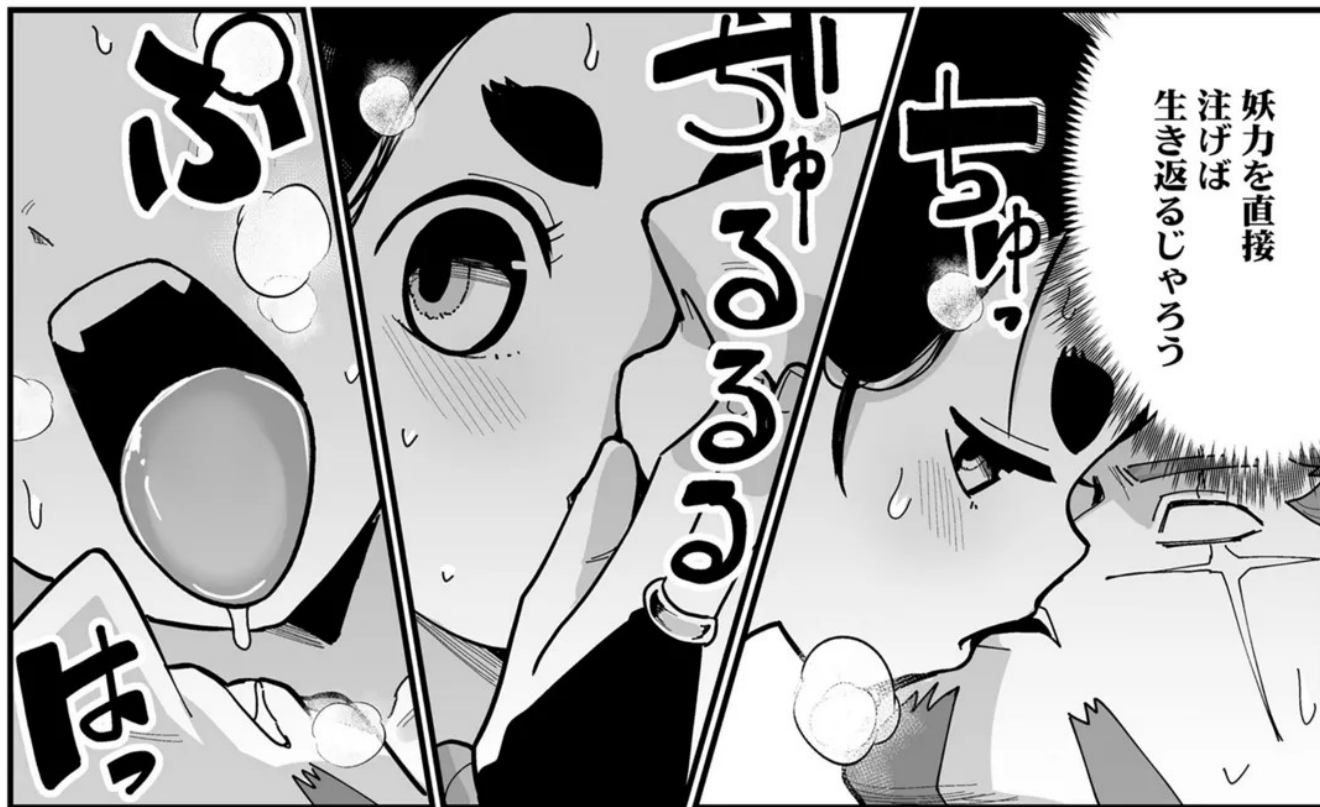
ガッ
ガッ

やかましい！



ちゅ
っ

生き返せば
よいのじやろう！





仕事帰りの
はずだったが

ザッ

うわ



やっと目を
覚ましたか



まったく…お前のせいで
部下の前で恥を
かかされたのじゃ

大きい
ツノ
古風な
じゃバリ

そのうえ妖力も
分けてやったせいで
疲れたのう



むっ…



もしかして…
今から喰われる

…死にたくない

なんじゃ怖がつて
おっただけか

家に饅頭が残してあって
腐らせるともつたいない
から死にたくない…

こいつツツツ

お前名は
何という

笹井ささいです

笹井！ 徹底的に
搾り取ってやる！
鬼の恐ろしさを骨身に
染み込ませてやるのじゃ！



おなこ
女子としての
魅力もないと申すか！

こ子供に欲情は
いたしませんよ！

子供じゃと！？
僕は齡三百を超える
鬼の頭領権三郎じゃ

恐れおののくがよい！

三百歳！？



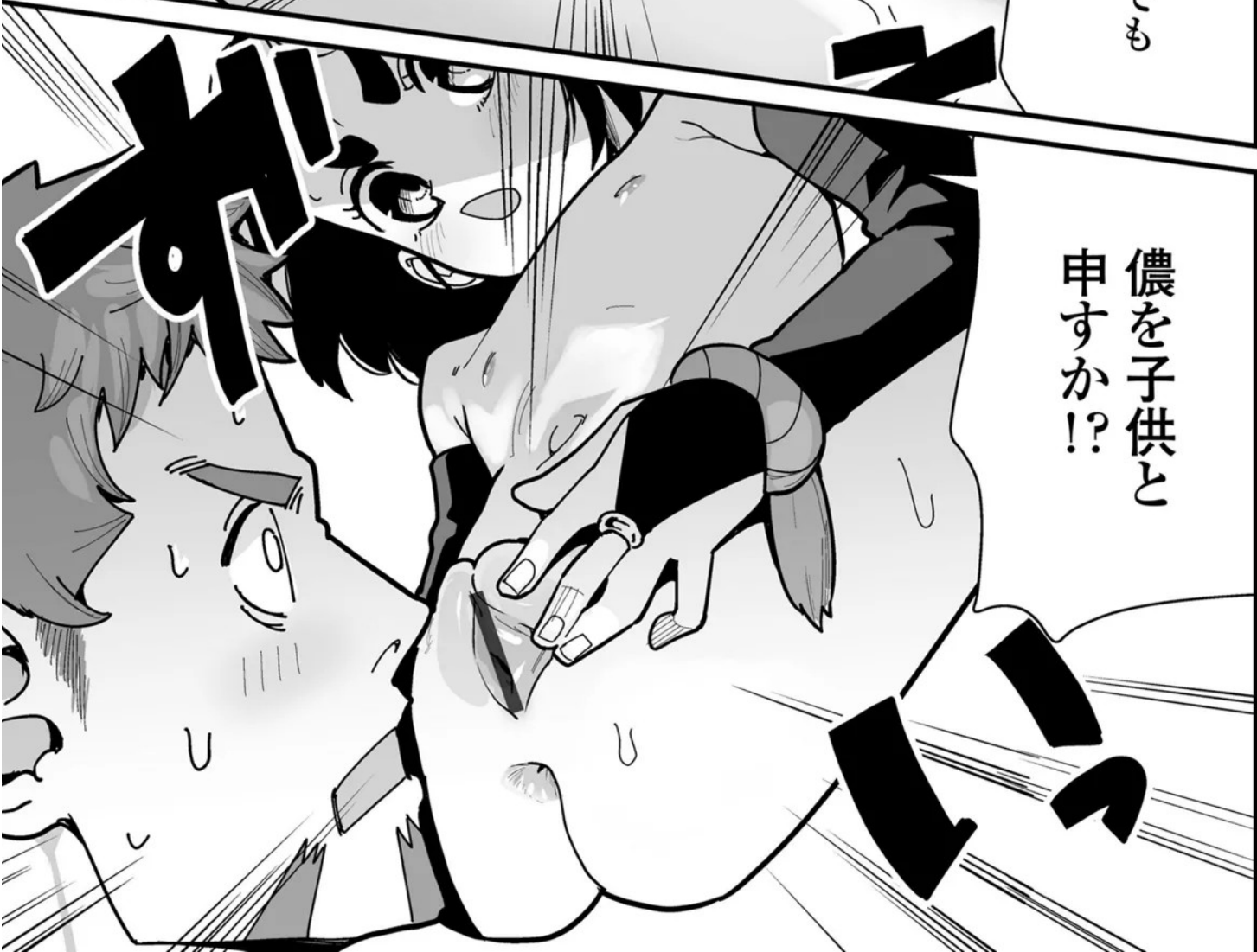


見よ！この妖艶な
体つきを！

これでも――



これでも



儂を子供と
申すか!?



ようやくと準備が
整ったのう
散々儂を
コケにしおつて

足腰立たなくなるくらい
搾り取つてやるから
覚悟せい



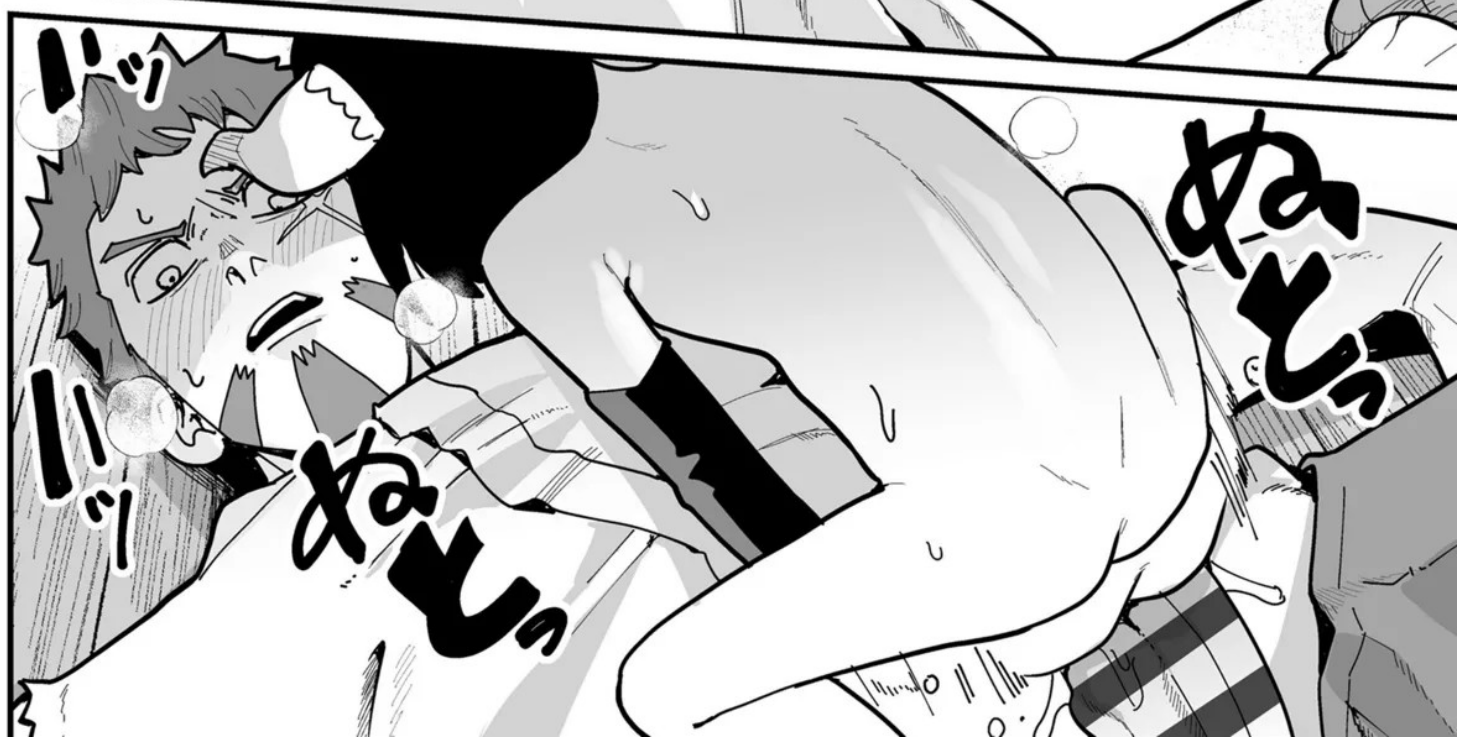
大きいのじゃ

儂がビビって
おるのか

…あの
大丈夫ですか



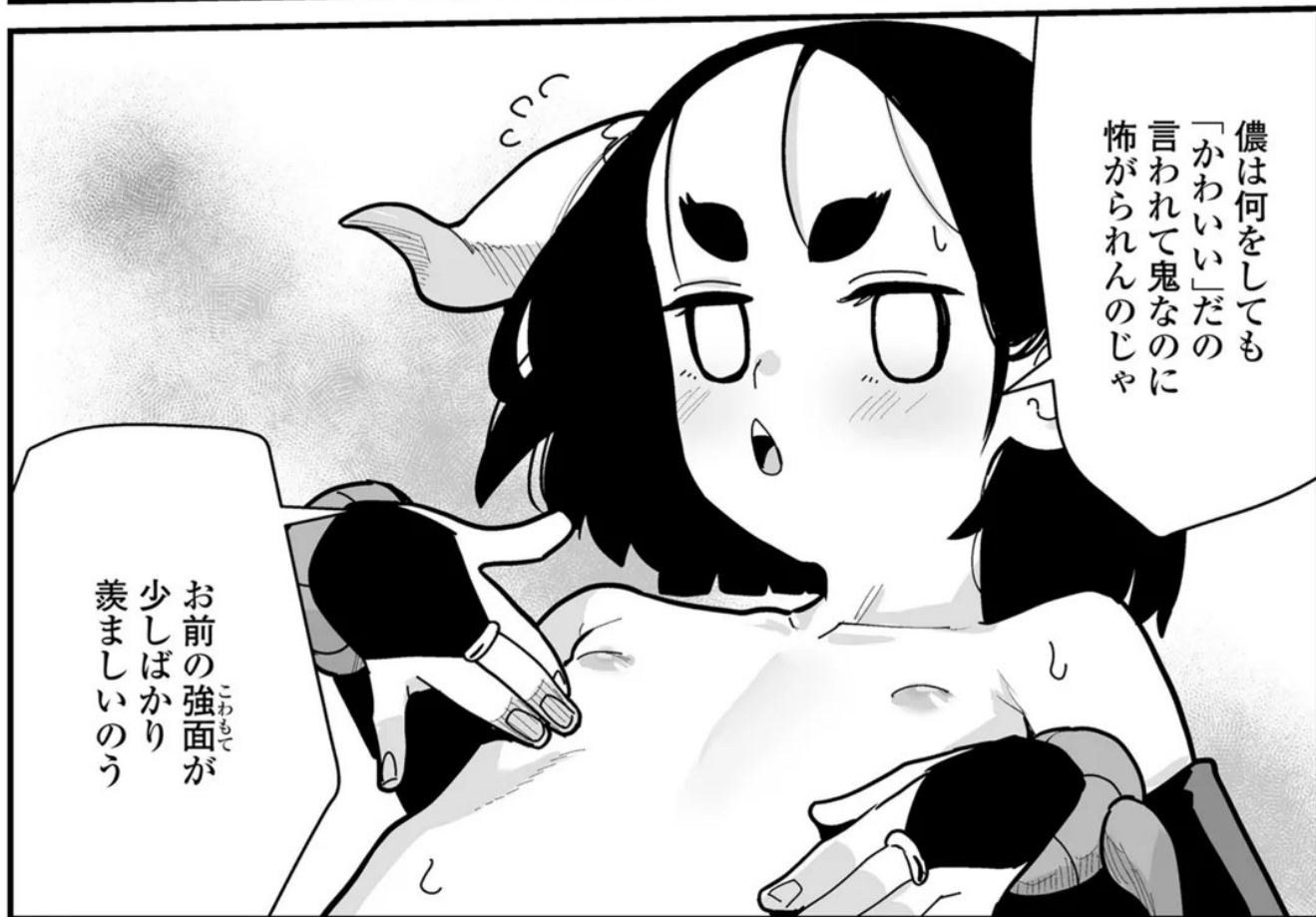
わ儂は鬼じゃ
金棒だって
啜えこんでやるわ













そうですか…
この面のせいで
色々と面倒事に
巻き込まれますよ



酔っ払いに
睨んだらと
因縁付けられたり

道端に猫が居たので
撫でようとしたら
飼い主の子供に
石投げられたり



ハハハ!
面に似合わず
愉快的奴じゃのう

パタパタ

ず

儼の乳でも吸えば
その強面も
和らぐのではないか？

い

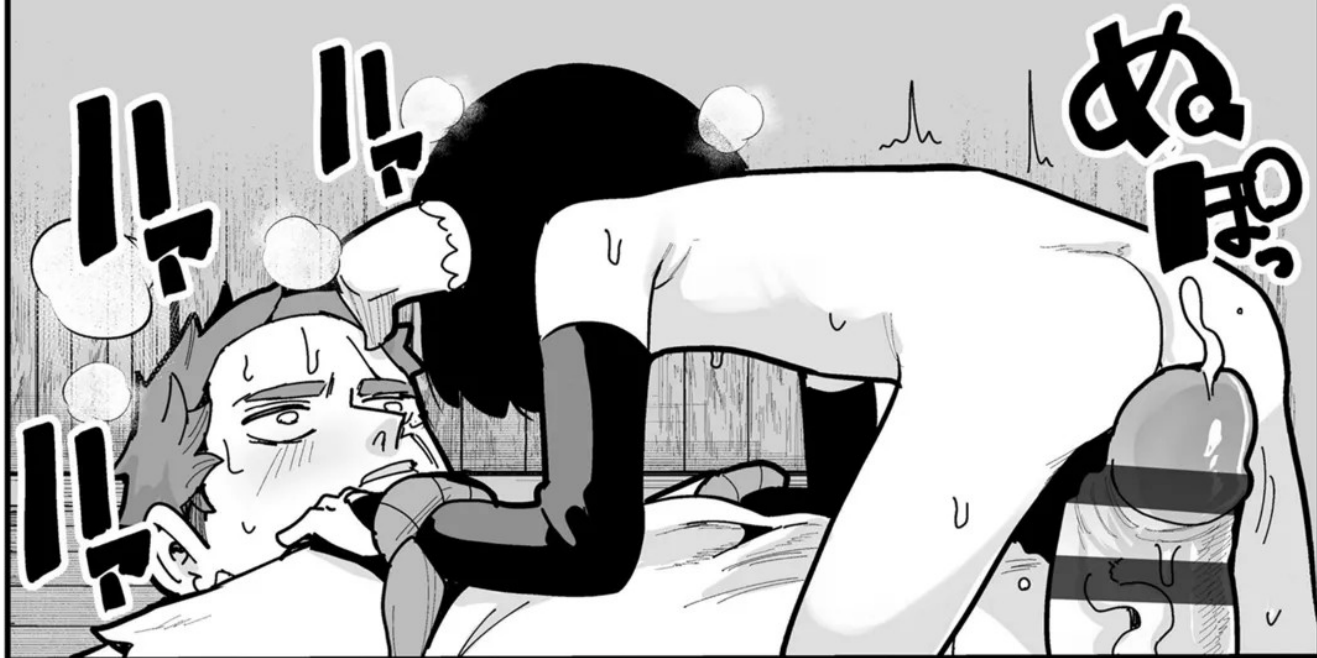
ちゅ

ミルク







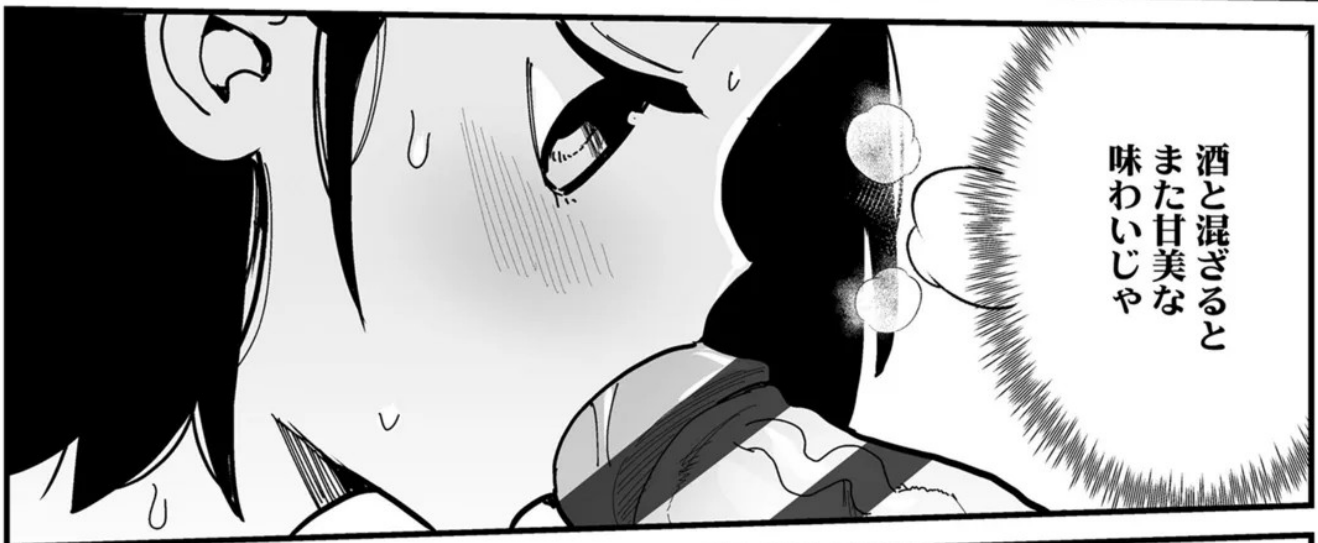


正直今の一度で
妖力を十分
得られたが――

儂の肉欲が
我慢を許さない



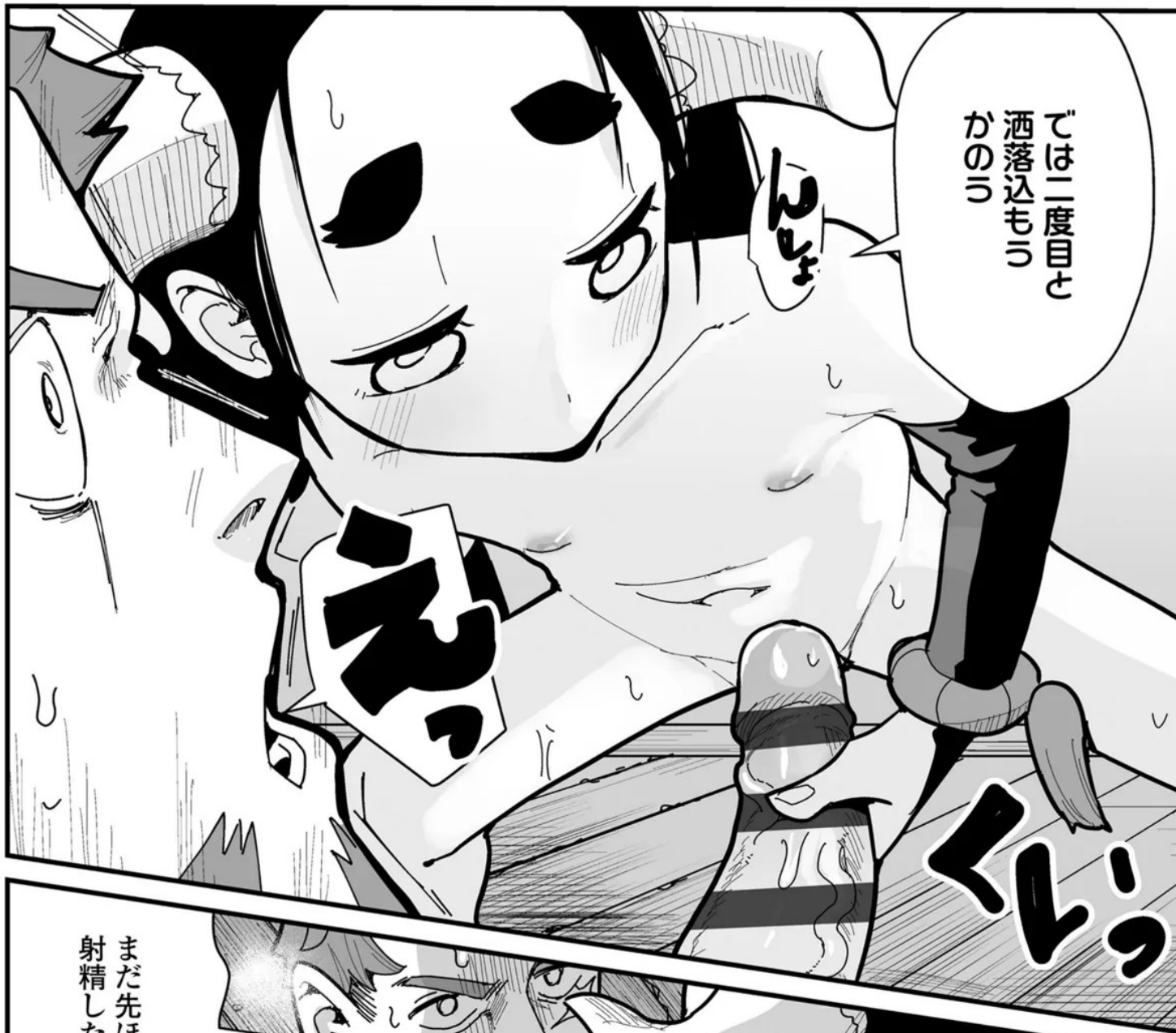
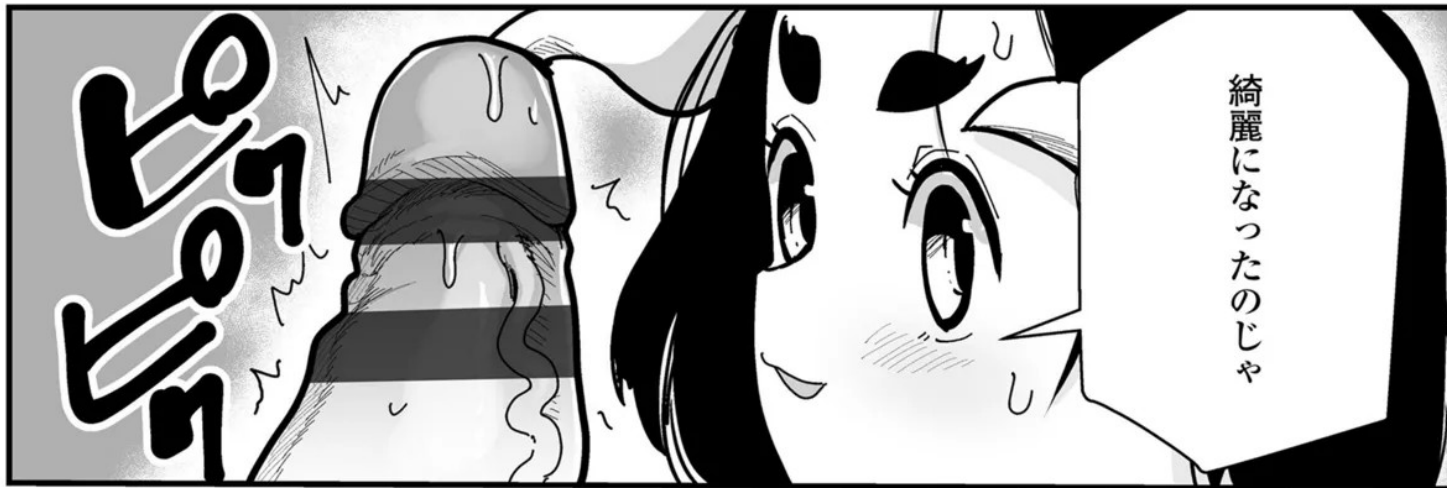


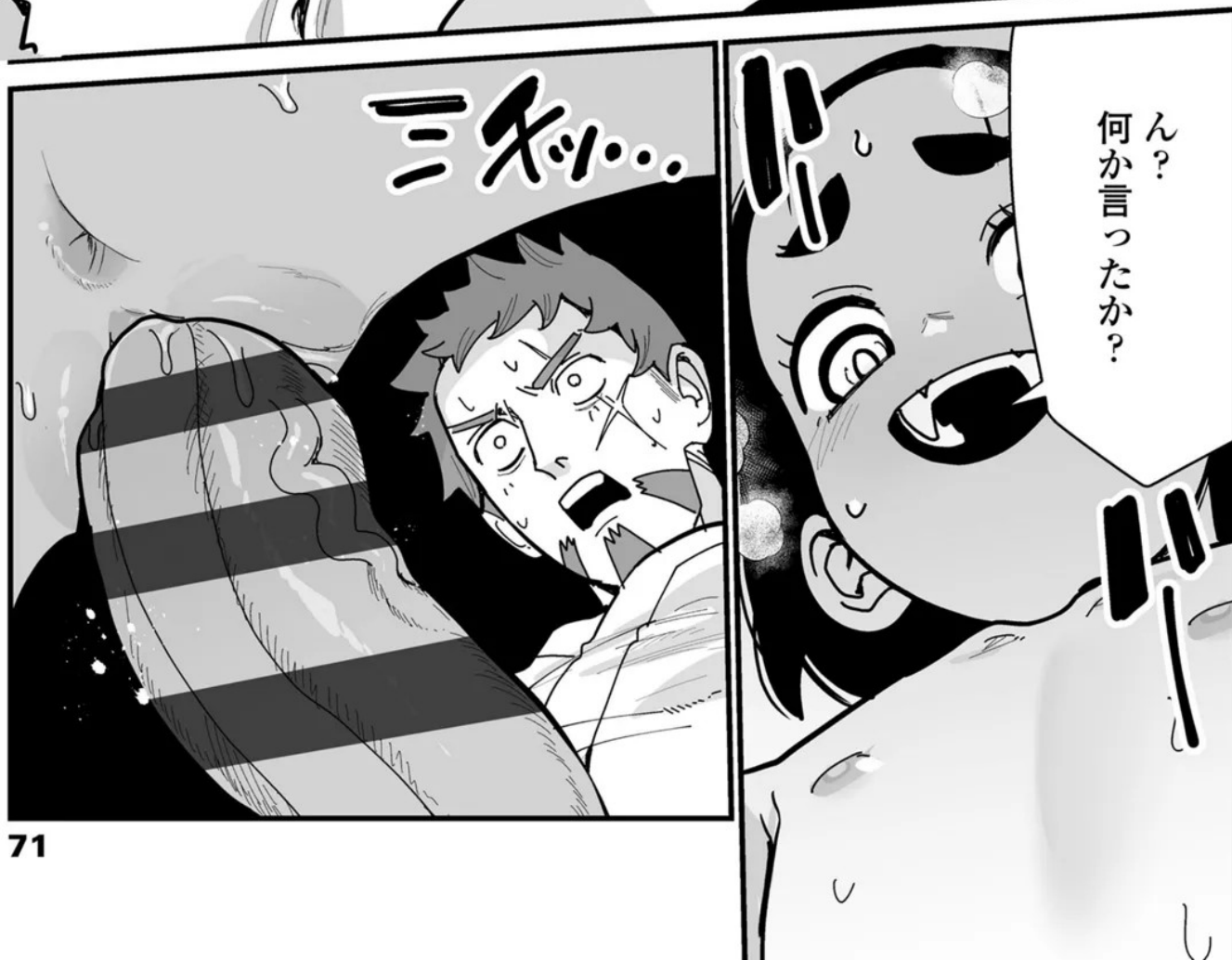




くっ 全然動きが
止まらない











心地よいのう



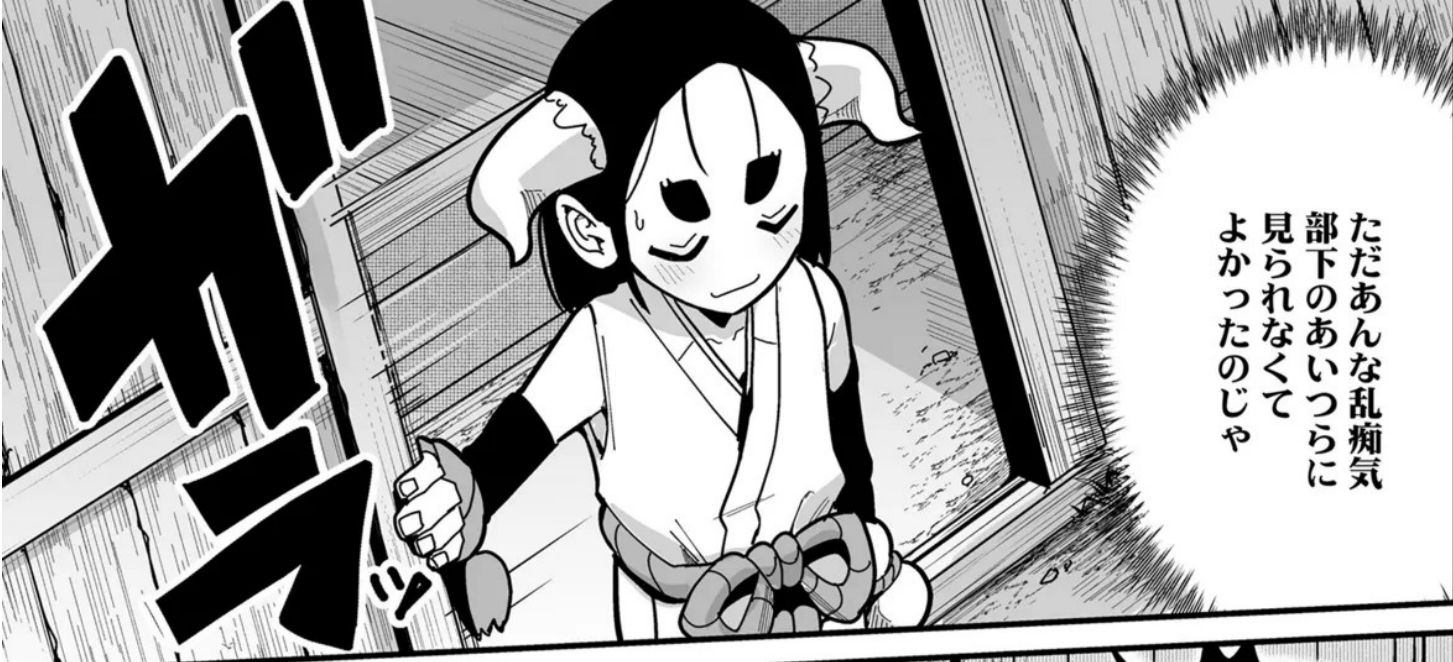














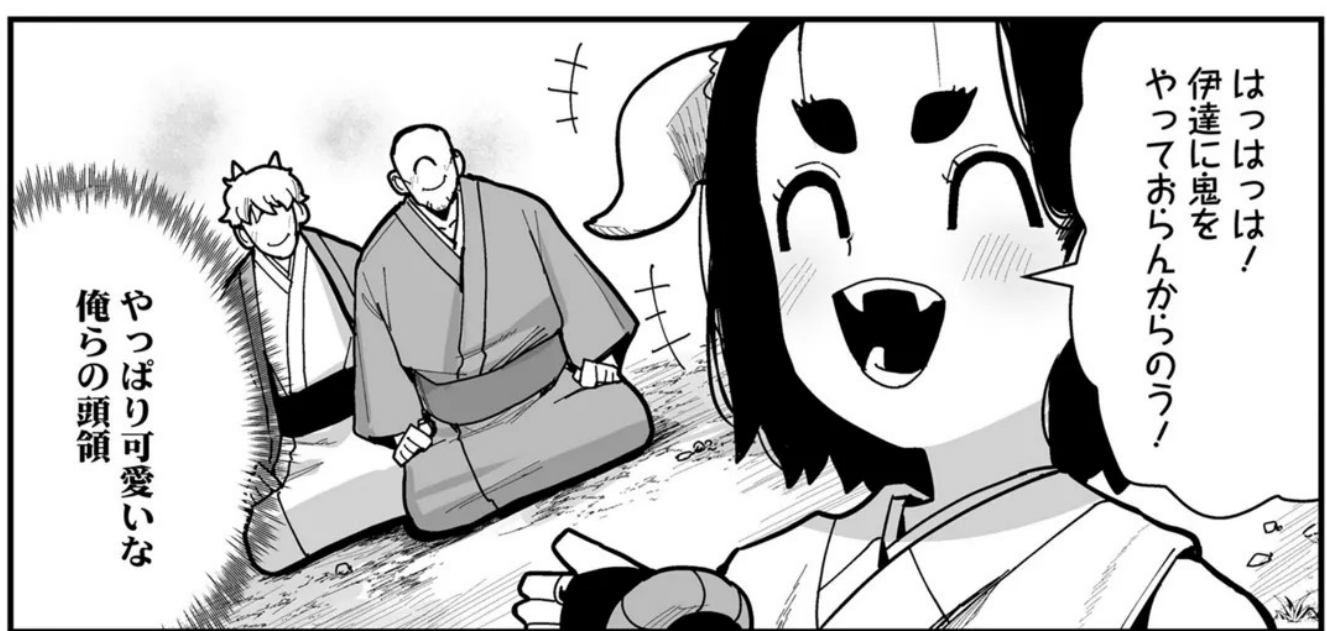




うくくくく
どうしたお前ら！
そんな顔して



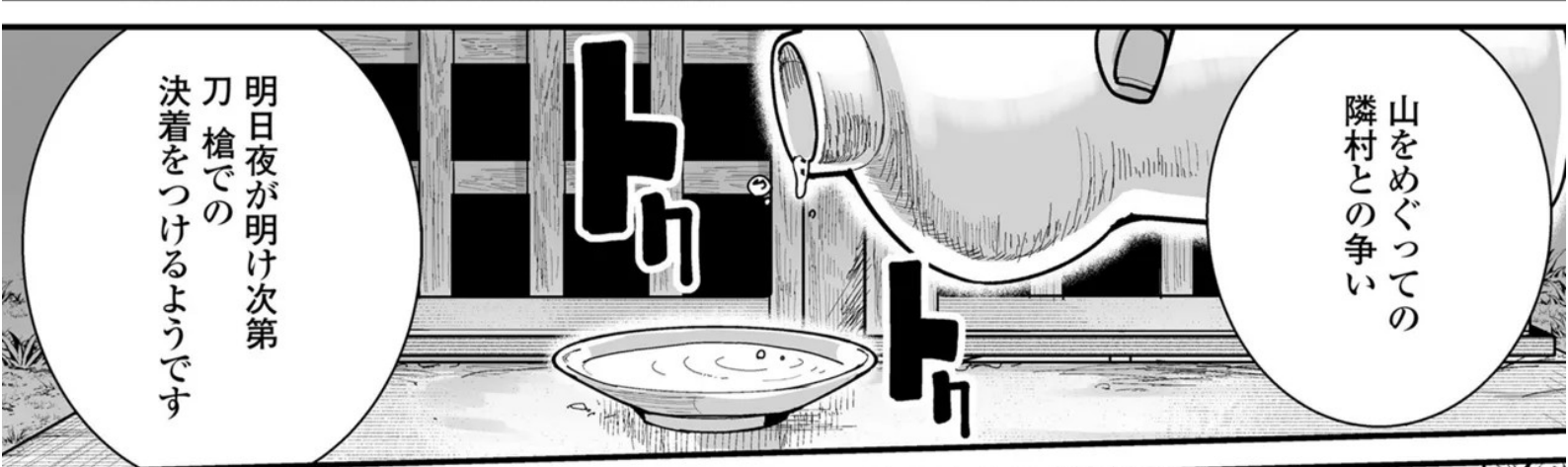
どうじゃ？ 笹井
今の儂かなり
怖かったじゃろう？



はっはっは！
伊達に鬼を
やっておらんからのう！

やっぱり可愛いな
俺らの頭領

End



山をめぐるの
隣村との争い

明日夜が明け次第
刀槍での
決着をつけるようです



どうか私どもの村に
勝利をもたらして
ください！

本音を言うと

……



死にたくない！
怪我したくない！

人を斬るなんて
怖くて仕方ない
争いごとなんて
勘弁してほしい

なんじゃなんじゃ
騒々しいのう

久方ぶりの参拝者
かと思うたら――

余にそういった
頼みをされても
困るのう

死にたいから
神頼み!!

ひっ：
物の怪

て手が震えて
刀が抜けない

カッ

カッ

物の怪だあ？
随分生意気な
小僧じゃのう

ビビッ

名を『やかん』
と申すものじや

余はこの社におる
豊穰を司る稻荷神

幾百年もの年月を
この地で過ごした

………

ペカ

…要するに
神様なんじやが！

し失礼
いたしました！

グッ
グッ
グッ



言っておくが
余は軍神ではないから
武運だとかの
ご利益はないぞ

戦国の世にあつて
この寂れ具合
見ればわかるじやろ

えー お前
名は？



と寅吉^{とらきち}です

あちこちの
ありがたそうな
場所にとりあえず
お参りをして
おりました

…先ほどは
失礼いたしました
お稲荷様に
物の怪などと



よいよい
気にするな

まあ理由はどうあれ
参拝者は嬉しい
ものじゃ

まさかお稲荷様が
私の目の前に
現れるなんて

しかも童^{わらへ}の
ような姿で



不敬を働いた上に
これはまずい
バレたら祟られる

ちり

寄合を抜け出して
来ているので
そろそろ失礼しま

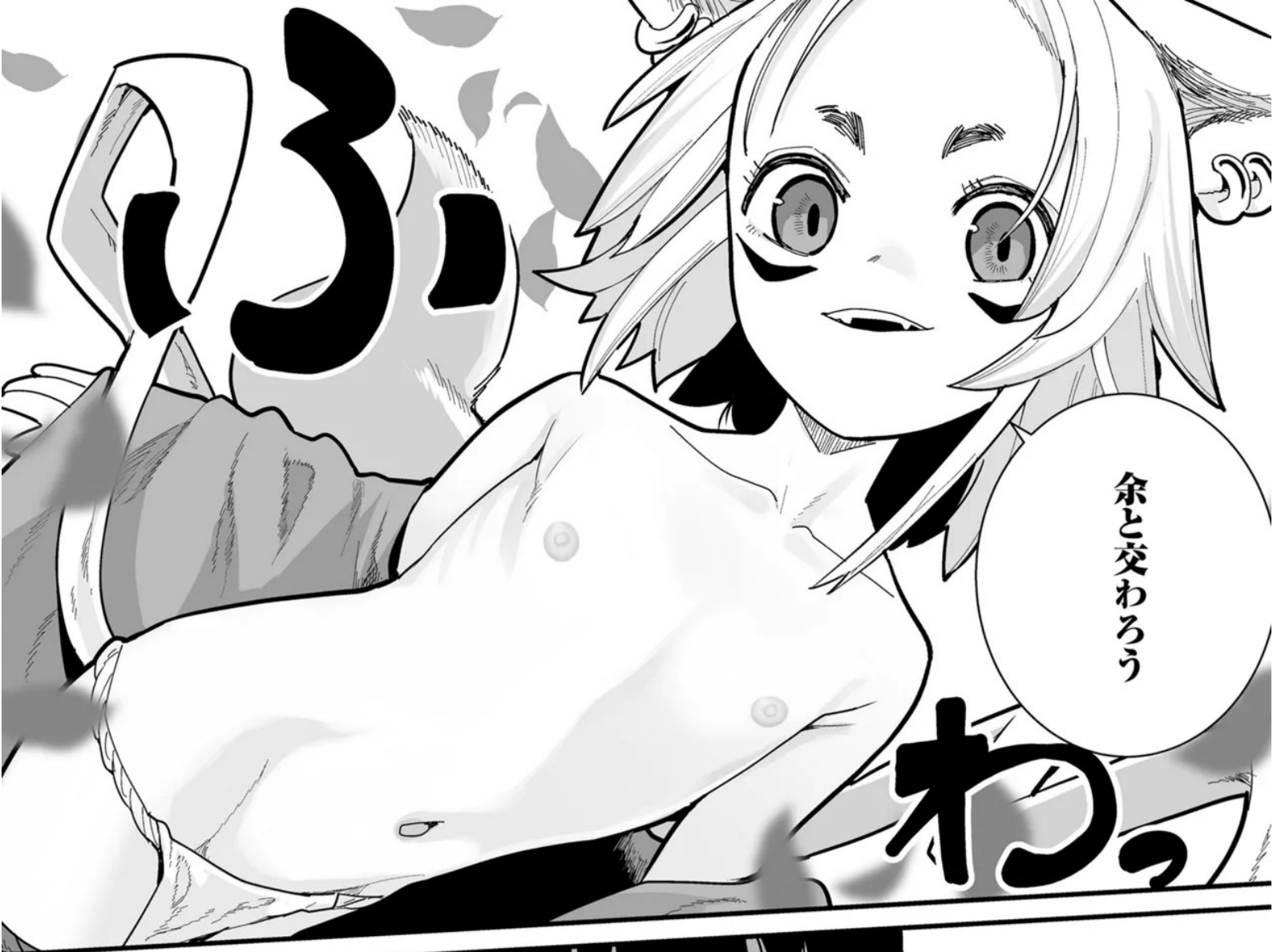
待て



せっかく供え物まで
用意して来てくれたのじゃ
手ぶらで帰す訳にもいかぬ

そうじゃのう…

パ



逃すわけなからう

ぐいっ

我欲じゃないですか

ちゅっ

必勝のご利益は
やれぬが
男振りを
上げてやる

レロッレロッ

さつきまで
飲んでいた酒の味が
ほんのりと

ちゅ

舌が絡みつく

はっ

いっ

嫌とは言いつつ
いきり立っておる
ではないか

このすけべえ

すみません
こんな不敬な
邪な...

余のような婆で
滾るならどんな
醜女も傾城傾国に
思えるぞ

雄の匂いじゃ

胸が高鳴るのう



こんな立派な
イチモツを
携えておるのに



なにゆえ臆病
なのじゃ



自信を持て！

…誰かに
褒められたのは
初めてで…
嬉しいです

舌使いが
大胆で心地よい

ぬろっ

ぬろっ

気持ちがいい

じゅっ
じゅっ
じゅっ

んは

やかん様っ…
出ますっ！

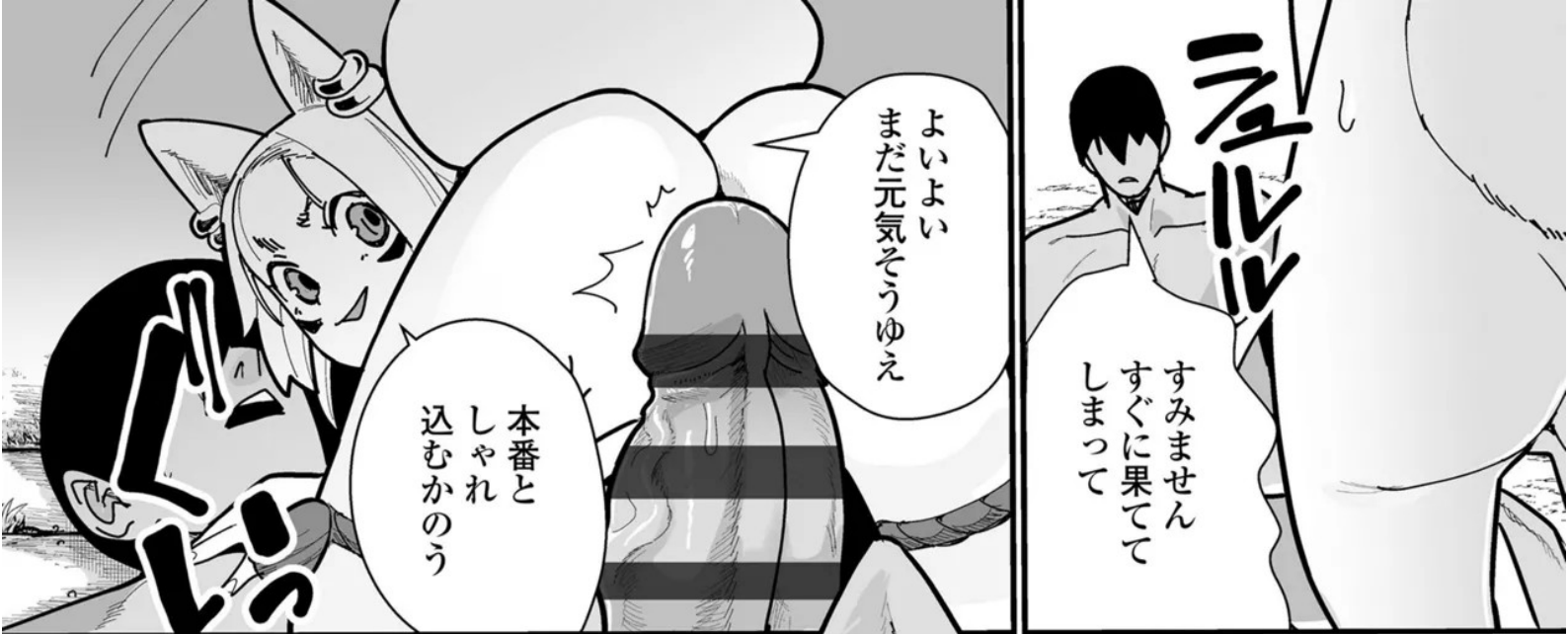
うむ
たんと出せ

ハッ
ハッ

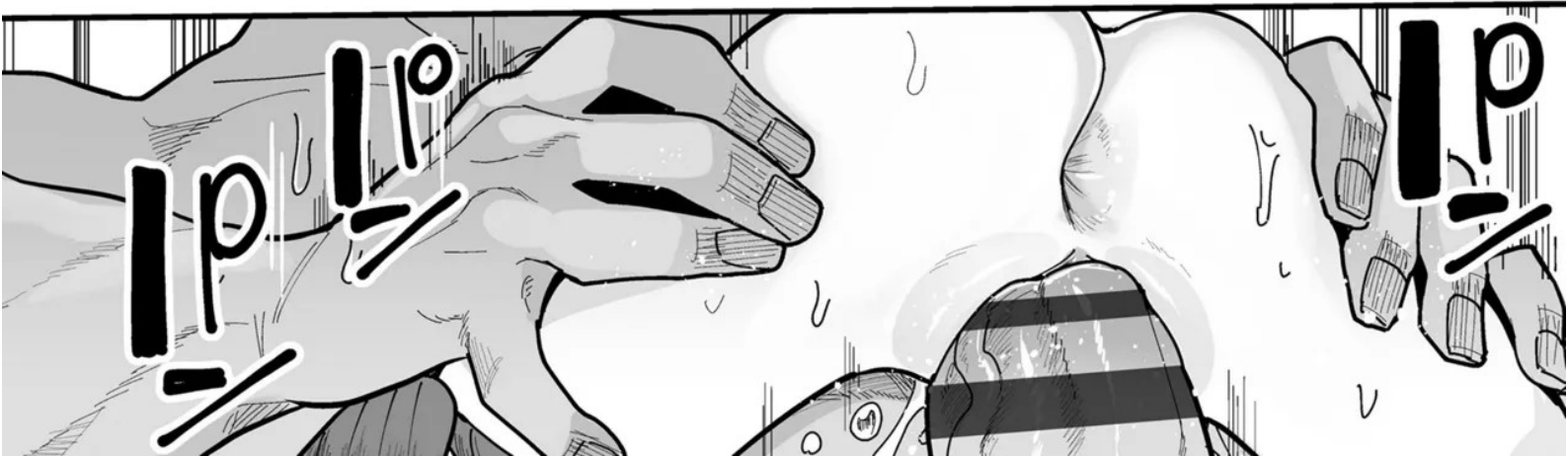
ハッ
ハッ

お



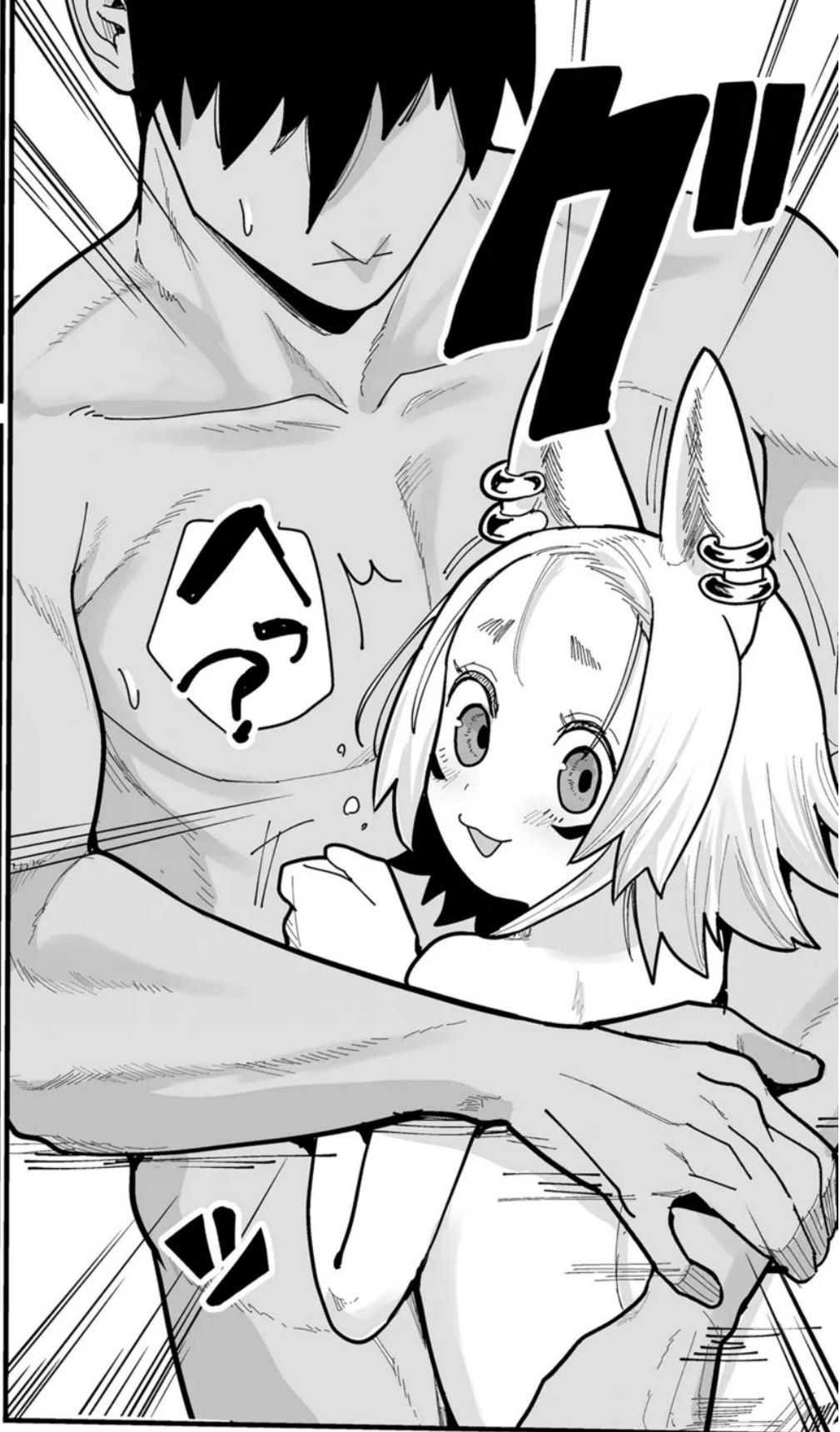










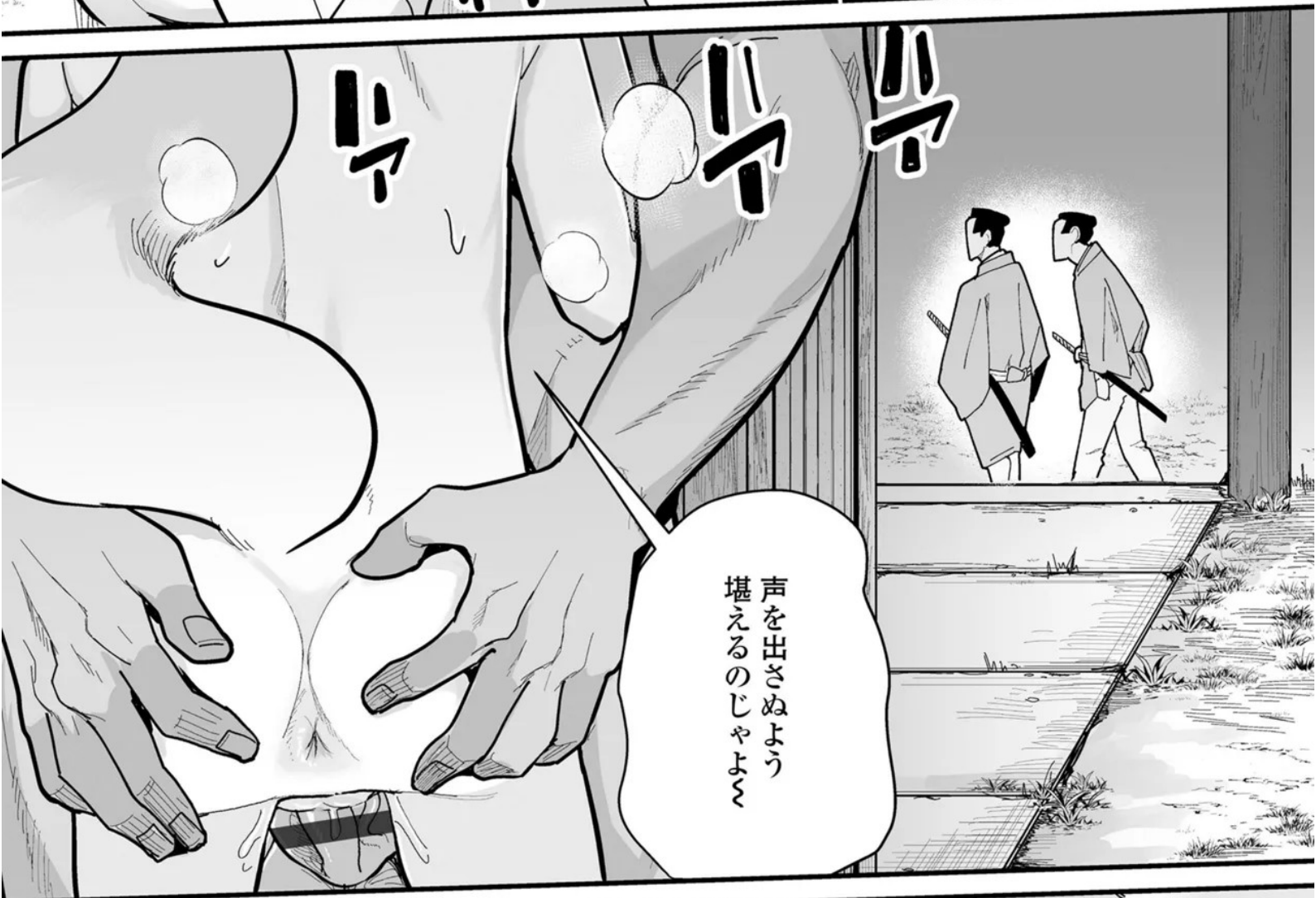


なんじゃ急に



誰か来ます…

流石に誰かに
見られたら
不味いです





木偶の坊め
こっちの面倒も
考えやがれ

あいつの
腰抜けっぷりには
呆れるぜ



散々な
言われようじゃな



あつイチモツが
萎えかかっておる

余まだ
愉しんでいる
途中なんじゃが



整った顔立ち

逞しい肉体



普段のお前…
寅吉がどうなのかは
知らぬが



余はお前のこと
立派じゃと思うがな

勃^たて!

勃^たて!

…ありがとうございます
しかし…

今まで臆病と
そしられて来た
それゆえ
自信をなくして
しもうたのじやろう

自信を持て

寅吉 お前は
余と交わる
肝の据わった
男じゃ

きゅん

きゅん

ガッ

にゅ

にゅるにゅる

早う勃起させい！

シッ

やかん様
ありがとうございます
ございます

急によせ

ぎゅ



年甲斐もなく
ときめくじやろう

おあッ

まあイチモツも
持ち直したゆえ
再開するかのう

ぬっ
ぬっ

キッ
キッ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ



心なしか
さつきより
張りがあるようじゃ



腹にどんどん
子種が満たされる

トッ



しっかり
しまい込んで
おかねばのう



女陰で
味わうだけでは
もったいない

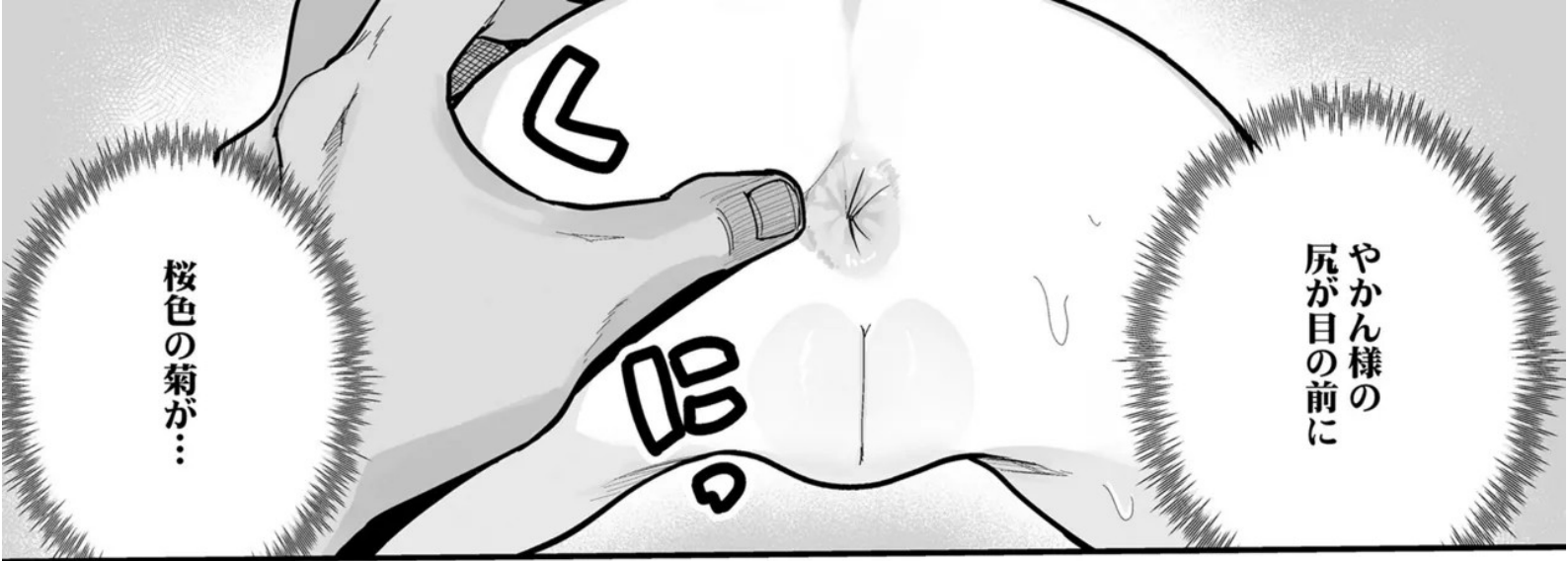
尻でも愉しみたい



寅吉い
余の尻を舐めろ

度胸が
つくじやろっ...

む



やかん様の
尻が目の前に

桜色の菊が…



では失礼します



心地よいのう

ちゅい

ちゅい

ぞくぞくと
肌が粟立つ



思った以上に
がつつくのう

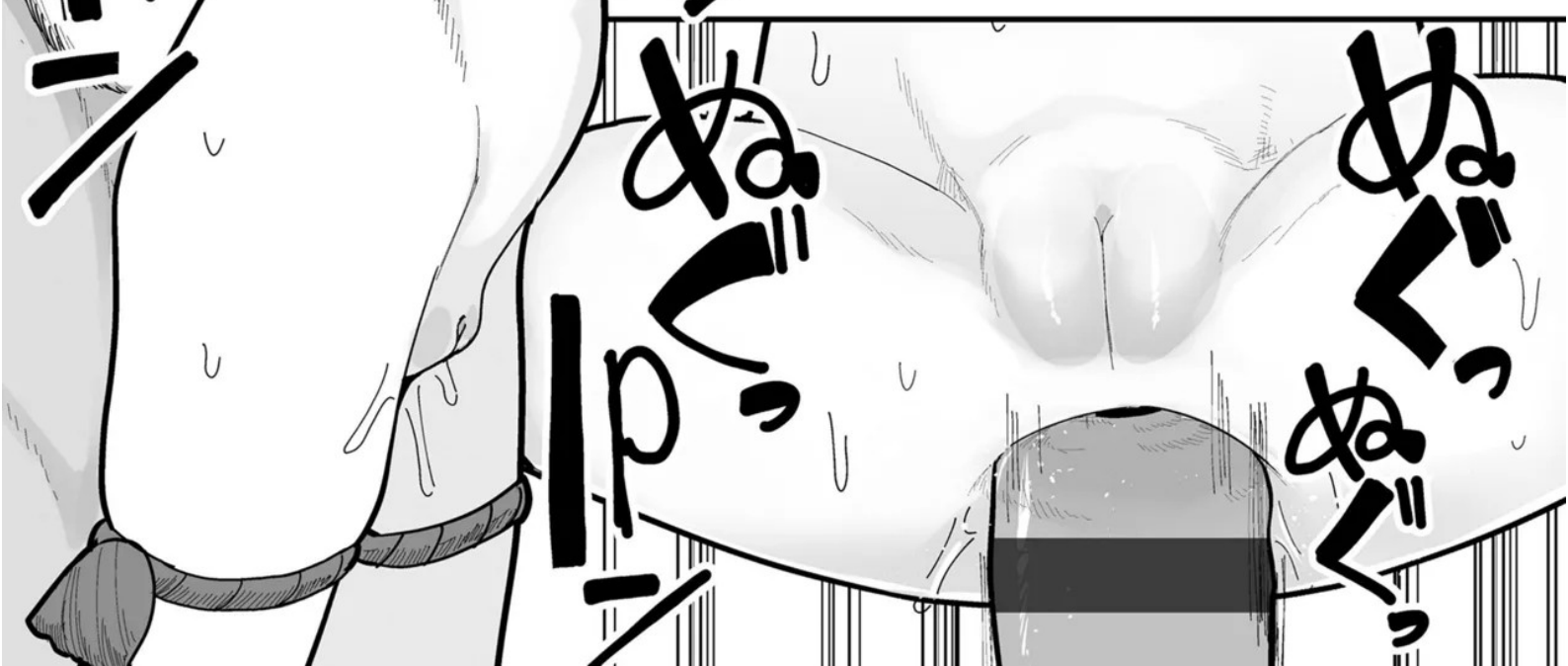
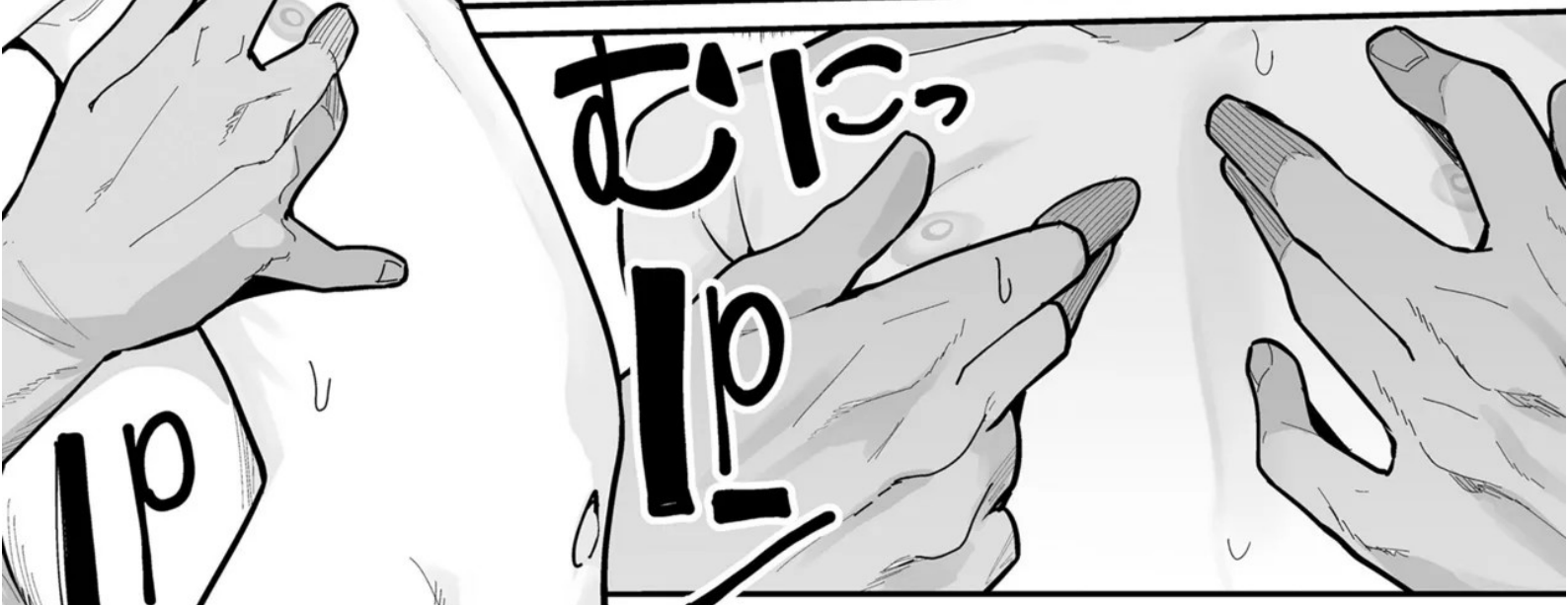
ヒッ

ヒッ

ヒッ









気持ちよいのう

ド
ド
ド



ほ
ほ

ぬ
ぢ

ぬ
ぢ
ぢ
ぢ



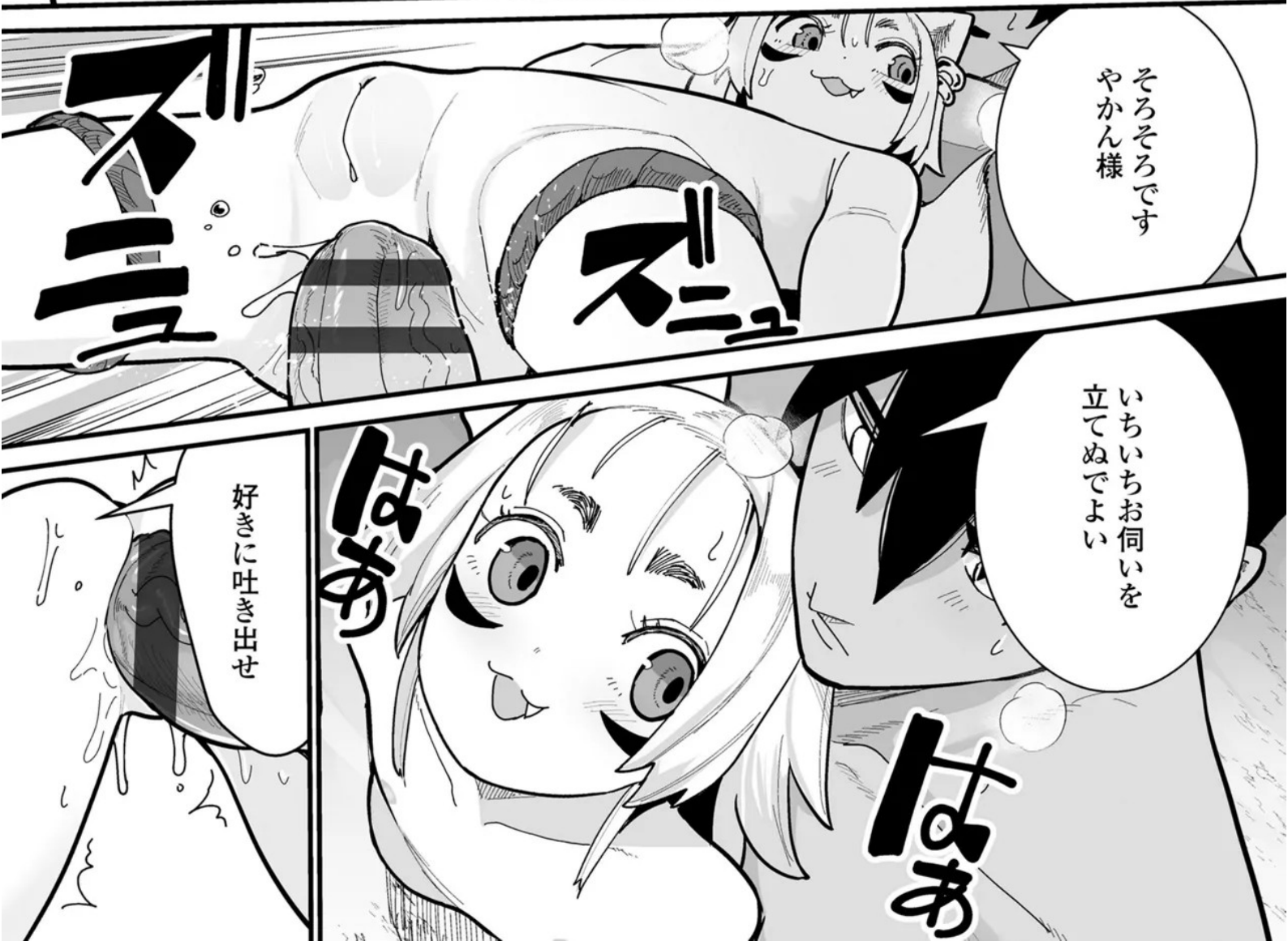
尻をほぐした
おかげで

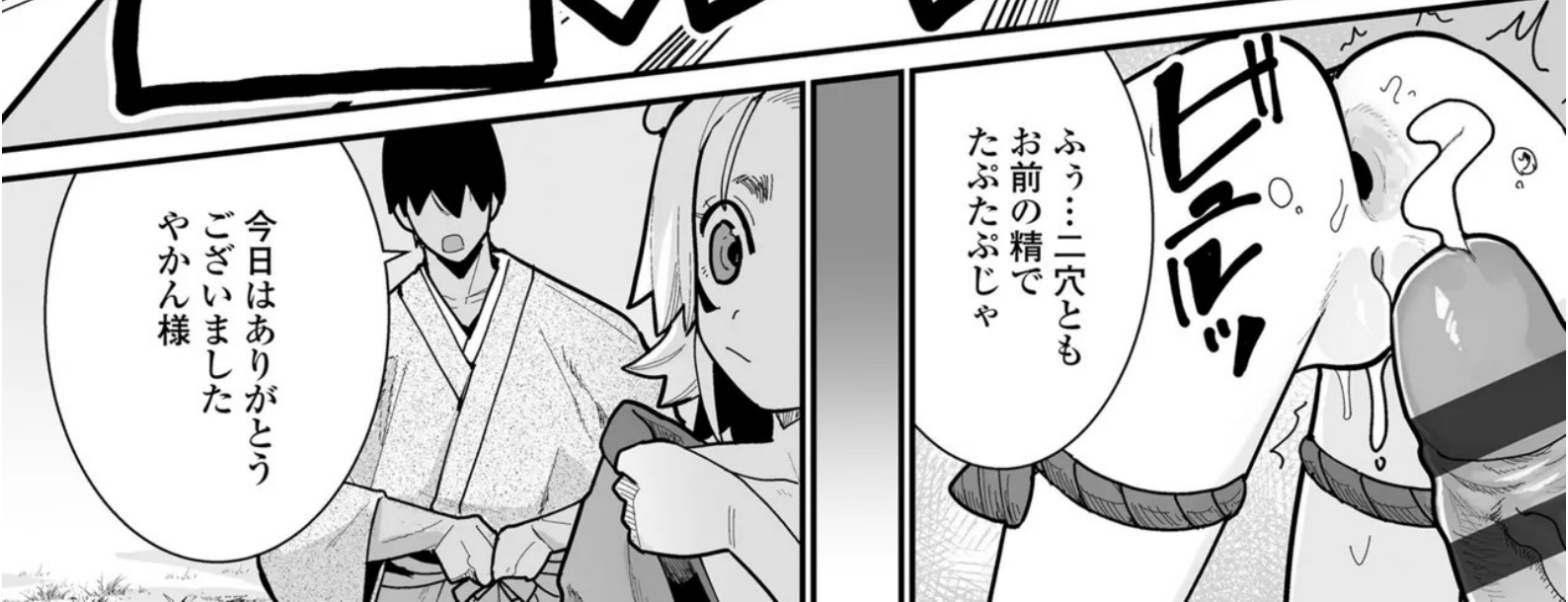
根本まで
咥えこめる

ぢゅ
ぢゅ



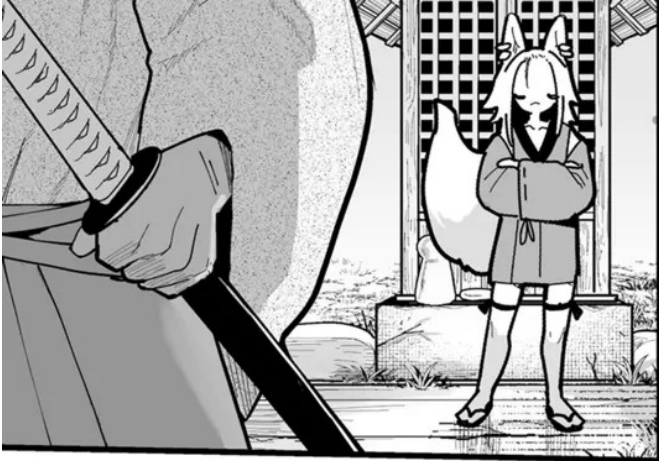
存分に寅吉を
味わえるのじゃ





ふう:二穴とも
お前の精で
たふたふじゃ

今日はありがとうございました
やかん様



おかげで元気
づけられました



ご利益はないが

もらっておけ



明日また
来るのじゃぞ



なんじゃさつきの
村の連中か？

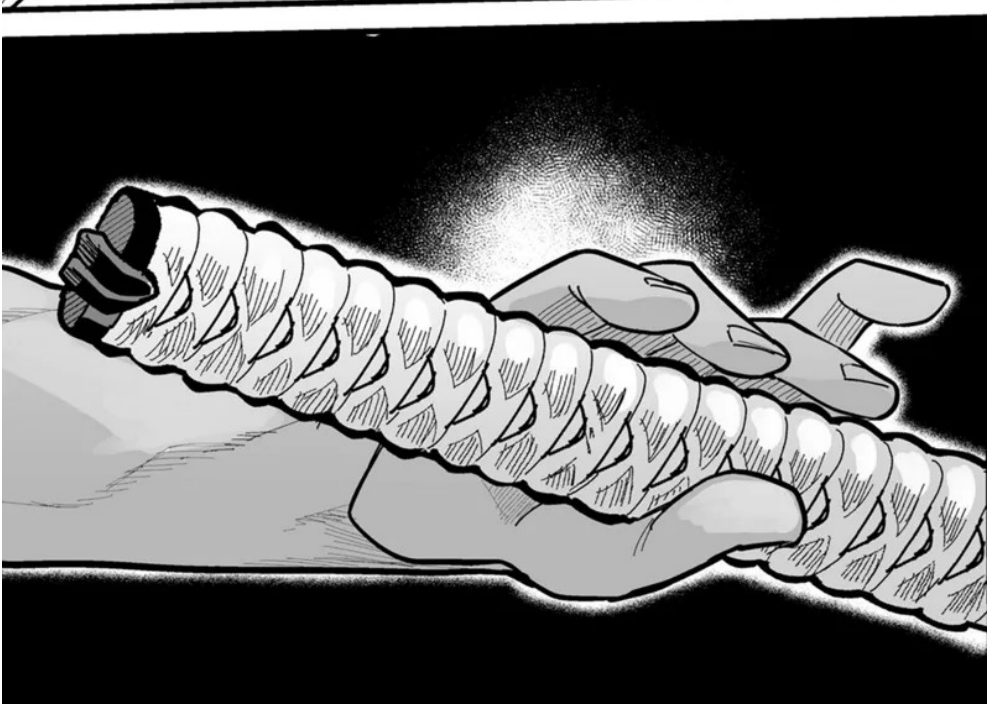
そのようですが





隣村の奴らに
襲われてる

寅吉！



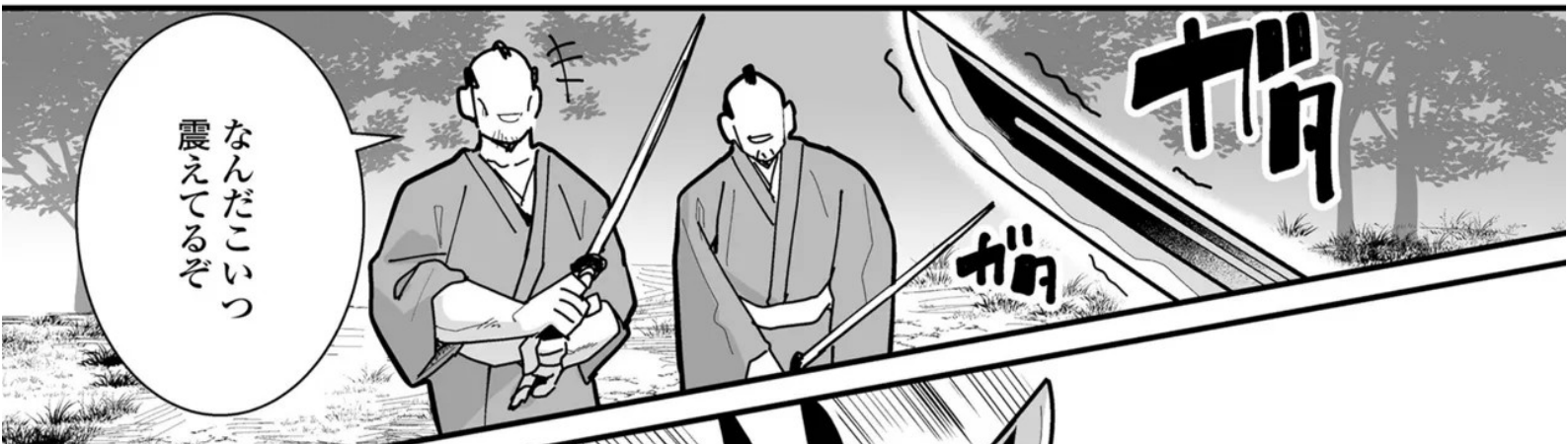
わ私を探していた
せいで襲われたの
でしょう？

おめえじゃ
敵わねえ！





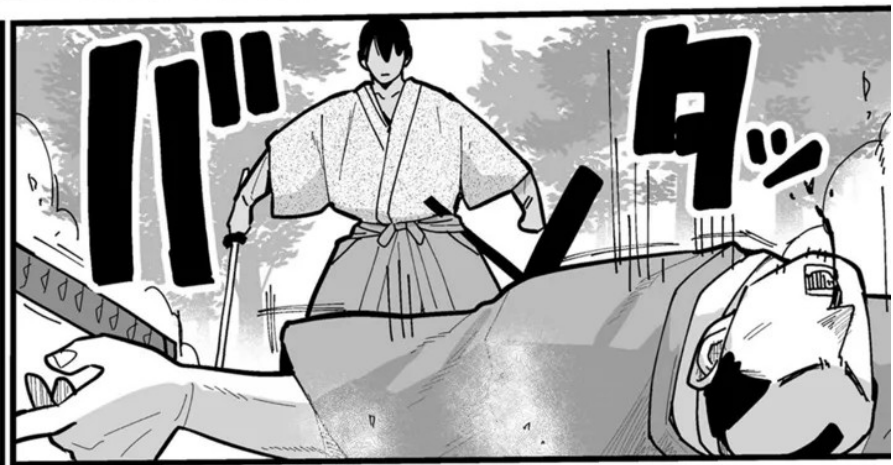
ここで逃げたら
男が廃ります…



なんだこいつ
震えてるぞ



腑抜けが
ぶっ殺してやる





寅吉おめえ
そんなに強えのか

斬らずに
の伸しちまう
なんてよ!



やかん様
ちやんとご利益
あるじゃないですか

いやいやいや
余のおかげじゃ
ないからな!

私に自信を
付けさせるために
わざと...

お前の身体が
特別強靱な
だけじゃ!



余マジで
何もして
おらんからな

くれぐれも
無茶するでないぞ！

聞こえない…
でも鼓舞して
くれてるのだろう



伝わっておらん

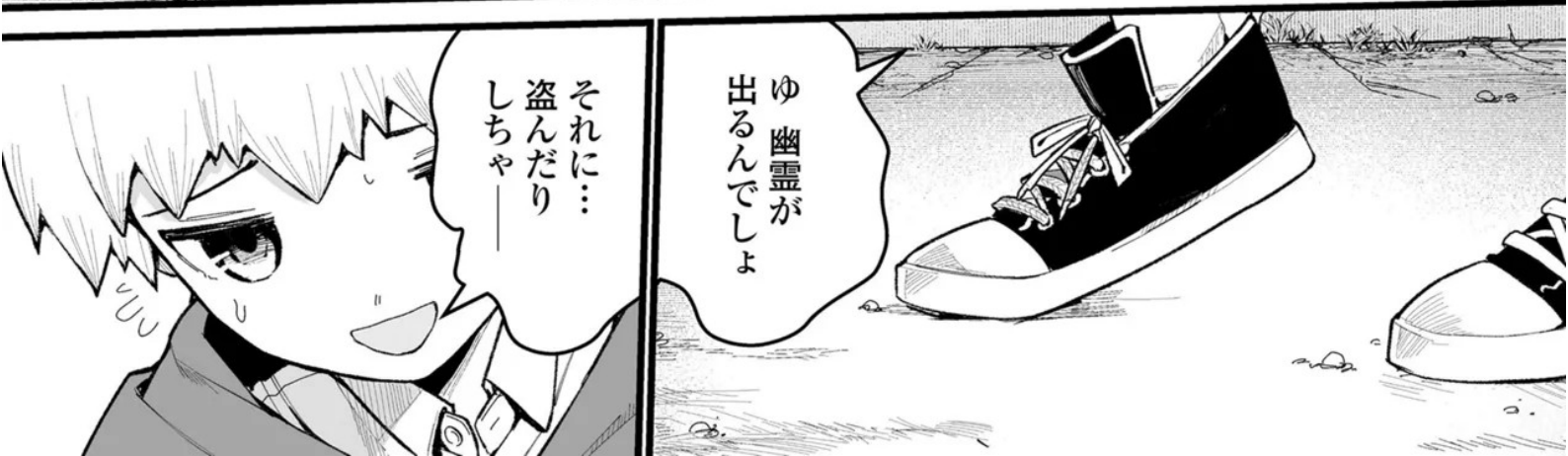
神が神頼みとは
とんだ名折れじゃが
無事を祈っておこう



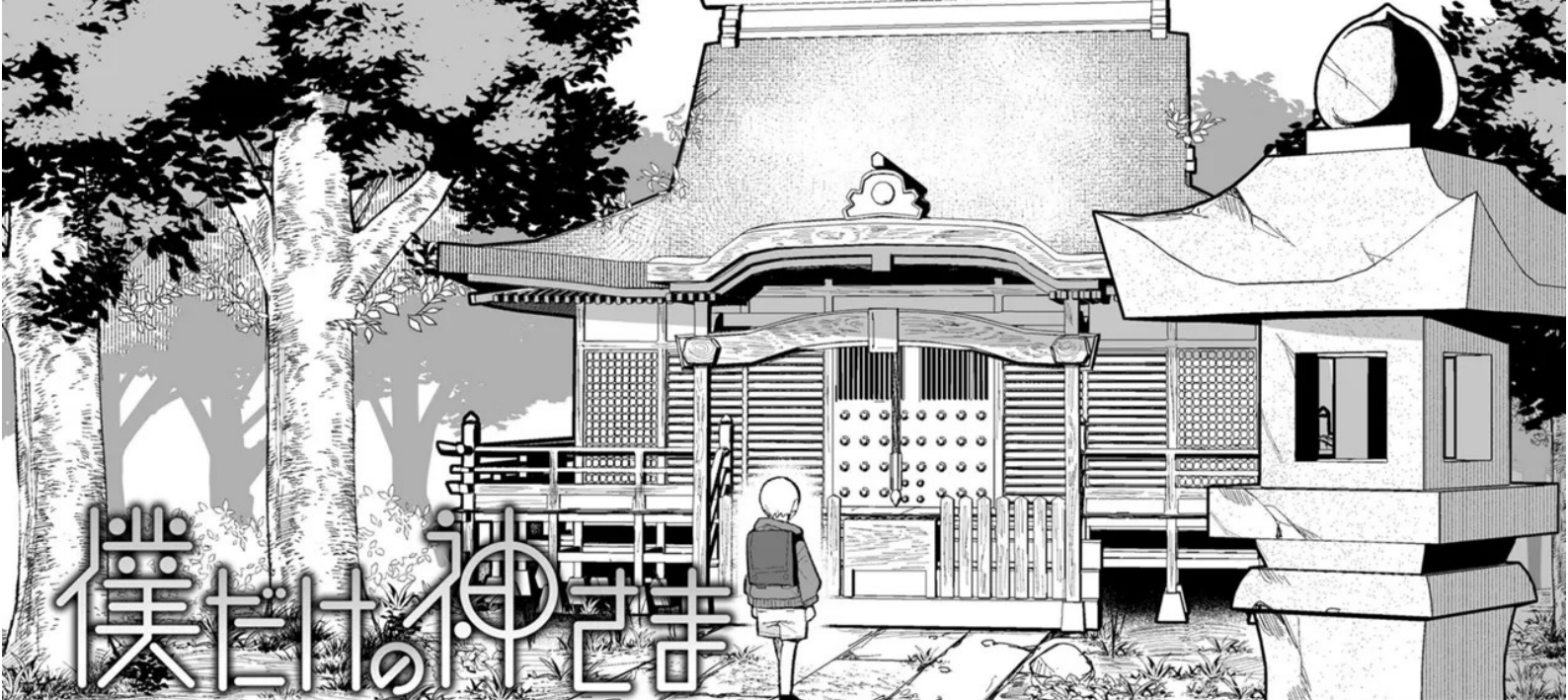
その後
寅吉が無双の
活躍を見せ

見事勝利を
収めた

End







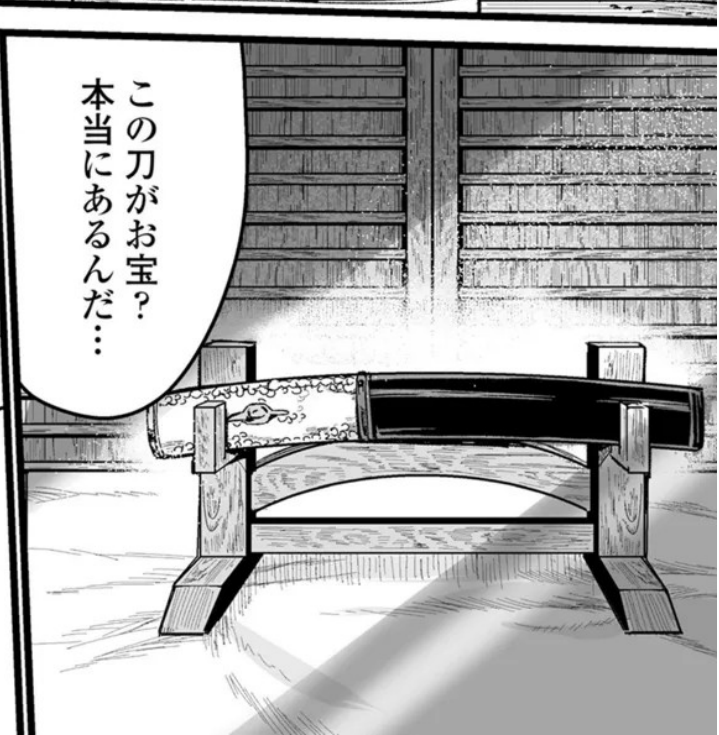
早く取ってこよう



ひっ...



盗人の
童が一人



この刀がお宝？
本当にあるんだ...







うくむ あまり
お気に召さんか？

この主として
客人をもてなさず
帰すのはしのびない

ほれ！
酒も煙草もあるぞ

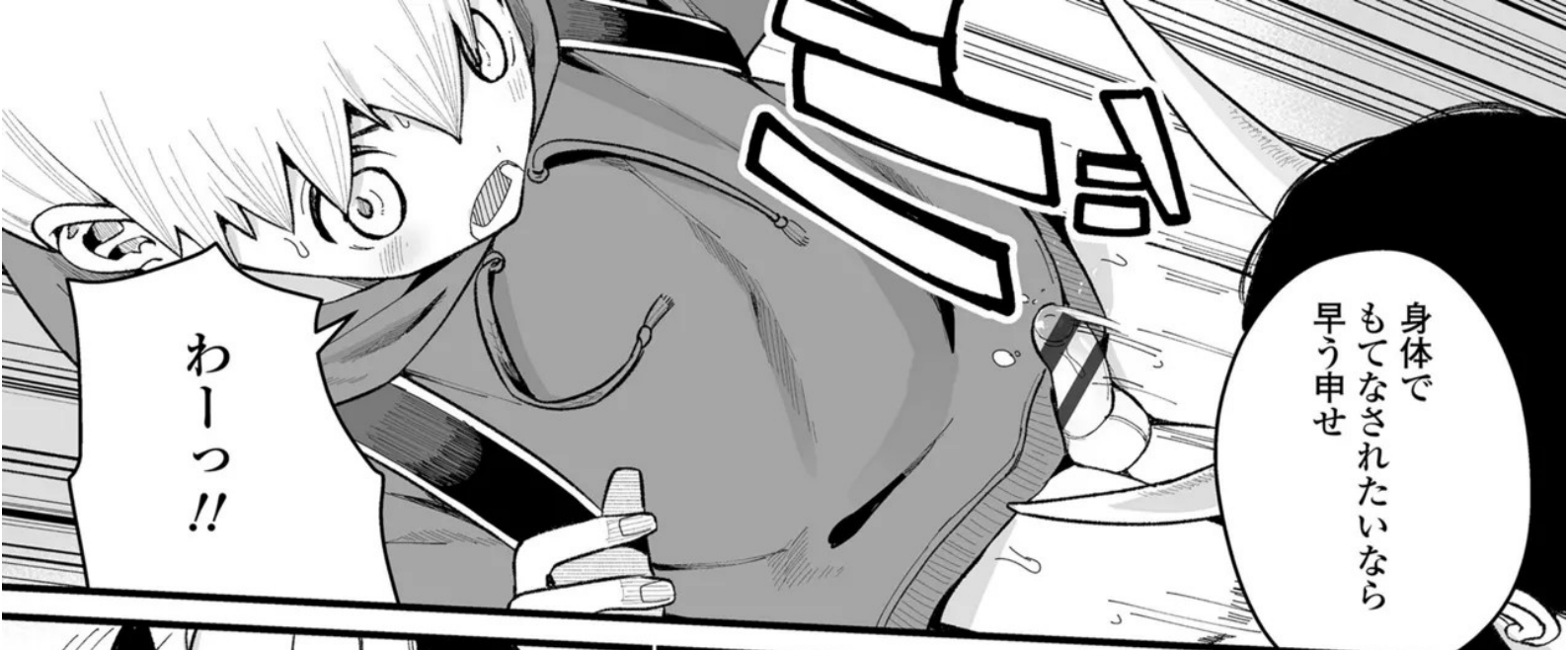
コト

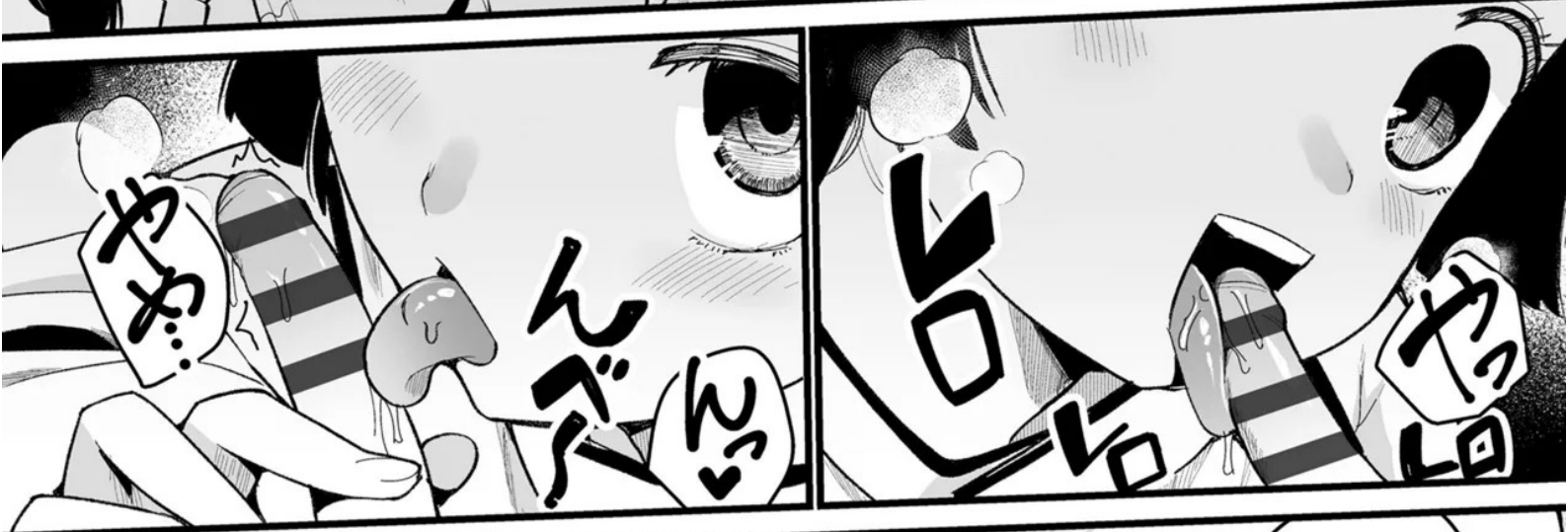


双六しか
あたらぬう

なんじやとおぬし
可愛い顔して
すけべじやのゝ

いや…あのっ
み見てない
…です！







す 蘇芳さん…何か
出ちやいそう



逃がさんぞ

口から
出した方が



おぬし精通も
しておらん
かったか





若いのう射精した
ばかりなのに
もう勃^たたせておる

な何するの？

交わるんじや

ズ
ニ
ヒ
ク

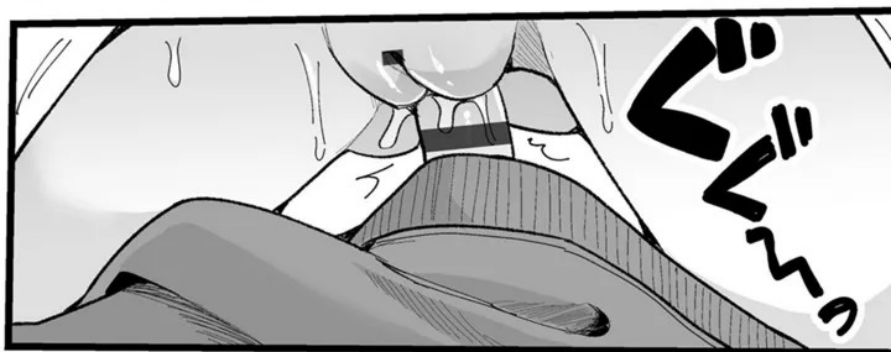
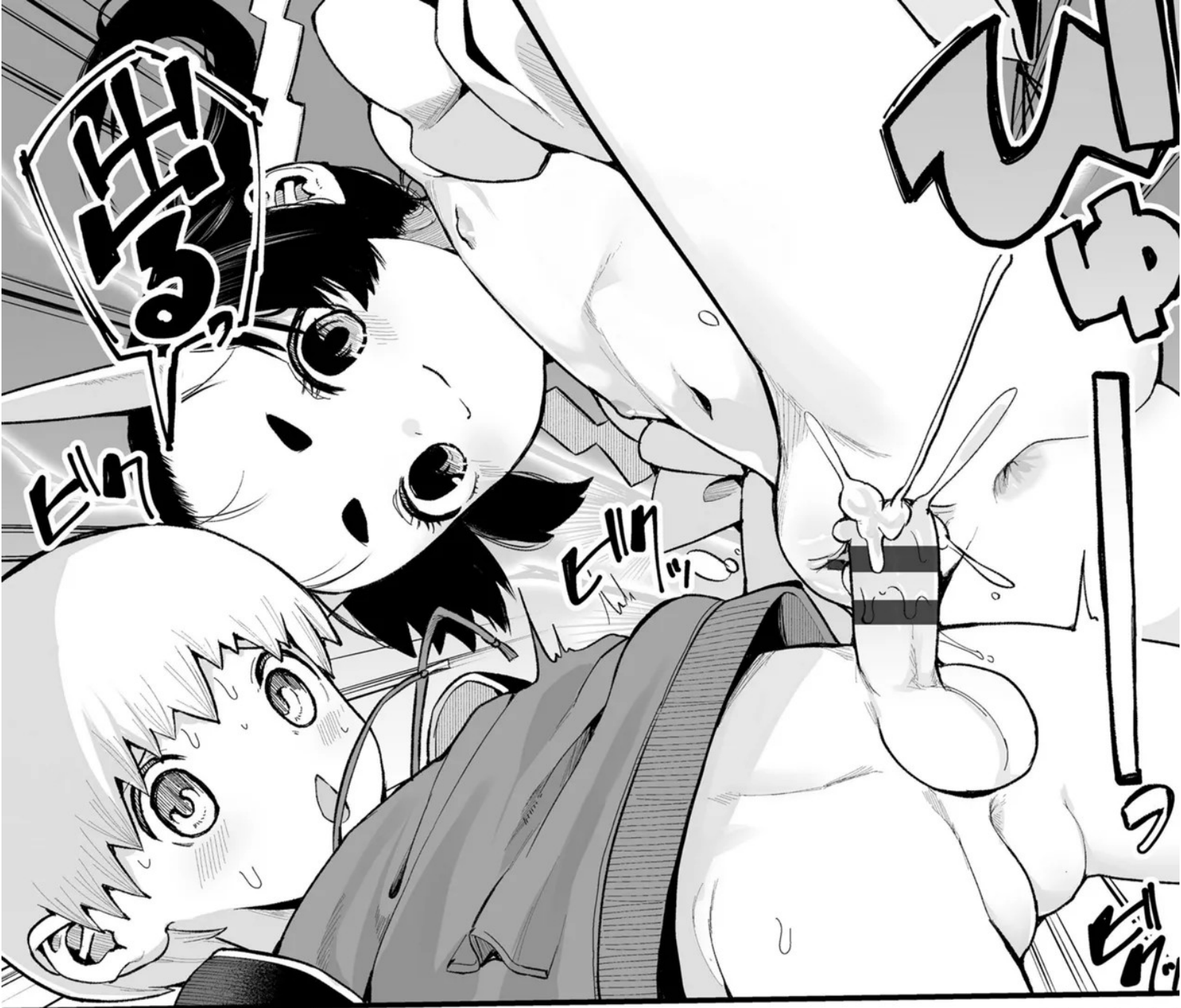














翌日

あー？ お前盗って
こなかったのかよ

友達との約束も
守れないのか

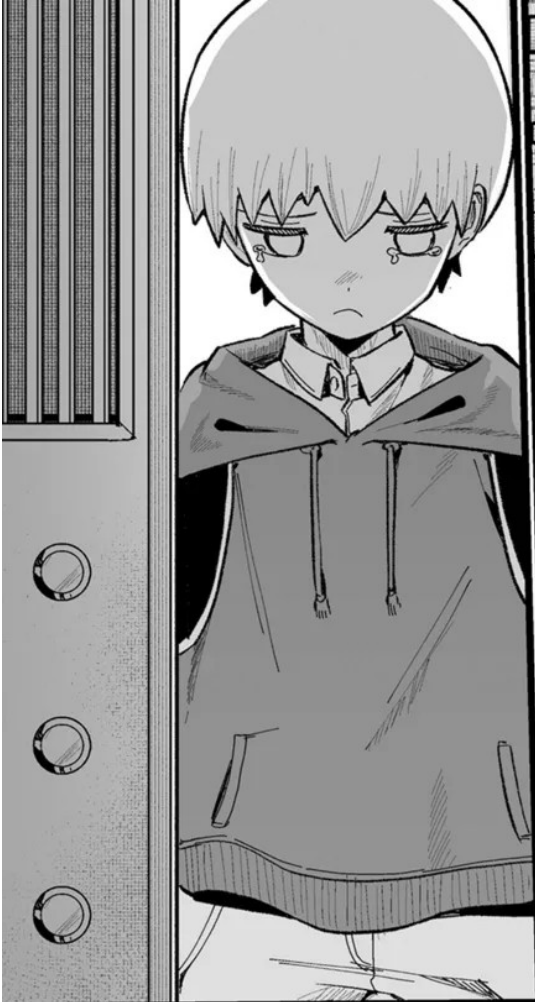
ごめんなさいっ…
神社には
行ったんだけど――

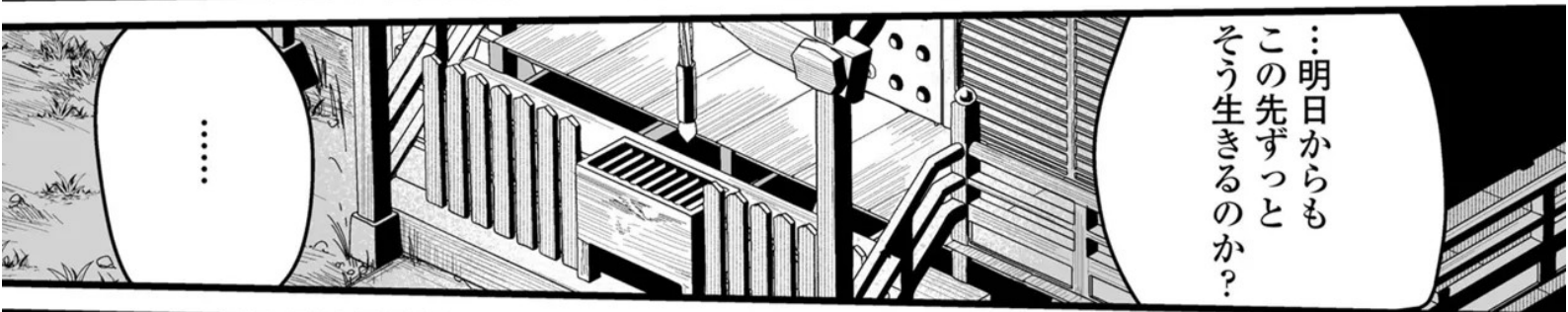
言い訳か？
誠意が
足りないよな

お前らも
そう思うだろ

誠意が足りないって
意見が
過半数を超えたぜ
きちんと詫びろよ







次の日からぼくは
学校ではなく蘇芳さんの
神社に通うようになった

神の御前で
居眠りとは
いい度胸じゃ

勉強を疎かに
するでない！

勉強を
教えてくれたり

昔にこの神社を
取り壊そうとする
輩がおつてのう

それで
どうしたの？

穩便に解決して
やったのじゃ

あの頃は信仰が
厚かったから
割りと無茶
できたのう

昔話をよく
聞かせてくれた

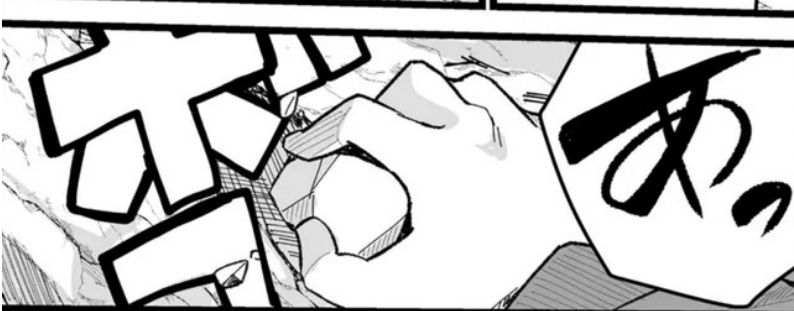
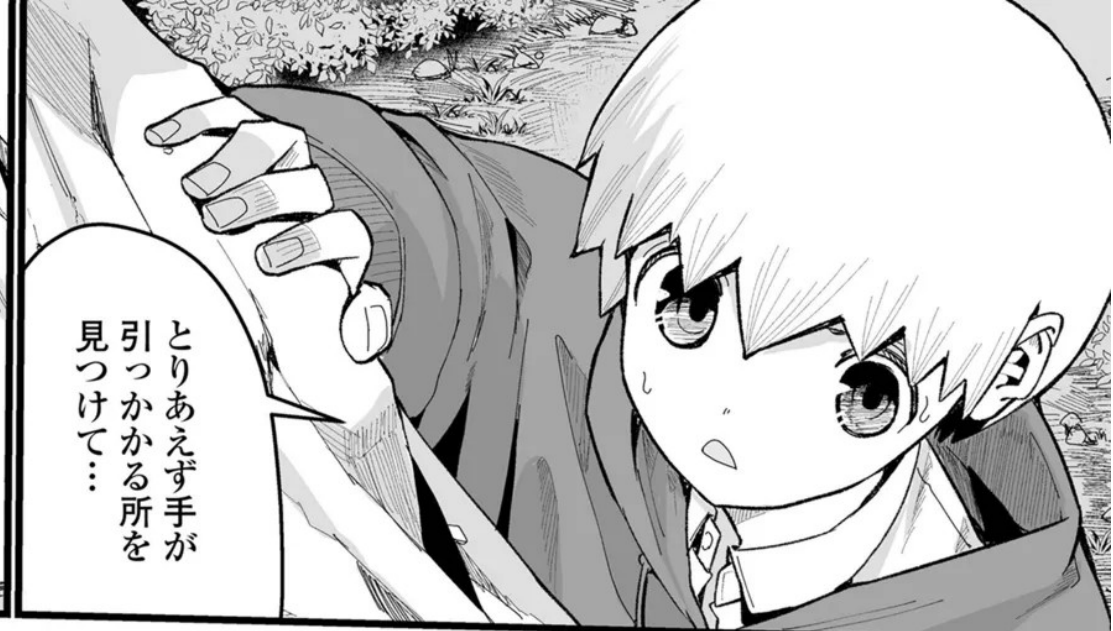
蘇芳さん
何処に行くの？

まあついて参れ





とりあえず手が
引っかかる所を
見つけて…



もうちよつとで
頂上だ

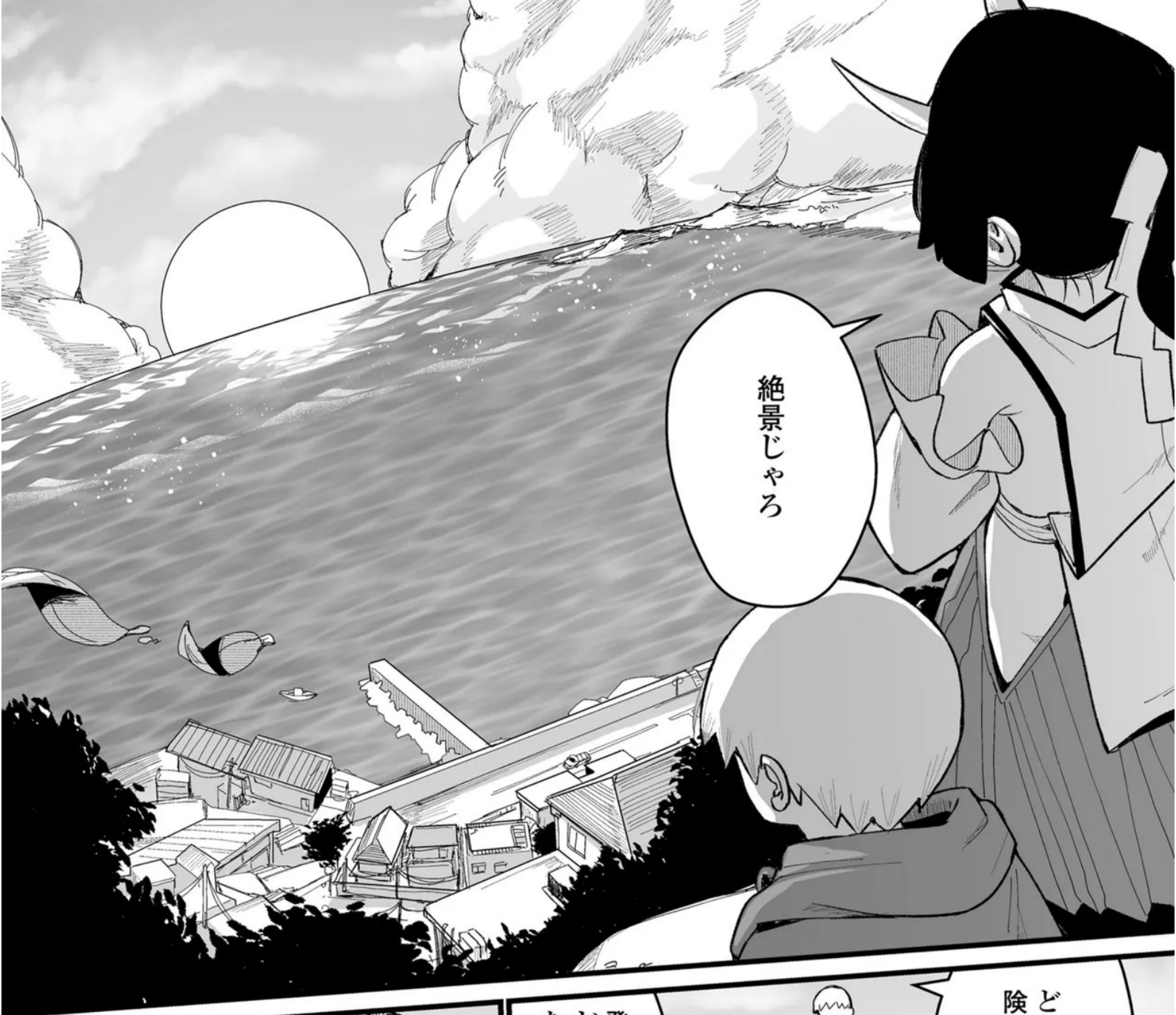


よし…コツが
掴めてきたぞ



よう頑張ったな
ほれ見てみる





絶景じゃろ



どうじゃ?
険しい岩場も

登ってみれば
どうってこと
ないじゃろ



あつ履物が

こっちは崖なんだ
でも蘇芳さんなら
どうってことないよね

：厳しいかのう
この岩より
向こうは
神社の外じゃ



儂は境内からは
出れぬのじゃ

神つてのも
不便でう



人の手を
借りなくては
おちおち外も
出歩けぬ



自由であれば
寂しい思いはせずに
済むんだがのう

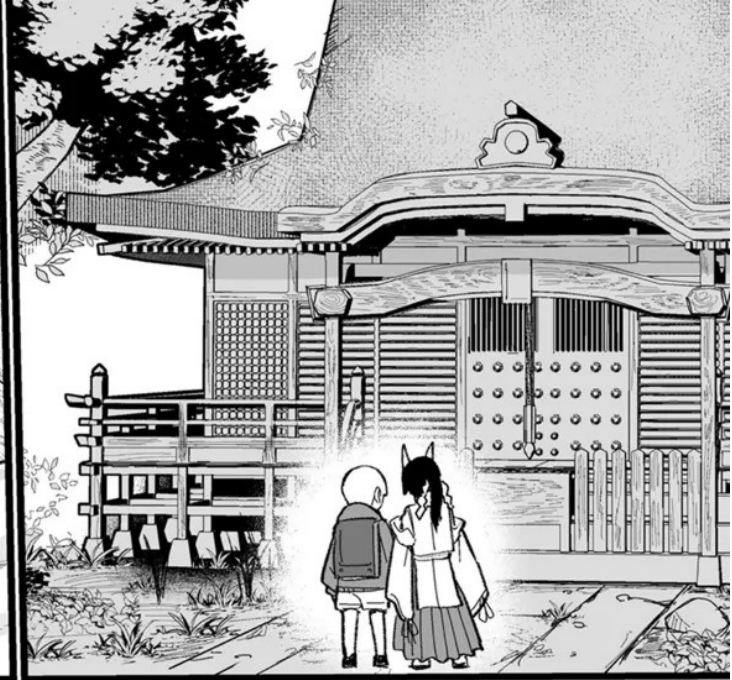


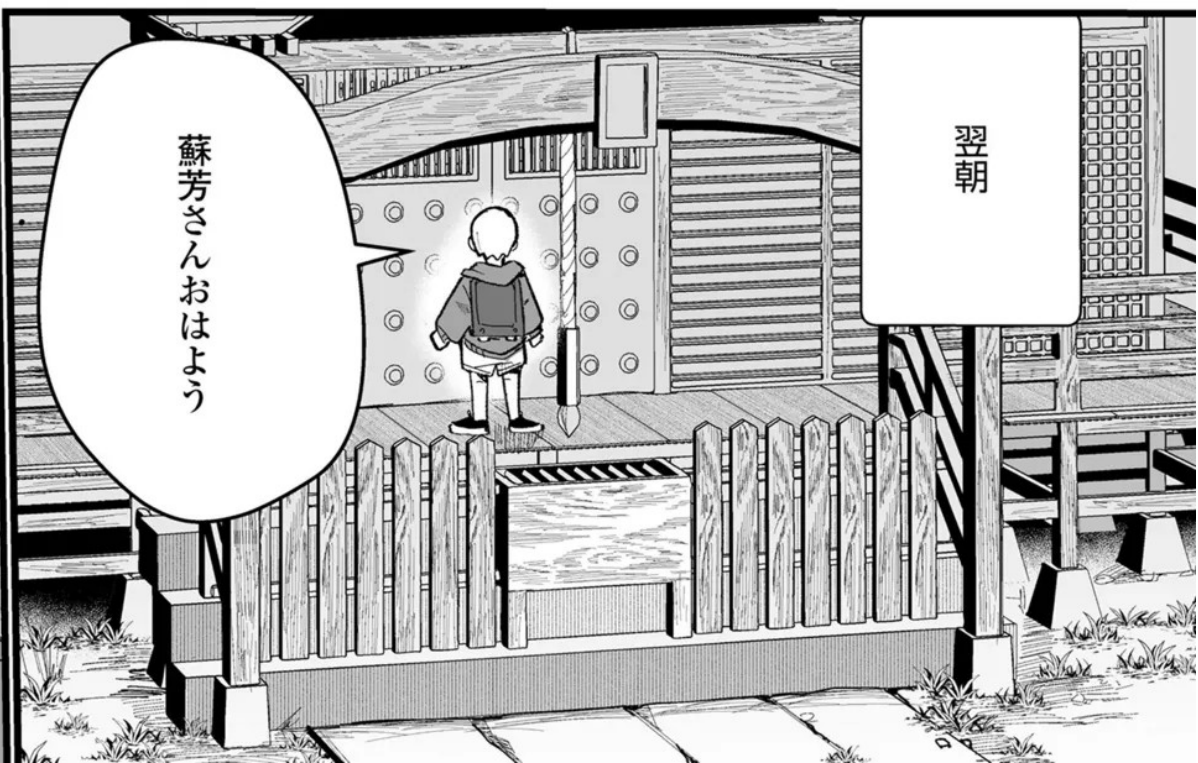
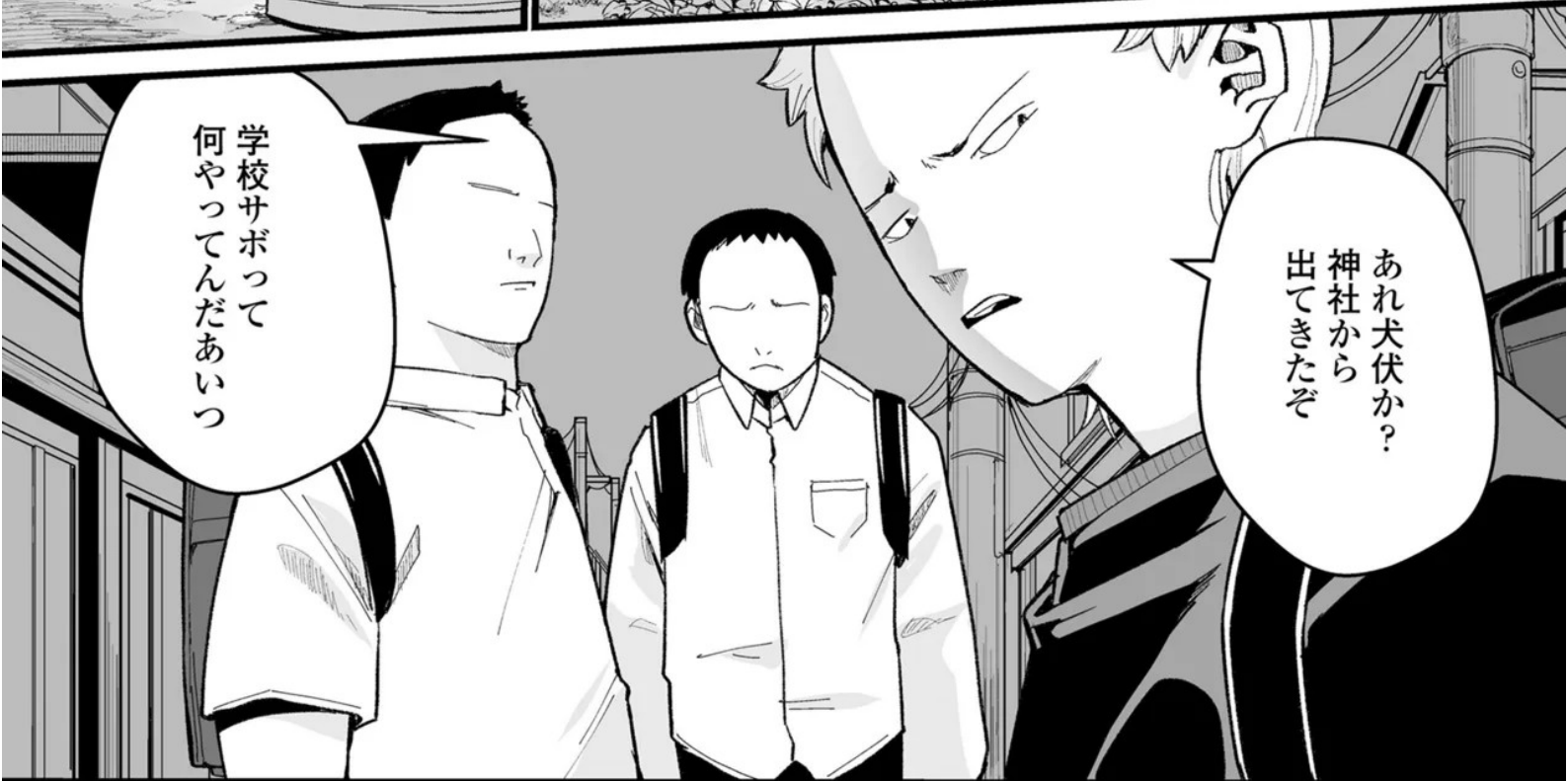
：取ってくるよ
ちよつと待ってて



馬鹿！死ぬぞ









おー犬伏
久しぶりだな

きちんと神社で
お宝探し
してたんだな

見つけたなら
教えてくれよ
この刀だろ



「儂の大切な
ものじゃ」

…ややめ

でもよお
犬伏

宝って言うから
どんな物かと思ったら
しょぼい刀一本か

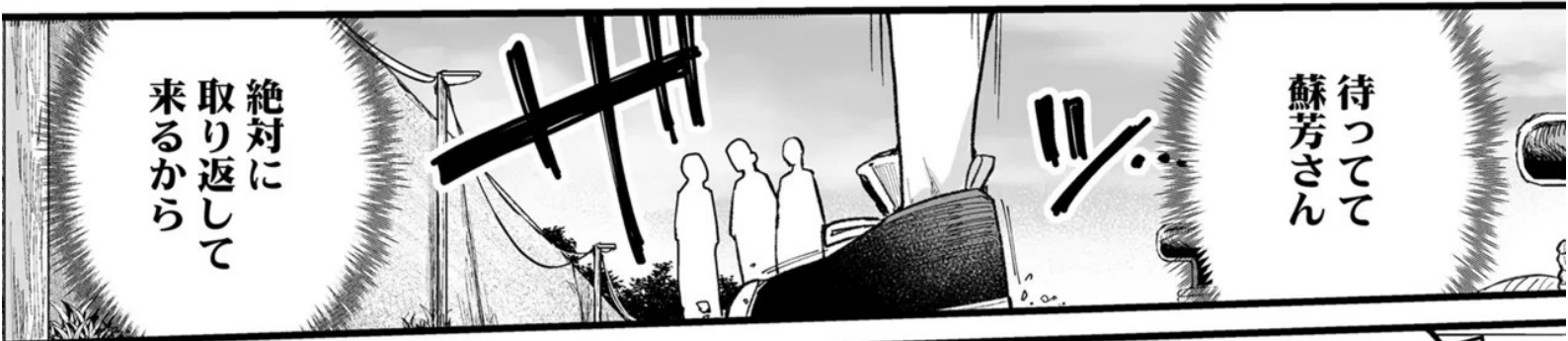


宝を独り占め
しようなんて
許されないよな

罰として
お前で切れ味を
試してやる







待ってて
蘇芳さん

絶対に
取り返して
来るから



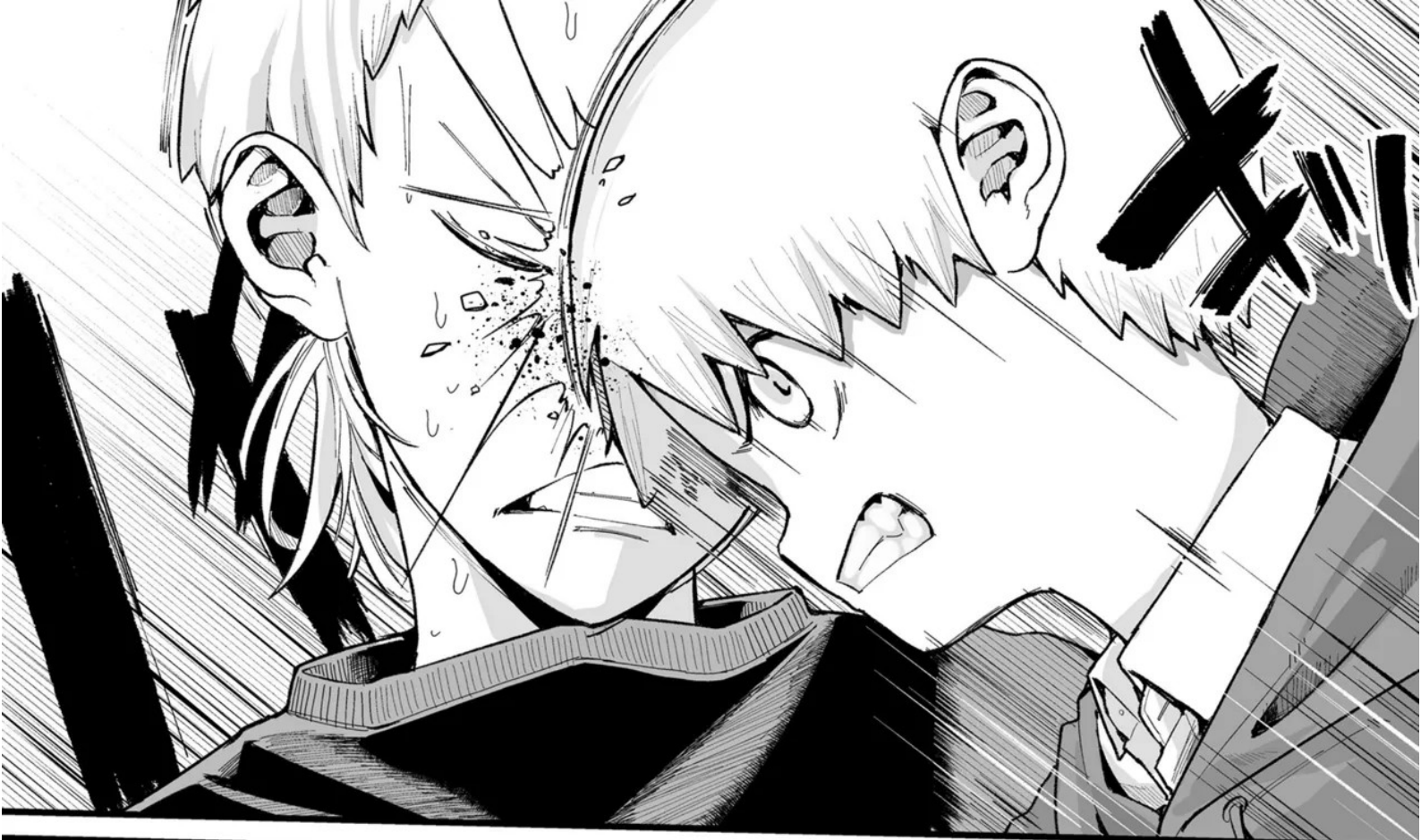
何だその口の
利きかたは

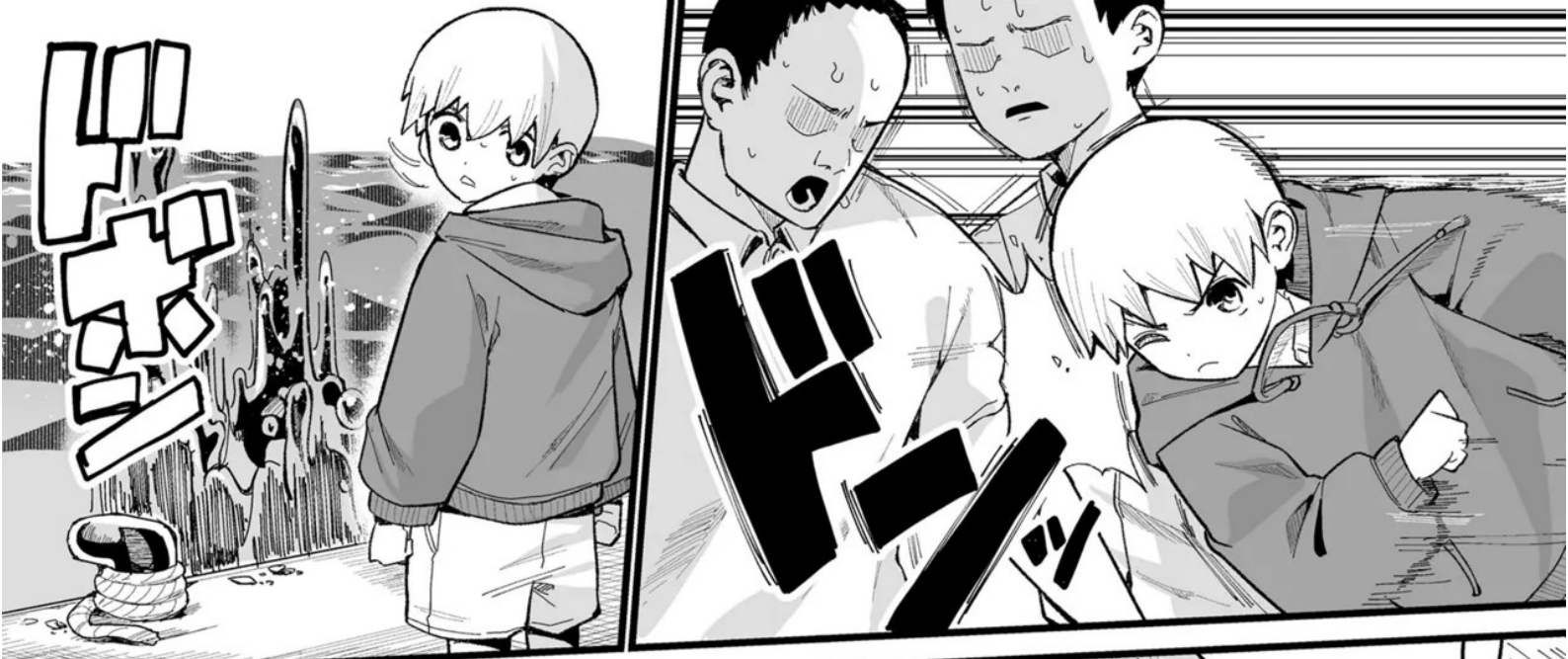


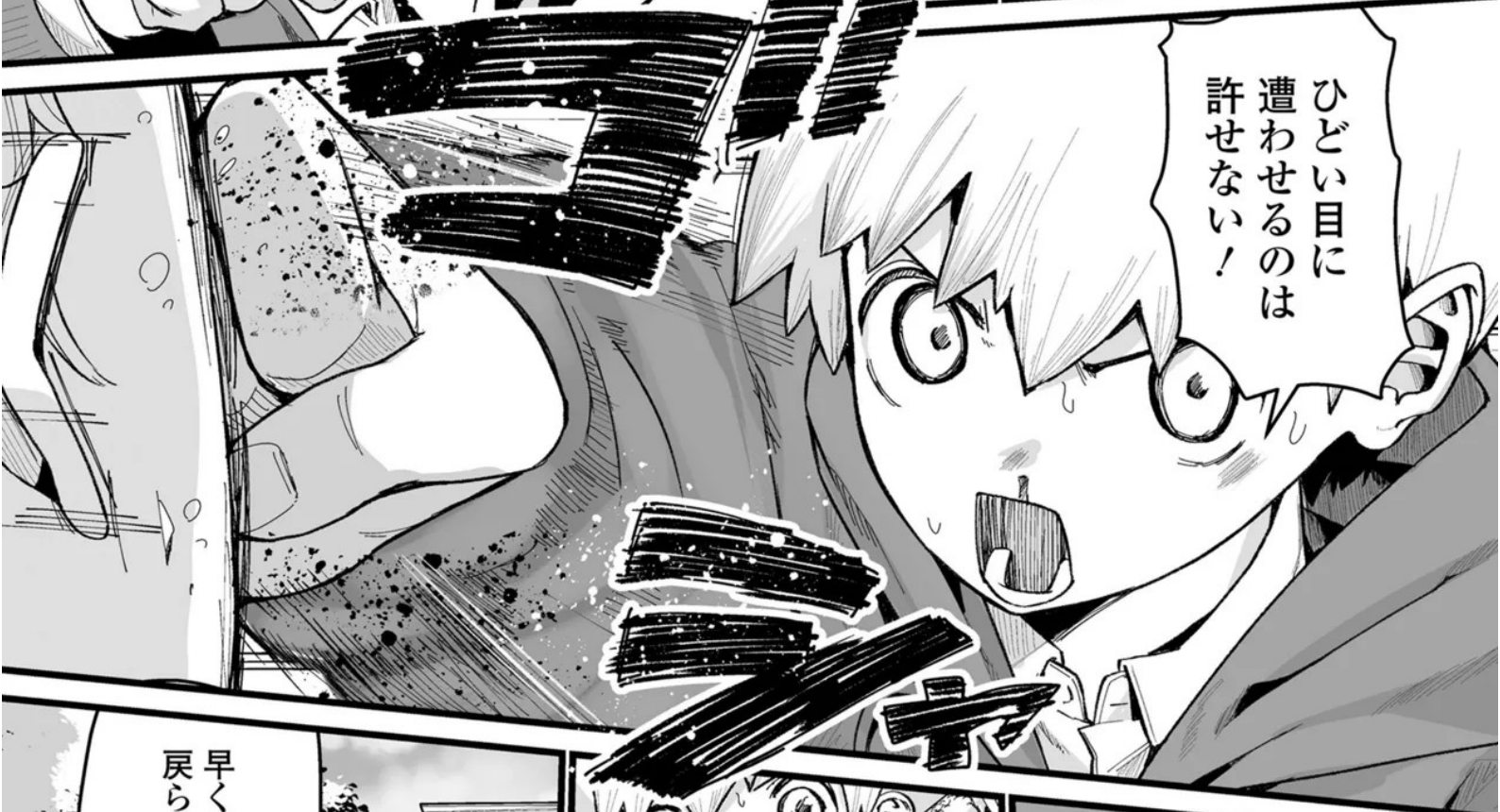
その刀を返せ！

お前ら！











蘇芳さん！

おお…取り返して
きてくれたのか

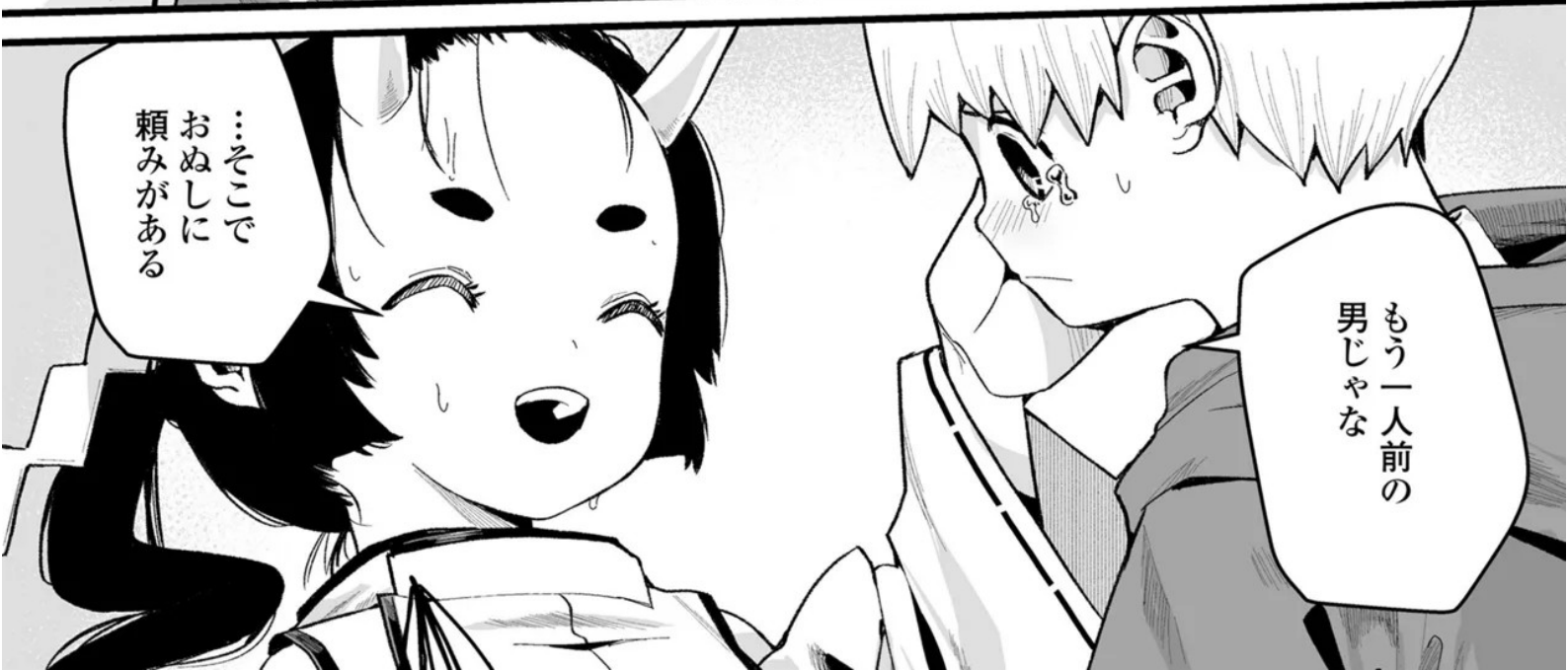


ふふふ おかげで
消える前におぬしと
会話がでるのう

ななんでちゃんと
刀は持つて帰って
来たのにどうして…

オレ

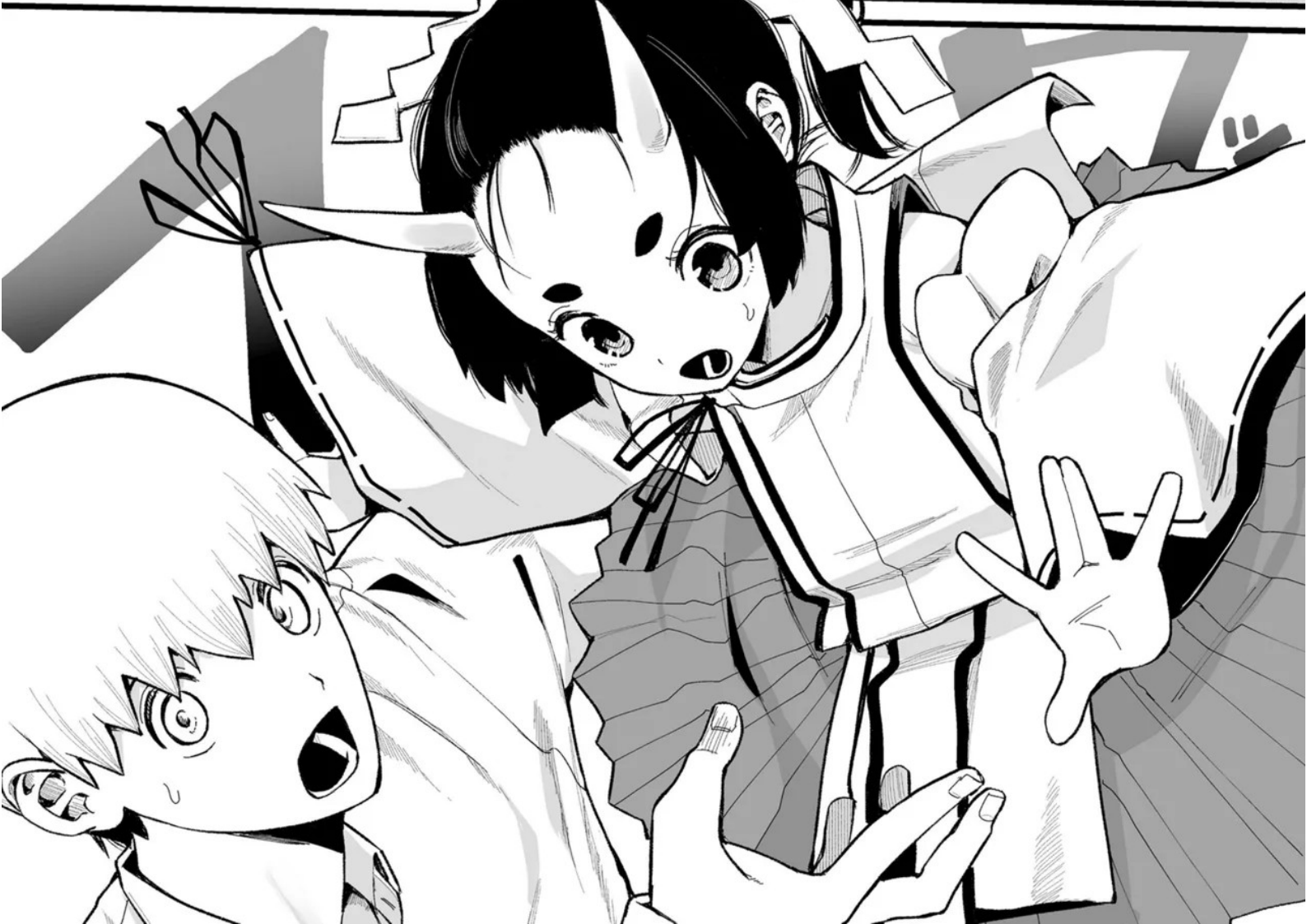
オレ



もう一人前の
男じゃな

…そこで
おぬしに
頼みがある







おお！ 犬伏や

背が随分と高く
なったのう



泣き虫なのは
変わらんようじゃな

End



蘇芳さん…

魁



数時間前

もつすぐそちらに
応援が到着する
持ちこたえてくれ

了解

お仲間とお喋りか
随分と余裕じゃのう

天狗だったか
開発予定の山地
なんざさっさと
出ていけば

退治される
ことも
なかったのにな

うう…



診察室

戦闘で負った傷や術等を
癒すサポートも万全で
呪いも例外ではない

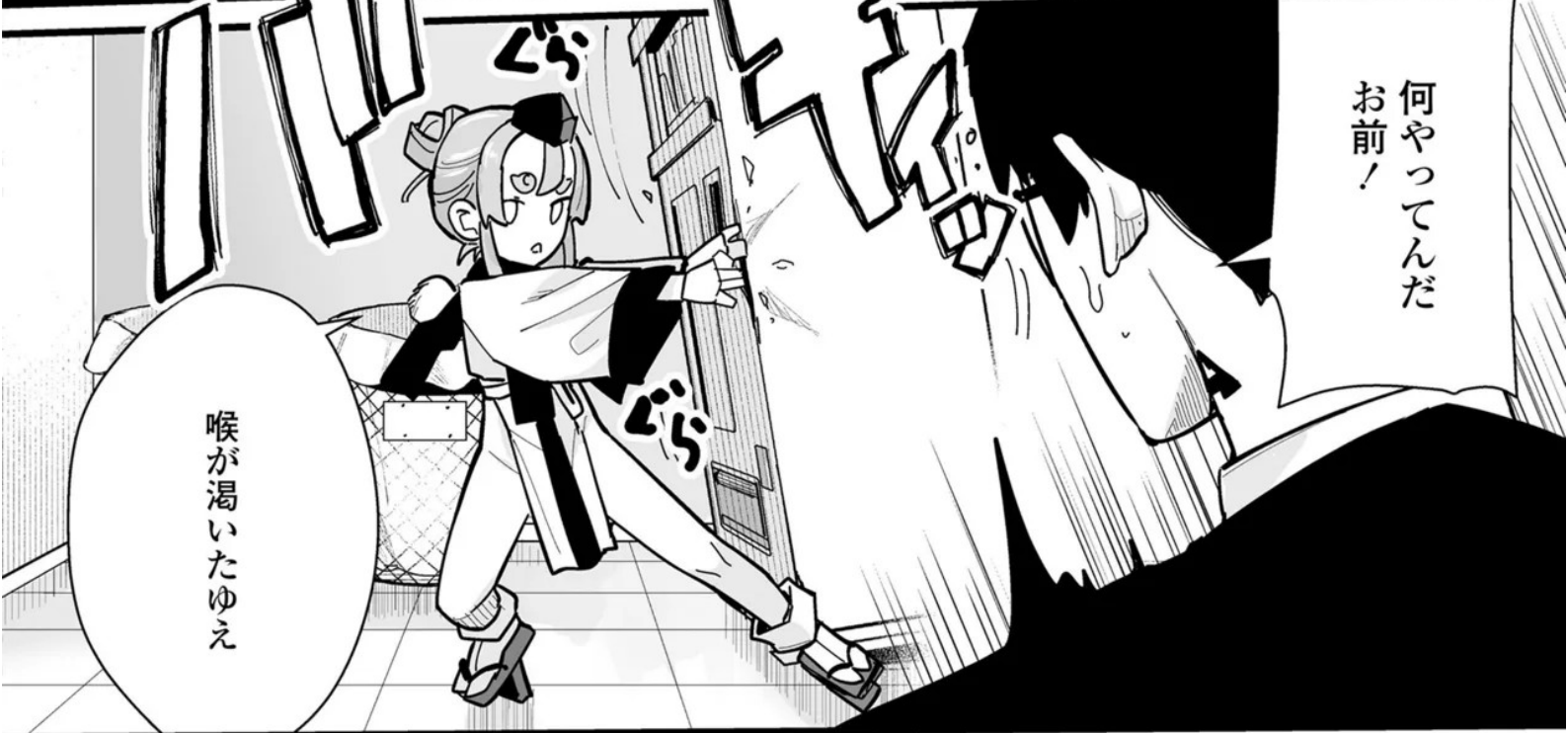
妖怪による
事件 事故 災害への
対応を行う組織である

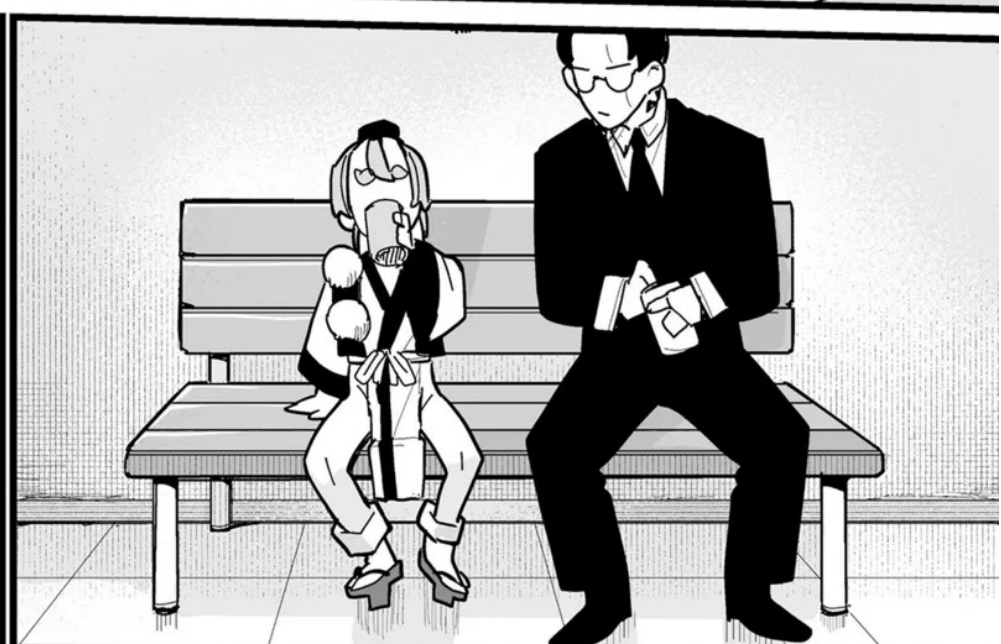
株式会社
妖滅社 本部

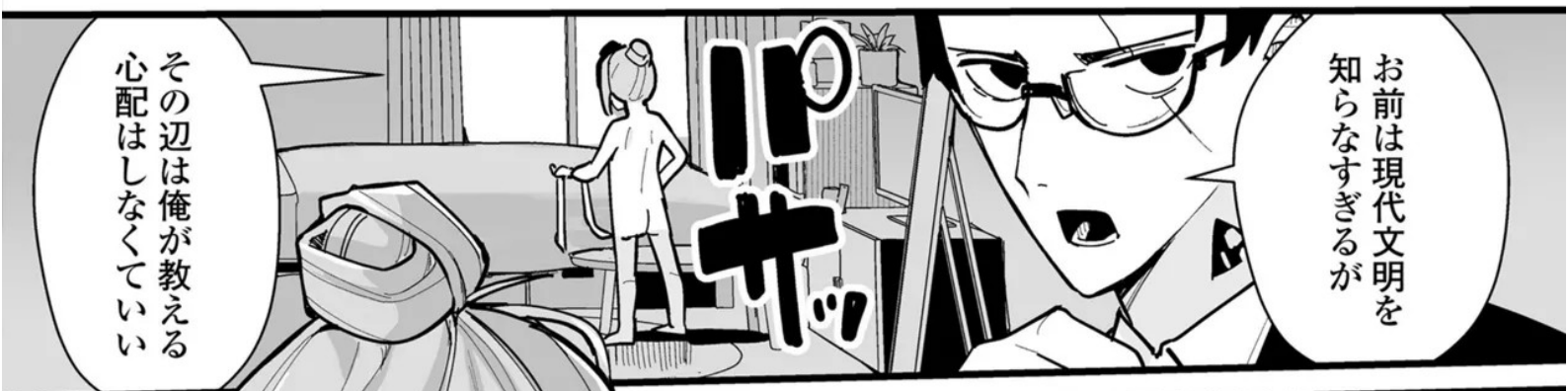
診断の結果この呪いは
『七日以内にお二人が
つがいにならなければ
お二人共死ぬ』
といったものです

冷風天狗吐









一理あるが
順序があるだろ！

何恥ずかしがって
おるのじゃ

天狗に
主導権を握られて
どうする！

Booo

儂の身体に
見惚れたか
愛い奴じゃ

そういうことに
しておいてやる

天

お前！ちつとは
雰囲気が出るような
言葉を吐けぬのか！

仕事一筋
だったもんで

まったく男のくせに
女子の喜ばせ方も
知らぬとは…
だらしないのじゃ！

儂が^{たづな}手綱を
握ってやらねば
いかんのう

ヒヤ

ほれ
甜めろ

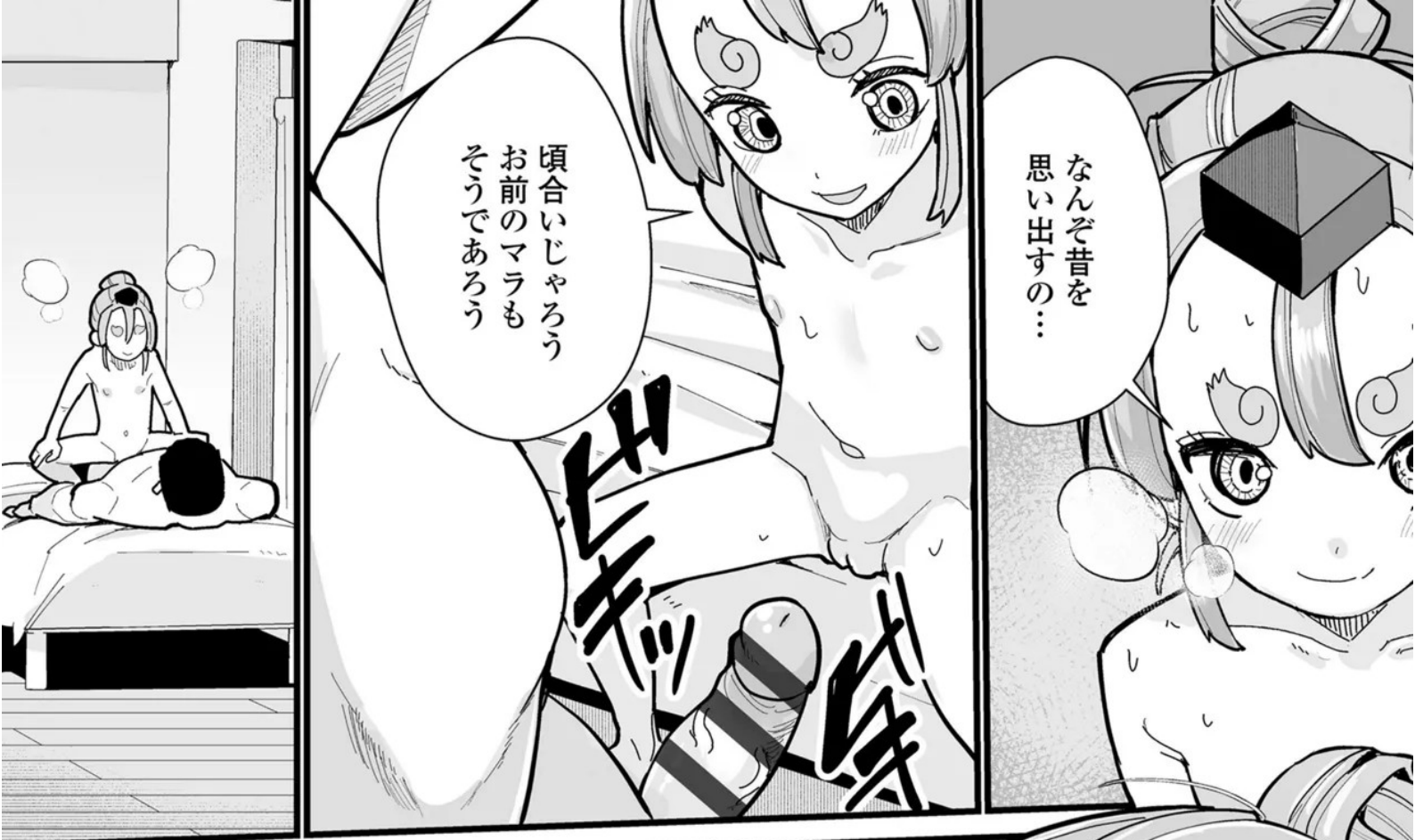
くっ…俺が
主導権を握る
はずだったのに…

キュッ

うぶな舌使いが
愛くるしいのう

アッ
アッ
アッ





なんぞ昔を
思い出すの…

頃合いじやろう
お前のマラも
そうであらう

ヒキッ



パンパンに腫らしおって
儂の女陰に収まるか
不安じゃのう

ぽっ





どうじゃ？
夢見心地じゃろう？



しかめっ面が大分
緩んだのう



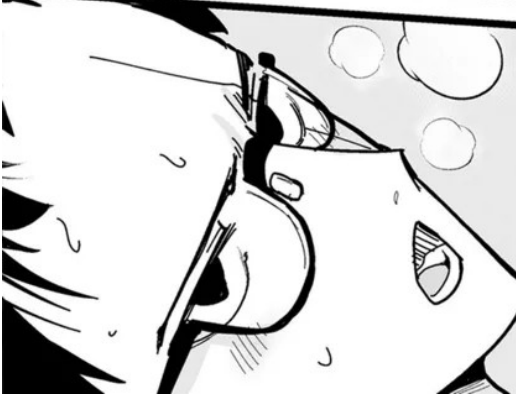
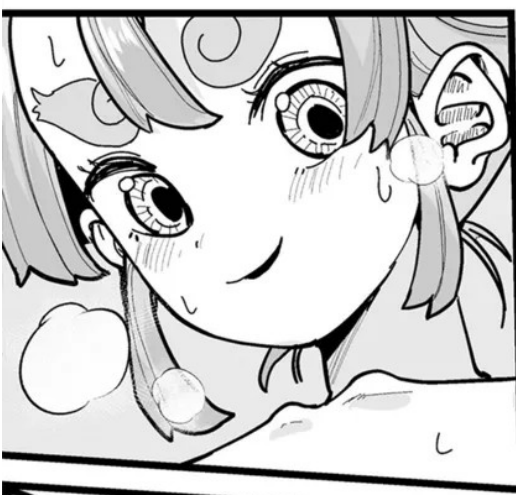
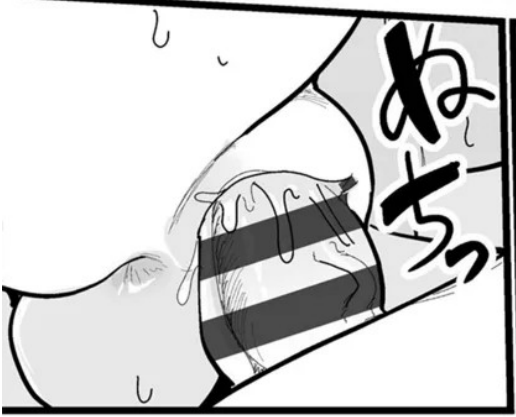
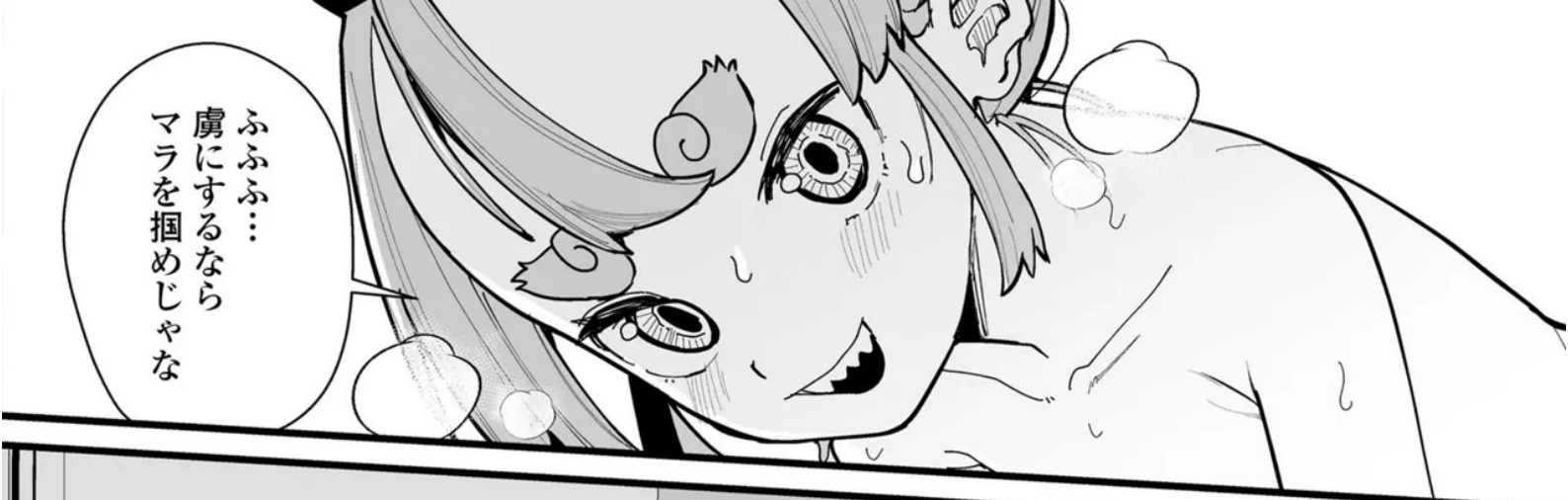
ま…
まあまあだな



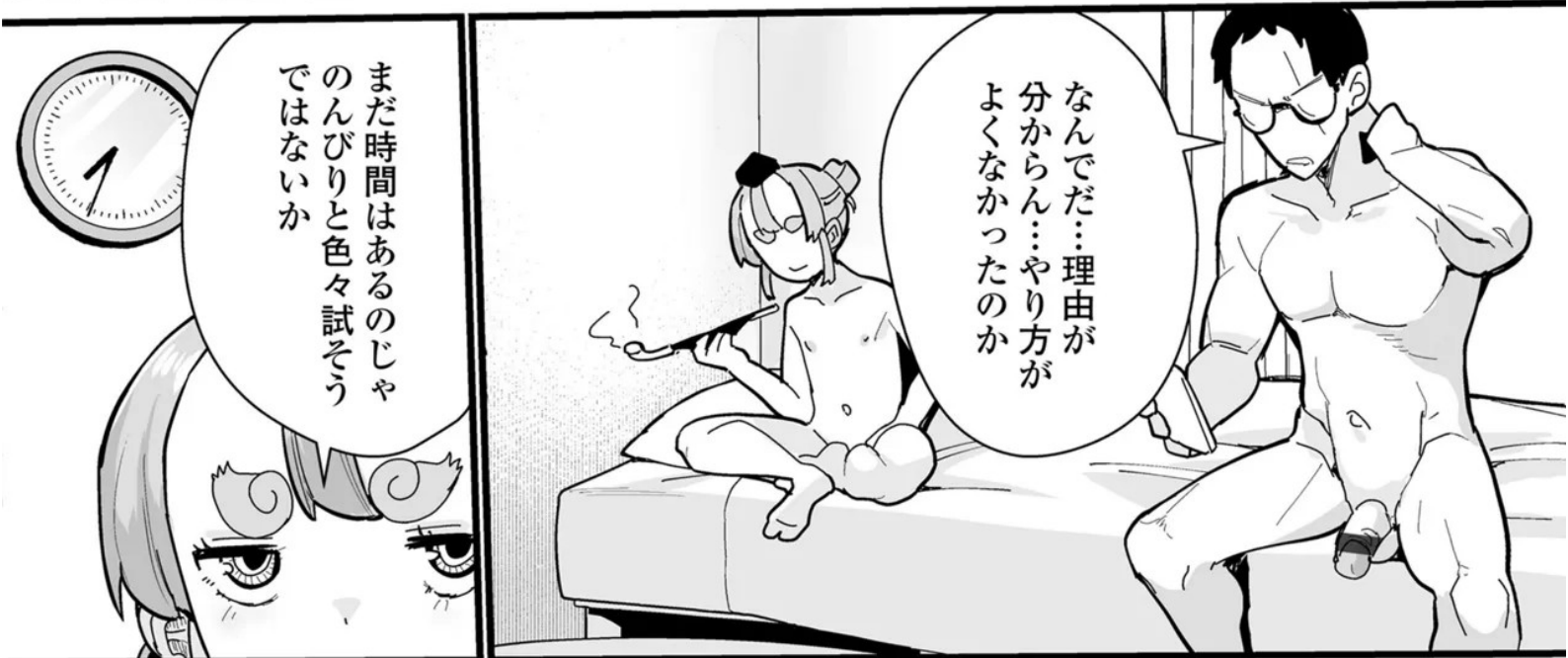
つがいに
なるんじゃろう
素直でないと
困るのう



ふふふ…
虜にするなら
マラを掴めじやな







図書館 ネット等で
調べ 手当たり次第に
試してみた



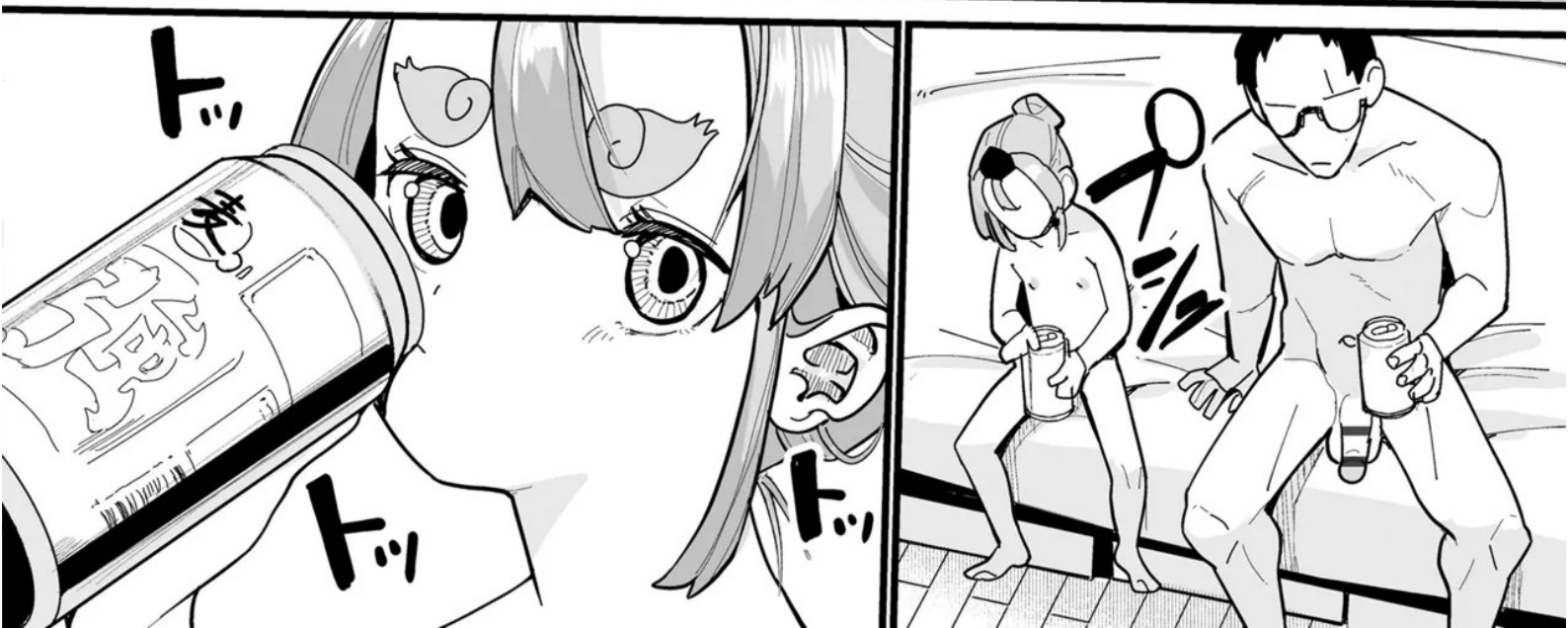
会社に相談したところ
普通のセックスでは
解呪できないのでは？
との助言



尻穴で
交わるのか？

なんじゃ
この格好…

しかしどれも
解呪には
至らなかった

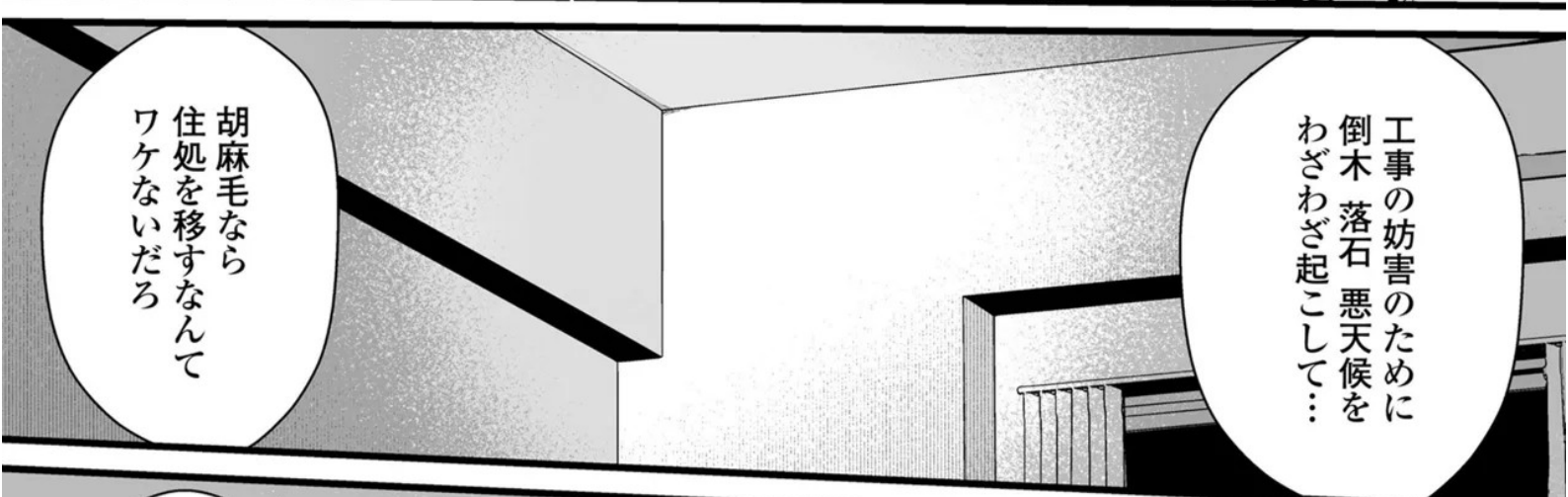




胡麻毛さんよく
なんでお前はあの山に
執着してたんだ

こやつ ーのところに
殆ど寝ておらん
かったから
酒の回りがはやいのう

ビッ
ッ



工事の妨害のために
倒木 落石 悪天候を
わざわざ起こして…

胡麻毛なら
住処を移すなんて
ワケないだろ



そうしていれば
こんな面倒ごと
お互い巻き込まれて
いなかったよな

……

…お前は
友はおるか？

あの山には
ちいとばかり
思い入れが
あってのう



昔の儂は
村を襲っては物を盗み
人を襲っては命を奪つ



人の子は成長が早く
すぐ暇つぶしにも
丁度良い
相手になった



こやつと出会ってから
自然と村も人も
襲わなくなっておった

少しでも長く傍に
いたかったのじゃ



しかし元から
病を患^{わず}って
おったのじゃろう

病床に
伏せるように
なってしまうた





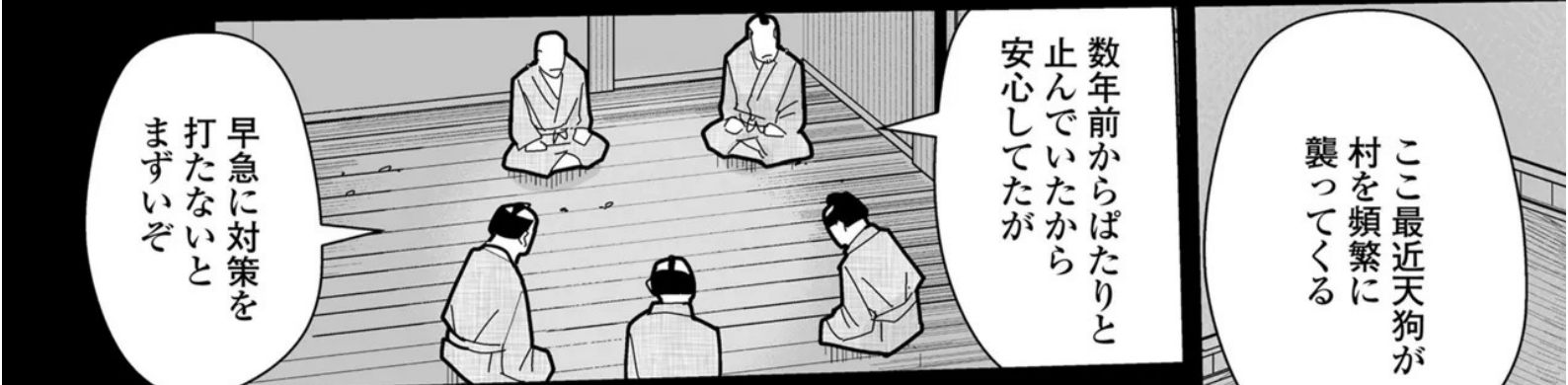
ほれ 栄養の
つくものを食え

こんな高価なもの
俺だけじゃ
食べられないよ



童がいつちよ前に
遠慮するな

もう十歳だよ



ここ最近天狗が
村を頻繁に
襲ってくる

数年前からぱたりと
止んでいたから
安心してたが

早急に対策を
打たないと
まずいぞ



…俺よう
前に見たんだ

捨てたガキが天狗と
一緒にいるのをよ



きっと生き長らえた
ガキが捨てた俺らに
復讐するために
手を組んでいるんだ



許せねえな
ぶっ殺してやる

天狗は無理でも
ガキなら余裕だ

場所は分かるか――

天狗が
留守の時を
狙おう



今日は薬も
手に入ったのう

あの童も元は村の住人じゃ
少し分けてもらっても
文句は言われんじやろ

これで早く
よくなれば
よいのじやが

胡麻毛さん？



どうしたんじゃ！
誰にやられた！？



多分村の人
「お前のせいで村が
天狗に襲われた」
って…

助けてもらったのに
恩返しも全然
出来ないのに…

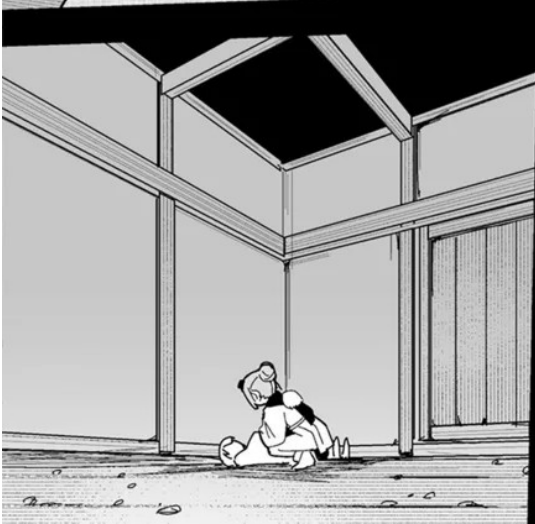
もっと長く一緒に
過ごしたかったな



：奴ら許せん
皆殺しに
してやる



行かないで
胡麻毛さん
そんなことなくて
いいから傍にいて…





そしてさらに
数日

おい浦賀
徹夜はいかんど
身体に気を遣え

さっき
2時間は寝た
隣で見てただろ

僕は不眠不休でも
問題ないが浦賀
お前は
そうはいかんじゃろ

……
カッ

火事になっても
嫌だし
見守っておくか

よし！ 僕が朝餉を
作ってやろう
それで少し
休憩じゃ！

ド
ン

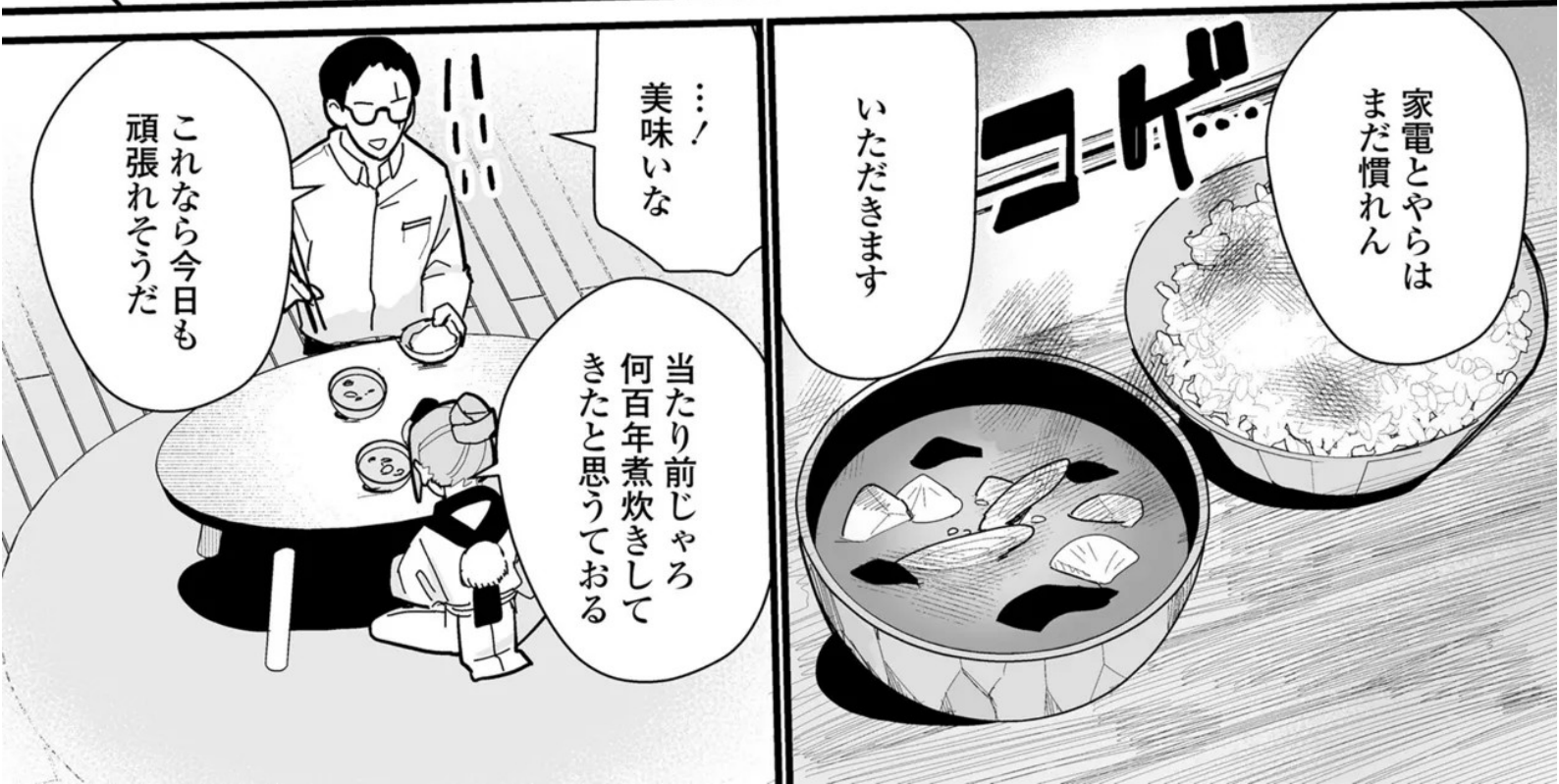


夫婦になれば毎日
こんな光景が
見れるのかな

トントントント



火を噴いた!



これなら今日も
頑張れそうだ

美味いな

当たり前じゃろ
何百年煮炊きして
きたと思うておる

いただきます

家電とやらは
まだ慣れん

ゴボ



浦賀少しは休め
死ぬのが数刻早く
なるだけじゃぞ

期限当日

カッ
カッ
カッ
カッ



まだ何か出来る
ことがあるかも――

やめだ

IP

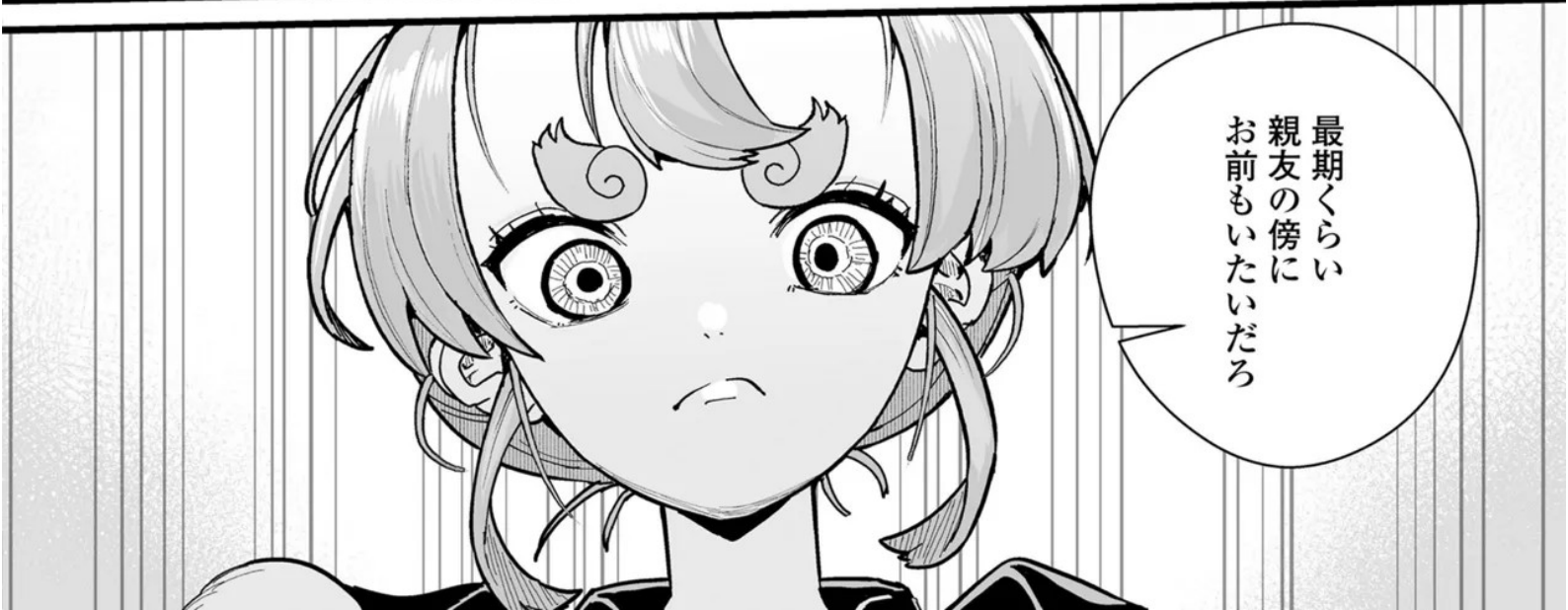
カッ
カッ



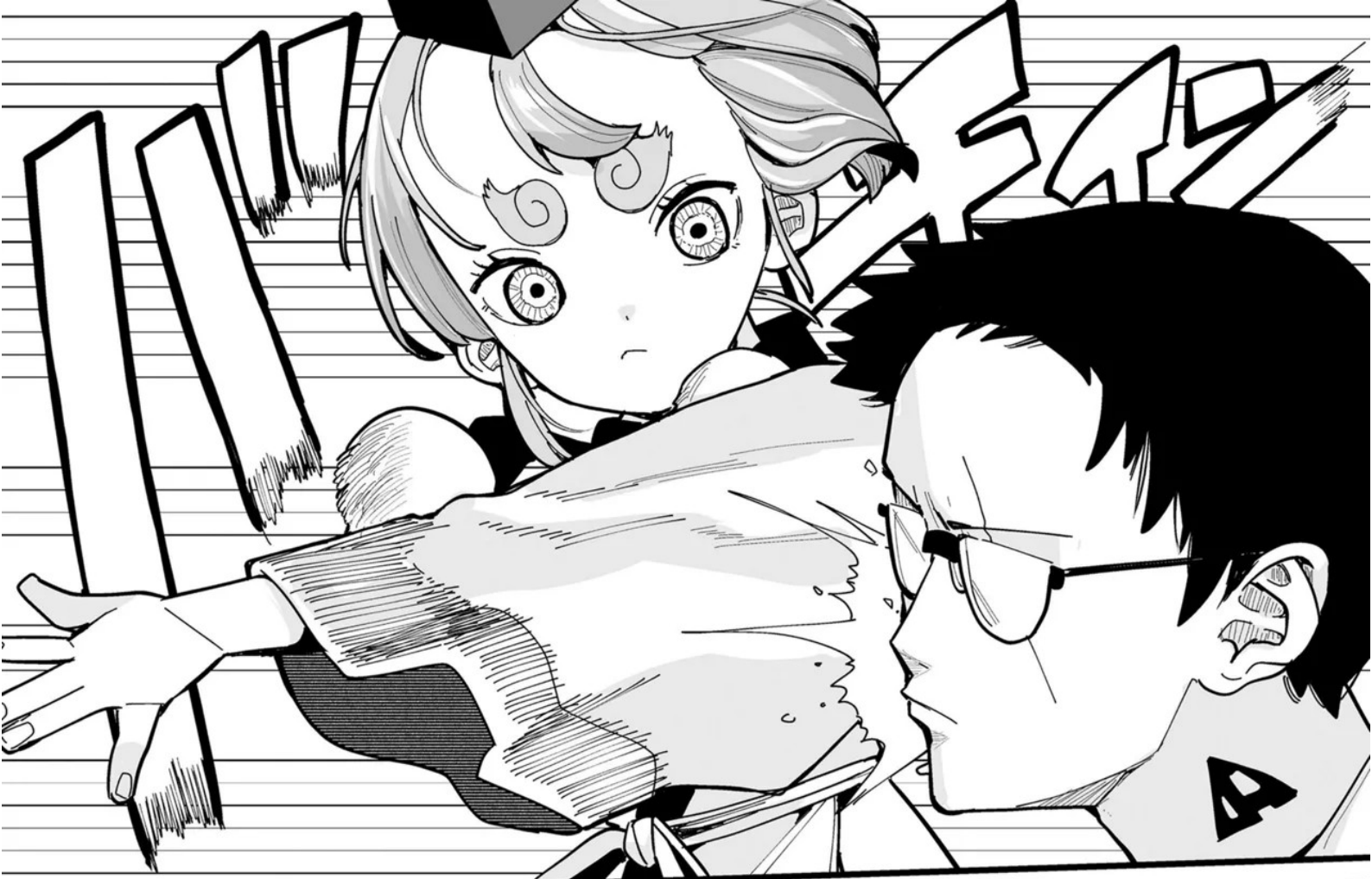
胡麻毛 最期くらい
自分の好きな場所で
過ごしてこいよ

なんじゃ急に

薄々感づいていただろ
天狗と人じゃ
つがいになれないって



最期くらい
親友の傍に
お前もいたいだろ





おおよかった
気付いたか



弱っている奴を
ほっぽり出して
行けるか

ましてやそれが
つがいになる
男なら尚更じゃ

親友の所には
行かなくて
よかったのか



…さつきは
すまなかったな

…同棲して
胡麻毛の事を
知れば知るほど

死ぬのが…
もうお前と
会えなくなるのが
怖くなった

突き放せば
この恐怖が
マシになるかと
思ったが――

間違いだった
胡麻毛……
傍にいてくれて
ありがとう

やっと本音が
聞けたのう

安心せい浦賀
あの世に行く
瞬間まで
共におるぞ

しかしじゃ

座して死を
待つほど僕は
行儀よく出来ん

もちろん
浦賀も付き合っ
てくれるじやろ？

ハッ



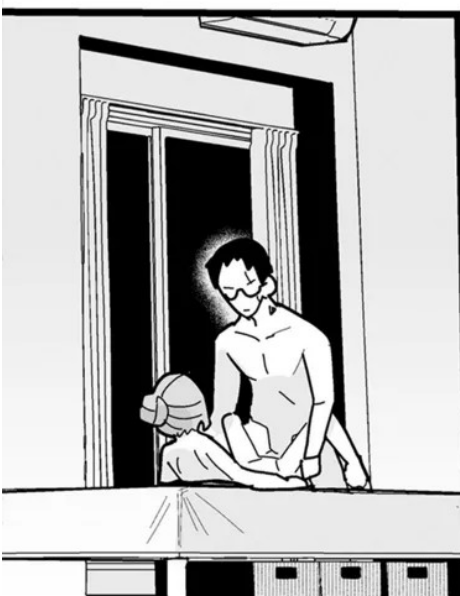
来世でも
出会えるよう
匂いを擦りつけ
合おうではないか



互いに見慣れた
裸だが最期だと
思うと感慨深いな



僕の長い生涯が
男の腕の中で
終わるとは
思いもせんかったな







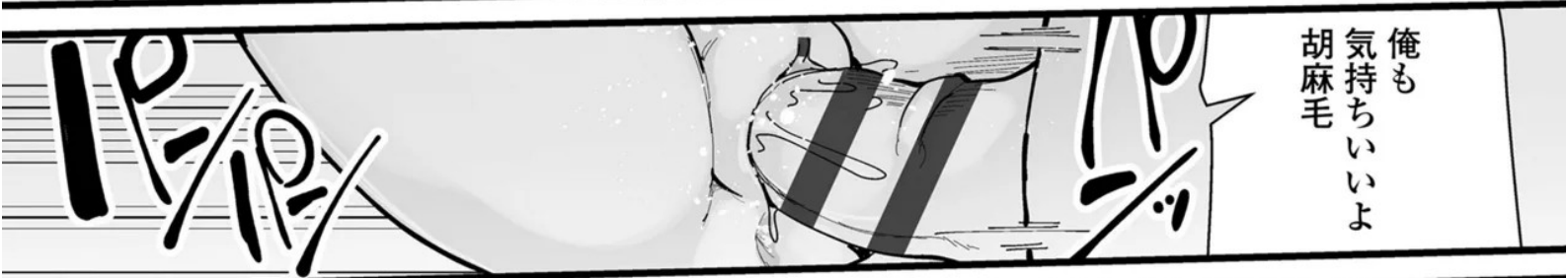
俺がもっと早く
胡麻毛に
歩み寄れていれば...



せっかく
分かり
合えたのに

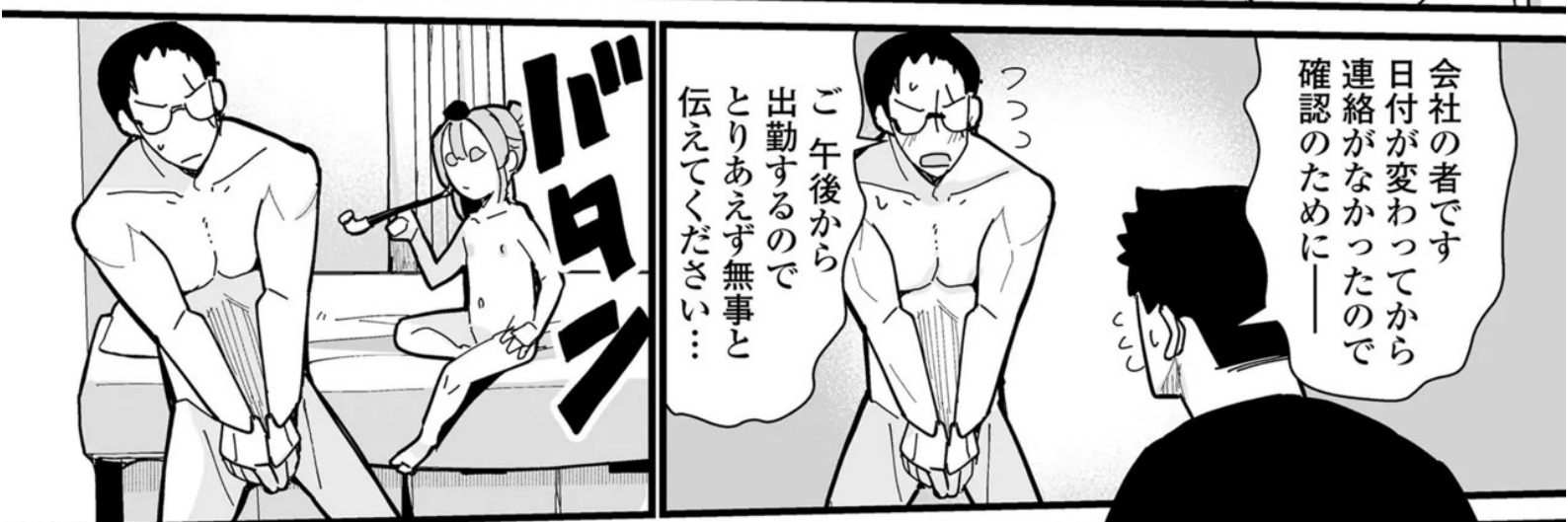
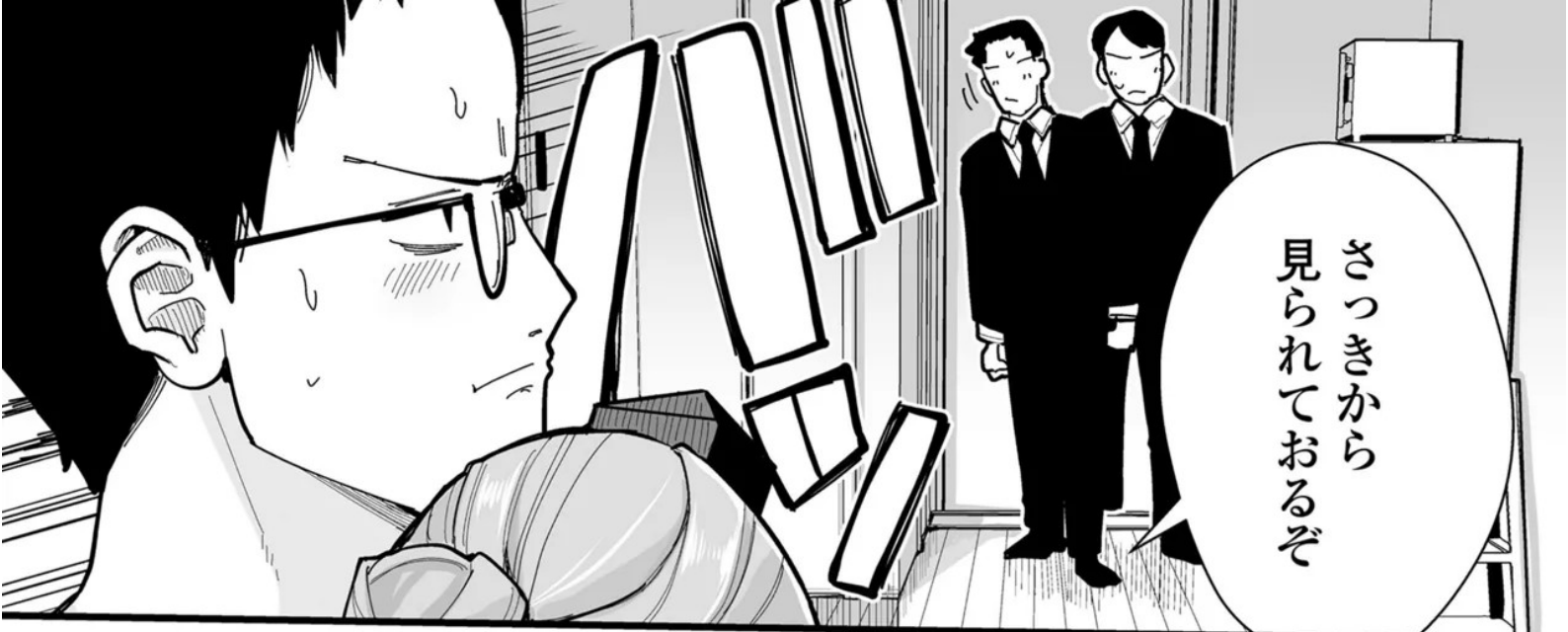














お世話になります!



ずっと見てくるなこの娘



あの...なにか用ですか?



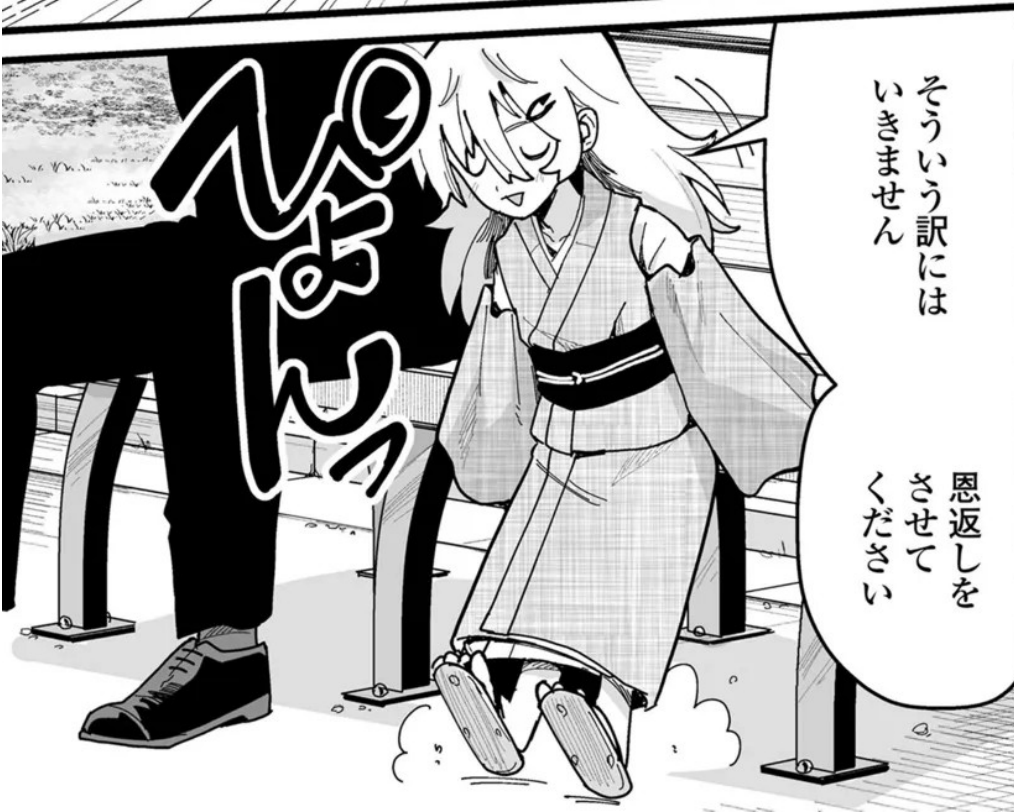
大げさな
気にしないで
構わないよ

しかも白米の
握り飯なんて
贅沢品を
頂いてしまつて



ありがとうございます
ございます！

お腹が空いてしまい
気を失つてた
ようです



そういう訳には
いきません

恩返しを
させて
ください



でも今は
無一文なので



この能力
何かお役に
立ちませんか

うちは髪を自在に
操れるのです
驚きましたか



うちは『髪鬼』
六百年を生きる
妖怪なんです



か髪が…
え？何なんだ
あんた？

ウネ

ウネ

ウネ



あ

は

は

すみません
お見苦しいものを

髪が服に
引っかかって
しまいました



これを
着てください



それと



ありがとう
ございます...

へえ 山の住処^{すみか}を
追いやられ

三百年ぶりに
山から下りて
来たんですね

はいそれで新居を
探していたら
このさまです

にわかには
信じられない
けども…

いいだ ふとし
飯田 太

つなぎ ゆい
綱木 結

かなり
おつちよこ
ちよいだし

放っておいたら
大変なことに
なりそうだな



綱木さんが
よければ
俺の家に一緒に
住みませんか

そんな！
さすがに
悪いですよ

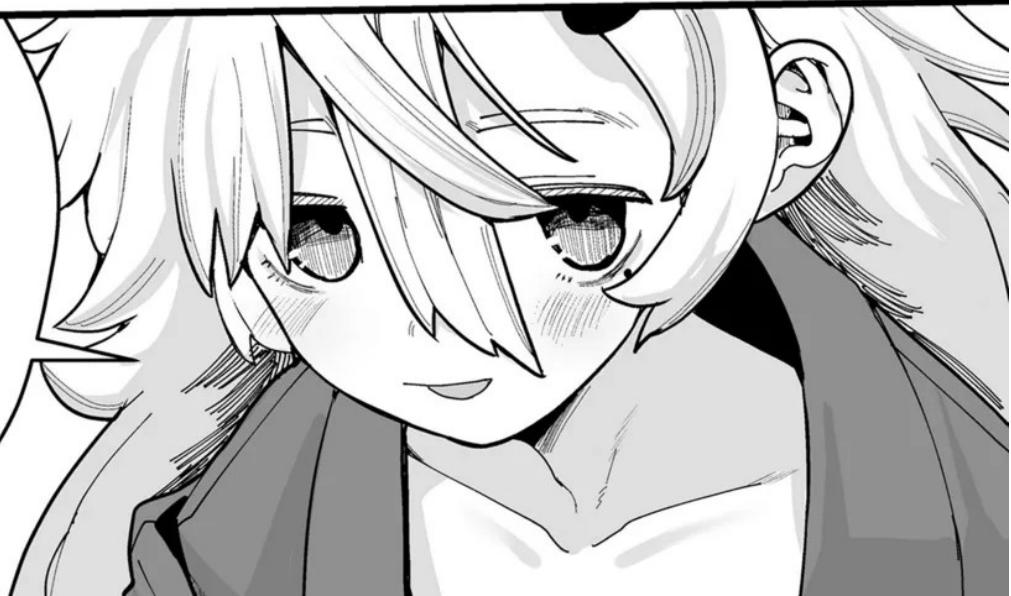


…あの…
行く当てって
あるのですか？

白米もいただき
服もこのように—
その上居候は

じゃあ家事とか
やっていただいて
それを恩返しって
ことで

…よろしい
のですか？



俺としてもこんなにか
わいい方と
一緒に住めるのは
ありがたいです

しゅー
ぽー
ん

やったー

現代のこととか
色々教えます

分からない
こともある
でしょうし



数カ月後

飯田さん今日は
その八百屋さんで
大根が特売なので
おでんにでもしますか？

俺の心配を他所^{よそ}に
現代の知識を
みるみる吸収
していき

見事に現代に
馴染んでいる

ちよつと
飯田さん
聞いてますか？

だが一つ問題が――

色々ど：
ガードが緩い！

おでん
いいですね

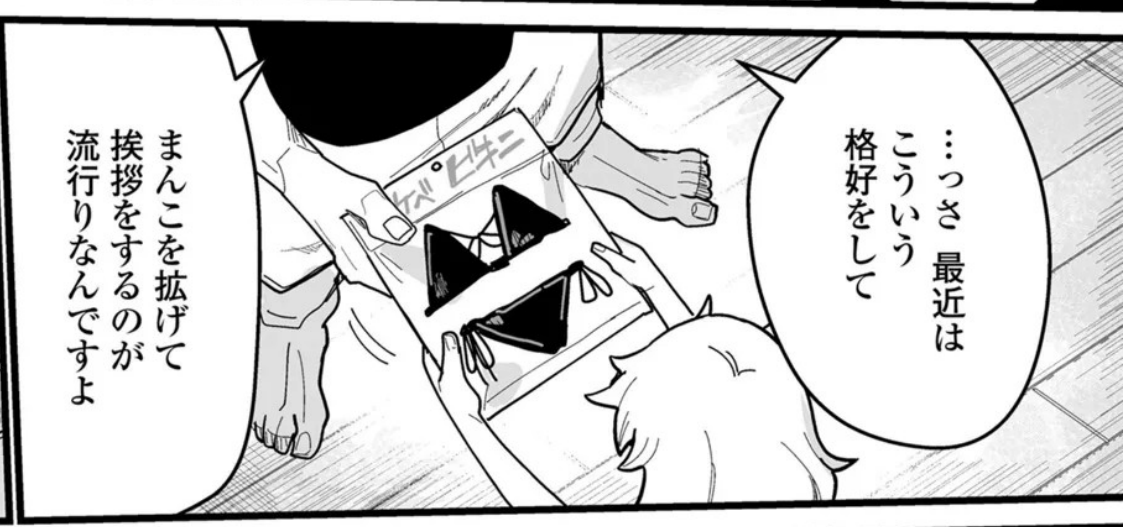
薄々気付いては
いたが！

ちん
ぱらーん

当然
邪な気持ちよこしまが
沸きあがって
しまい

現代の常識ってことで
エロいことを教えても
バレないか…

こんなものを
買ってしまった



くらっま〜

現代に馴染み
つつあるが

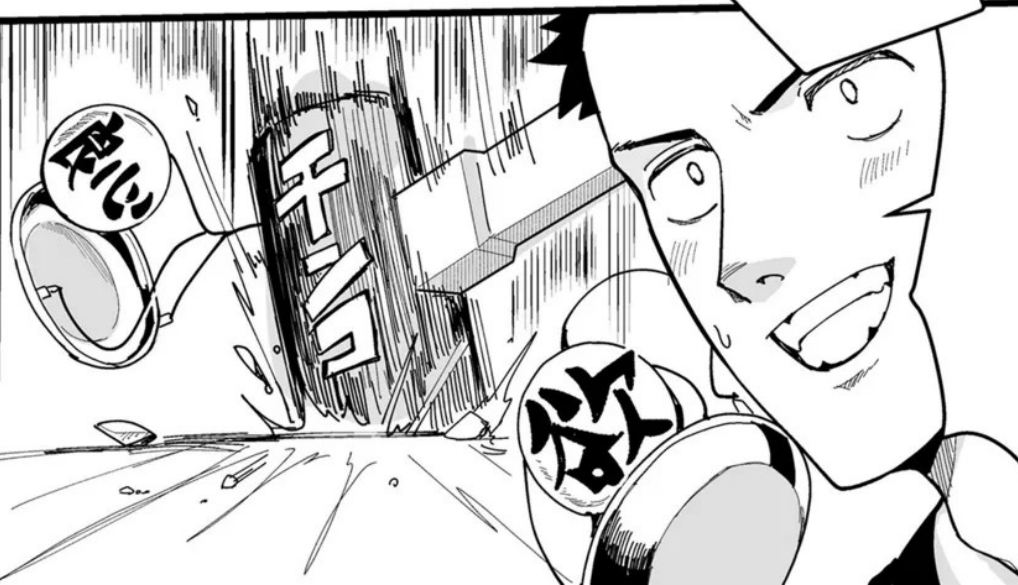
まだ知らないことの
多い綱木さんを
騙していいのか？

綱木さん
すみません
やっぱり――

着れましたけど
どうでしょうか？

あの…かなり
恥ずかしいですね
この格好

イイ！



これでさらに
ここを揺げる
のですよね

…やらないと
ダメですかね？

この格好でもう
顔から火が
吹きそうなんです

慣れない文化は
恥ずかしく
感じるものですよ

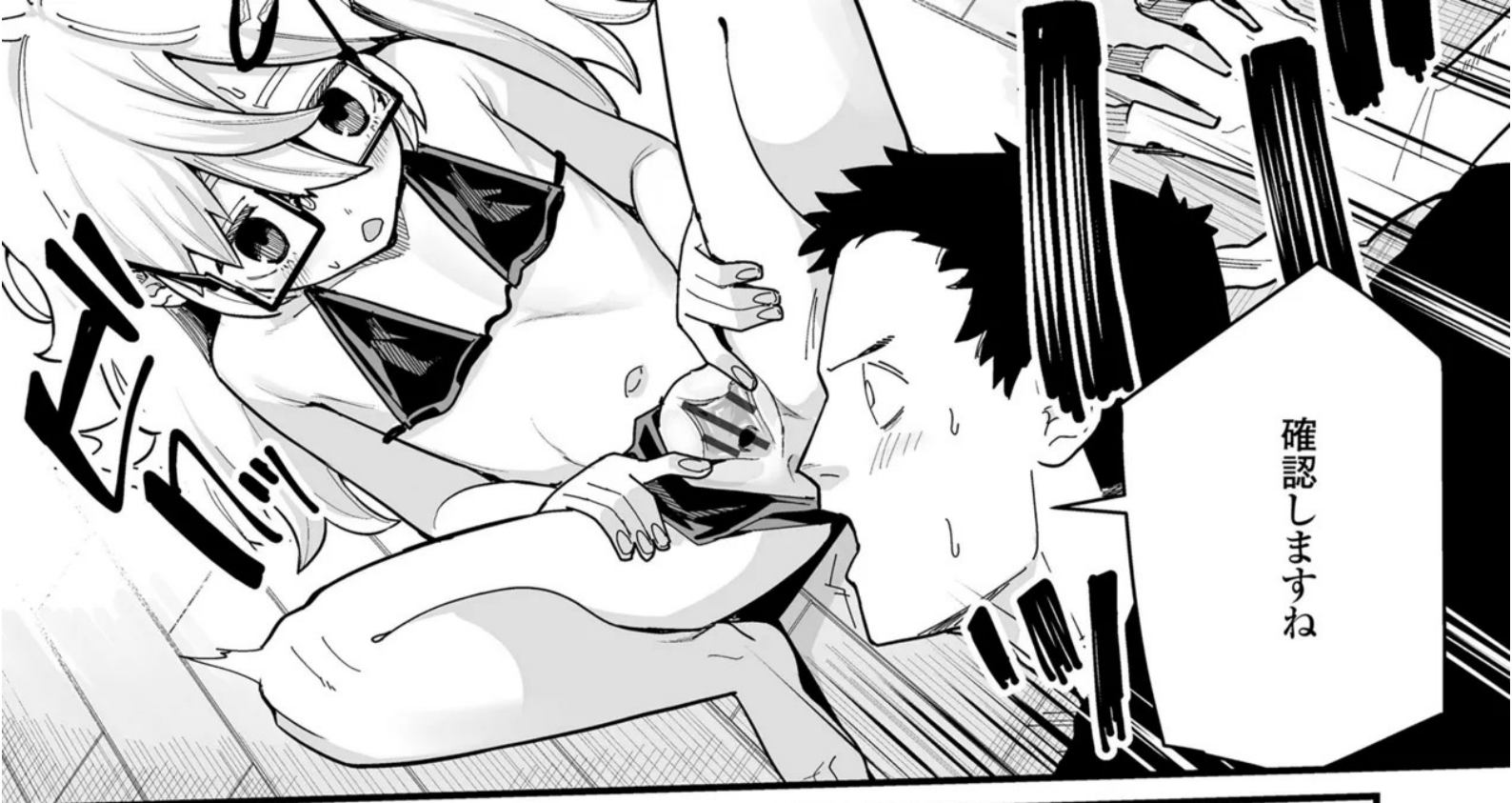
海外だと挨拶として
接吻をするところも
ありますよ

接吻を!?

はいあ

ここなんですが

た確かにそれと
比べたら
こちらは随分と――



確認しますね



つつるだな

息が
当たってますよ



ここ数カ月
綱木さんと
暮らして
分かったが

失礼しました

見ての通り
騙されやすい

さらに無茶を
言っても行けるん
じゃないか？

まんこがちょっと
凝っている
みたいですね

俺でよければ
ほぐしますよ



…じゃあ
失礼でなければ

この体勢重たく
ないですか？

いえっ全然
むしろ
ありがたいです

ぐう
ぽん



目の前に
舐めてもいい
まんこがある

信じられない
光景だ



あの綱木さん
声は抑えめで

ここ壁薄いので

し失礼しました！
そんなに声
出てましたか？



すみません！
達してしまつて

いえいえそれより
どうですか？
まんこの凝りが
ほぐれたはずす

おお！さつきより
柔軟ですね！



眼福だ…

来客ですね
早速今の
『挨拶』を
試してみます

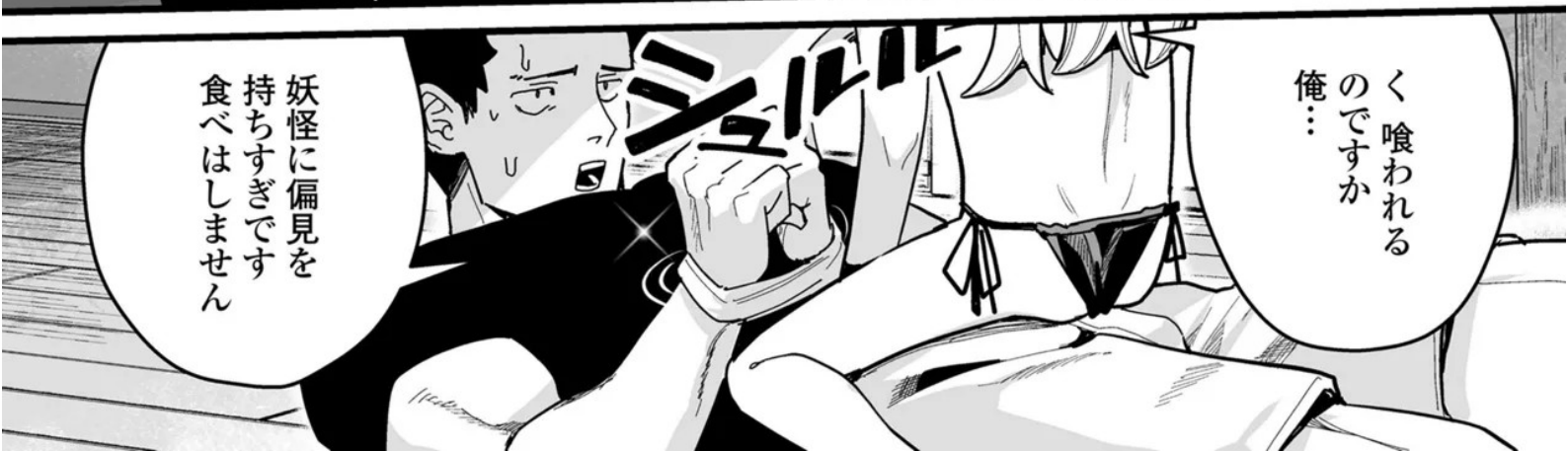
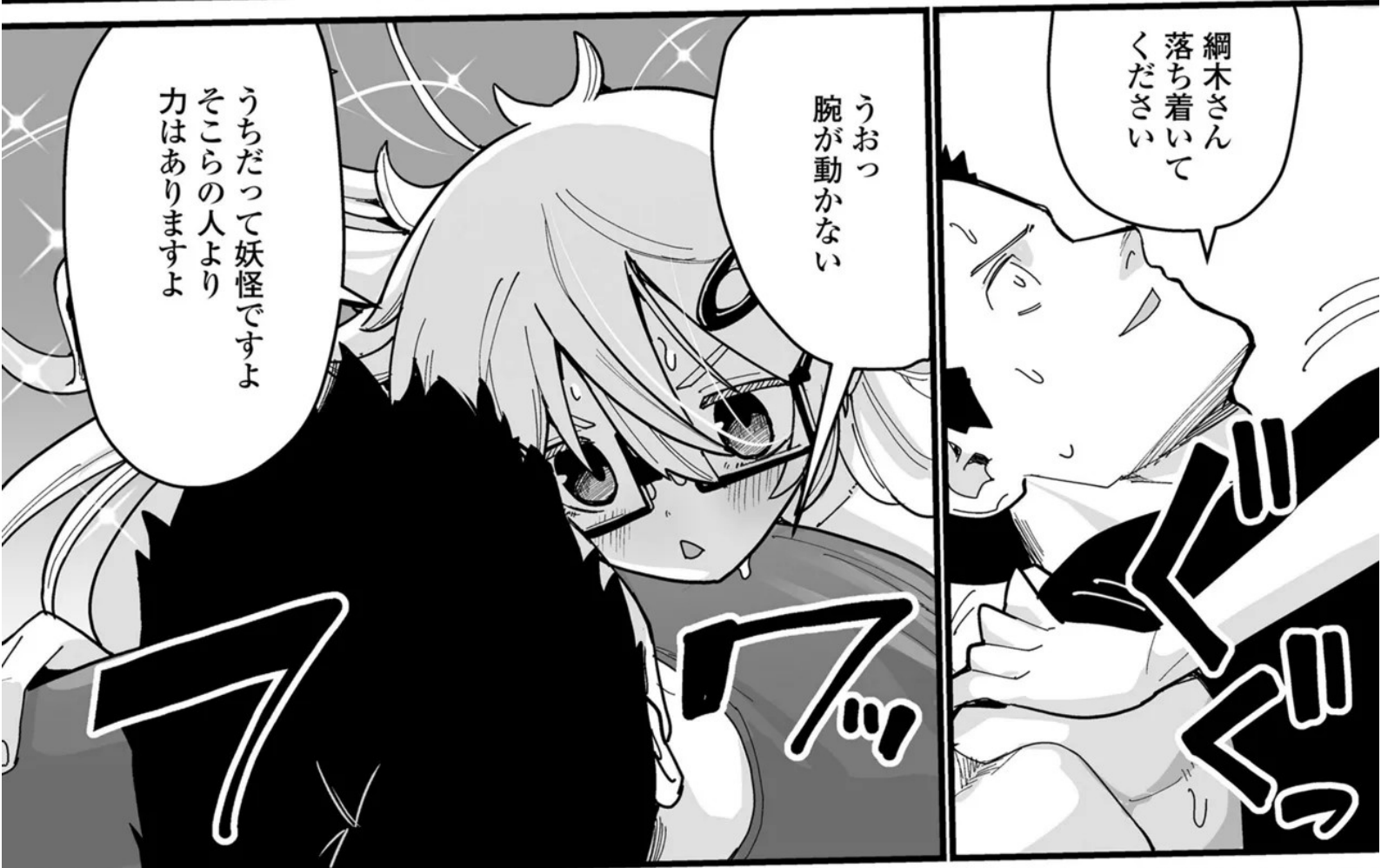
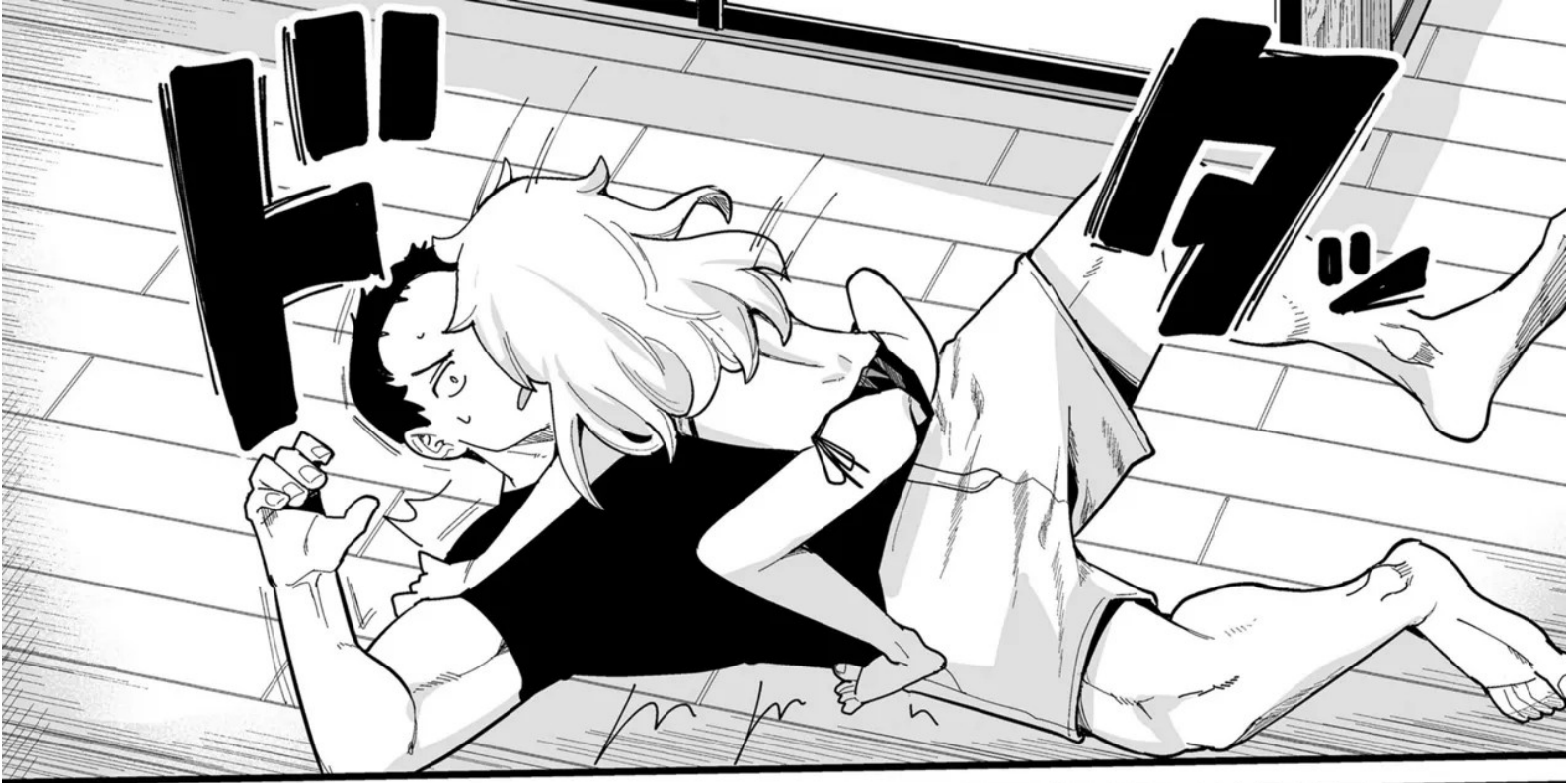


あつ
ちよつと待つて！



嘘を
つきましたねく！

飯田さんっ！





—ですが
罰としてうちが
満足するまで

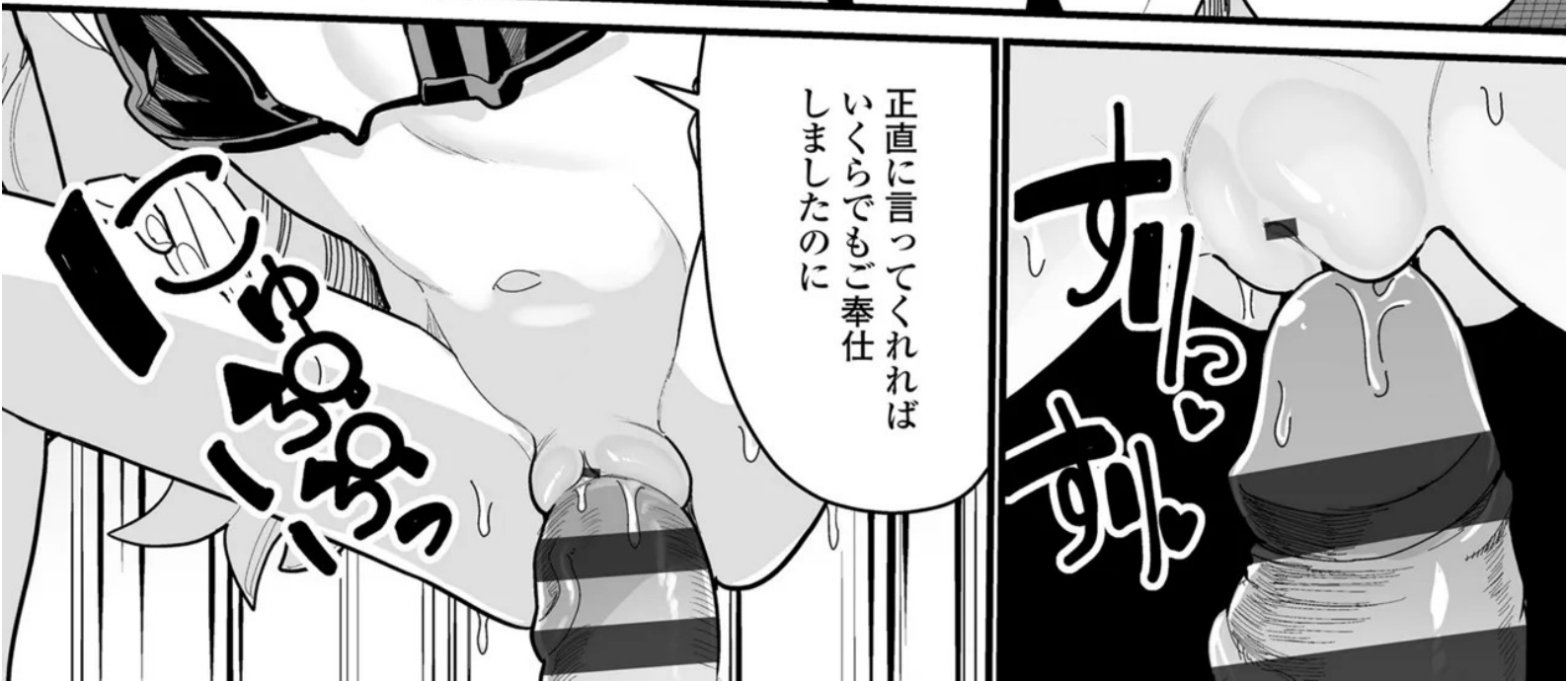
飯田さんの身体
好きにさせて
もらいますよ

ズルッ



おつきいですね
結構楽しめそうです

ズルッ
ズルッ
ズルッ



正直に言ってくれれば
いくらでもご奉仕
しましたのに

ずるっ
ずるっ

ずるっ
ずるっ
ずるっ



いいですね

ぬ
ちゅ

太さ硬さも
んっ♡申し分
ないです

締めりが
凄まじいつ
痛いくらいだ

気持ちいいっ

ニ
チ
ニ
チ





た〜くさん
出ましたね



山から下りてきて
心細かったときに
優しくしていただいた

年甲斐もなく
惚れてしまいました









よかったですね
まだいけそうですね

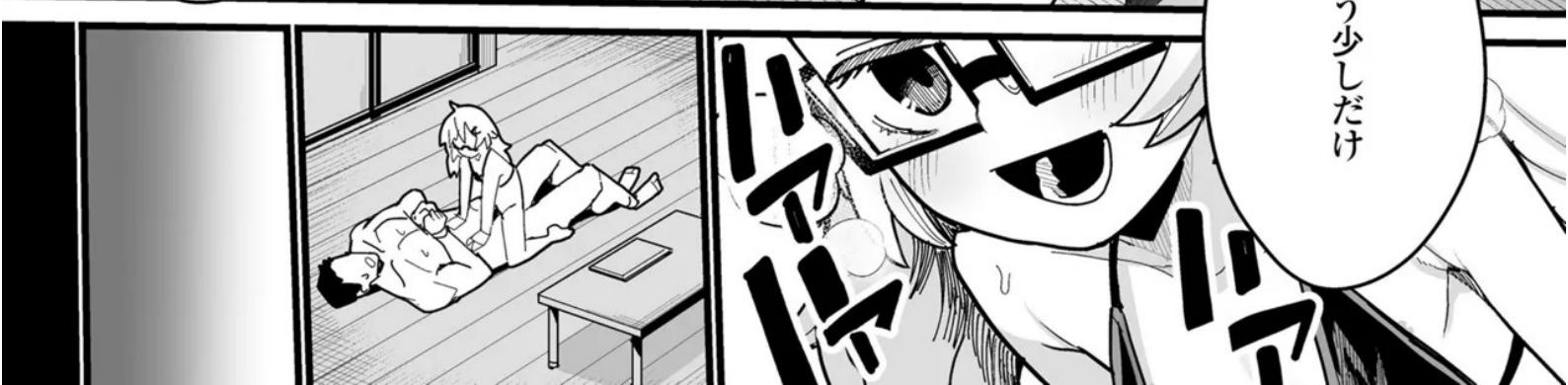
飯田さんもう1回

あとちょっと



まだ

もう少しだけ





綱木さん：
性欲が強すぎる

さっきの体位
奥にゴリゴリ
当たって
よかったです

ビーン



もう一度同じ
体位で
やりましょう

綱木さん：待って
本当に無理です：

もう勘弁して
ください！



やりすぎ
ましたかね？

さすがに
このくらいに
してあげます

：でもうちには
頼れる方が
飯田さんしか
いないんです

これからは
嘘はなしで
お願いしますよ

End

おとがき

本書を手にとっていただき
誠にありがとうございます。
吸斬です。

和風なロリババア沢山で
どの作品も楽しく描かせていただきました。
ロリババア達の薄っすら浮いたあばら骨に
ちんちんを擦り当てでギロミたいに
音色を奏でたいなあと思う今日この頃です。

さて描かせていただいた作品につきまして
どの登場人物も表情豊かに描くことができ
生き生きとさせられたかと思います。
泣いたり、笑ったり、驚いたりなどなど
彼女たちがこれから生きる長い年月の中で
これまた泣いたり、笑ったり、驚いたりした時に
少しでも作品での出来事を思い出してくれることが
あればよいなと思います。

最後まで読んでいただき誠にありがとうございました。



TENMA COMICS
永遠草紙

TOWASOUSHI
from TOWAKO

「幼妖色づく面映ゆく」

発行日 2025年5月10日 初版発行

著者 吸斬

©吸斬/茜新社 2025

発行者 野田正修

編集 株式会社コミックハウス

発行所 株式会社茜新社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町3-6-5原島本店ビル2F

電話 03-3222-1977 / FAX 03-3222-1985

装丁 宮村和生 (5GAS DESIGN STUDIO)

印刷・製版 株式会社公栄社

製本 株式会社セイコーバインダリー

ISBN 978-4-86820-005-5

Printed in Japan

■本書の内容はすべてフィクションです。実在の人物・団体・事件・名称・史実・事象とは一切関係がありません。

■定価はカバーに表示しております。

■落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

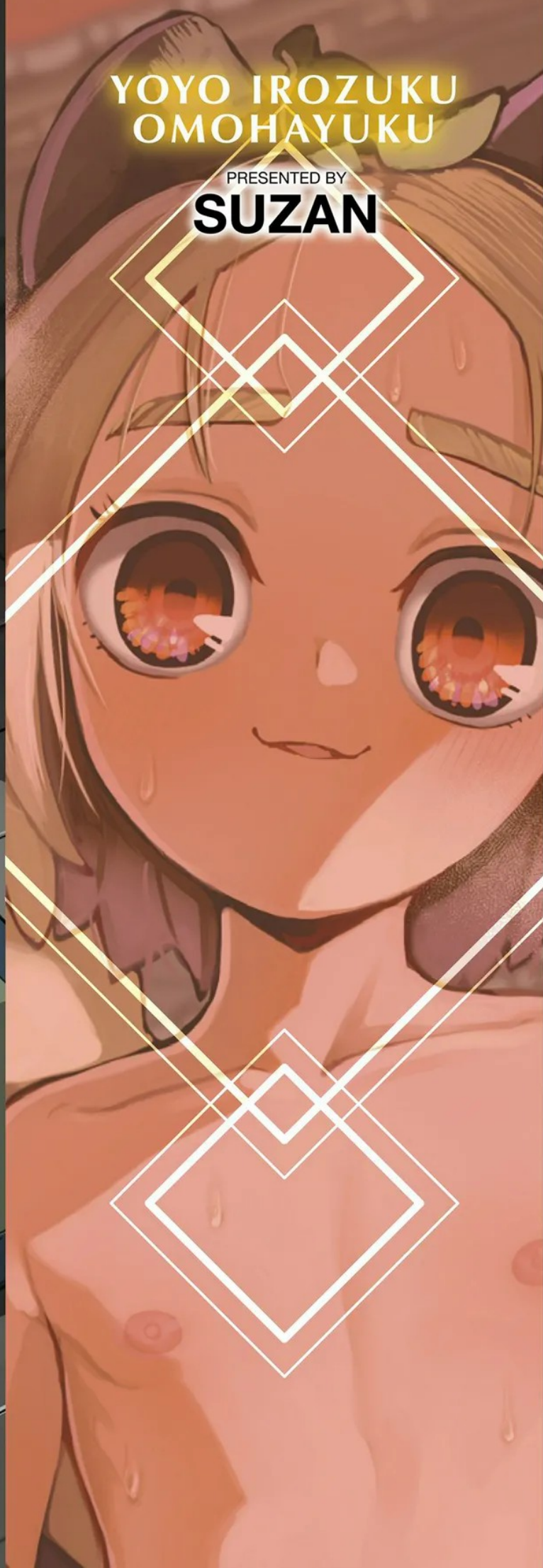
■本書の満18歳未満の方への販売・陳列・貸与・譲渡・回覧を禁じます。

■本書の無断販売・複製・転載・WEB上へのアップロードを禁じます。

YOYO IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY

SUZAN



TOWASOUSHI
from TOWAKO

永遠草紙

面映
ゆ

幼妖色
づく

成年
コミック

YOYO
IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY

吸斬

スーザン



YOYO IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY

SUZAN



YOYO IROZUKU
OMOHAYUKU

PRESENTED BY
SUZAN

- 書名 幼妖色づく面映ゆく
- 著者名 吸斬
- 発行 株式会社茜新社
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町3-6-5
原島本店ビル2F
- 電子書籍製作 株式会社公栄社

